

# 復興モニター調査2002

～被災地におけるまちのにぎわいづくりについて～

## 報告書

平成14年12月

兵庫県阪神・淡路大震災復興本部総括部

# 目 次

1 . 調査概要	
( 1 ) 調査のフレーム	1
調査の目的	1
アンケート調査	1
ケーススタディ調査	2
調査機関	2
( 2 ) 調査結果のポイント	3
アンケート調査	3
ケーススタディ調査	8
課題と取り組み方策	12
2 . アンケート調査結果	
( 1 ) 組織の概要や基本的な活動内容について	15
( 2 ) 活動しているまちの復興状況について	17
( 3 ) まちのにぎわいのイメージについて	18
( 4 ) まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等の内容について	19
( 5 ) その他	26
3 . ケーススタディ調査結果	
( 1 ) J R 六甲道駅北地区 ( 神戸市灘区 )	30
( 2 ) J R 新長田駅北地区 ( 神戸市長田区 )	32
( 3 ) 芦屋西部地区 ( 芦屋市 )	34
( 4 ) 西宮北口駅北東地区 ( 西宮市 )	36
( 5 ) 築地地区 ( 尼崎市 )	38
( 6 ) 御影本町地区 ( 神戸市東灘区 )	40
( 7 ) 旧居留地地区 ( 神戸市中央区 )	42
( 8 ) 売布神社駅前地区 ( 宝塚市 )	44
( 9 ) J R 新長田駅南地区 ( 神戸市長田区 )	46
< 参考 > N P O 法人の取り組み事例	48
4 . 課題と取り組み方策	51
5 . 資料	
( 1 ) 単純集計表	53
( 2 ) アンケート調査票	75

# 1 . 調 査 概 要

## ( 1 ) 調査のフレーム

調査の目的

アンケート調査

ケーススタディ調査

調査機関

## ( 2 ) 調査結果のポイント

アンケート調査

ケーススタディ調査

課題と取り組み方策

# 1 . 調査概要

## ( 1 ) 調査のフレーム

### 調査の目的

阪神・淡路大震災から8年を迎えようとし、被災地では、震災からの創造的復興をめざして、生活や産業の復興、災害に強いまちづくりなどの取り組みが進んでいる。

一方、被災市街地の復興を図る復興土地区画整理事業などについては、概ね順調に進んでいるものの、地区によっては、地権者の権利調整等のために事業の進捗に格差が生じている。また、中心市街地における店舗数の減少や空き店舗の増加など商業機能の空洞化も深刻化しつつあり、創造的復興に向けた課題のひとつとして、被災地における「まちのにぎわいづくり」を進めていくことが求められている。

このため、震災後の復興まちづくりの中心的な役割を果たしてきたまちづくり協議会やまちづくりなどに関わるNPO、中心市街地活性化の担い手として期待されるタウン・マネジメント機関(TMO)などに対して、活動内容や組織構成などについて、アンケート調査やケーススタディ調査を実施し、今後の「まちのにぎわいづくり」に向けた課題や取り組み方策を検討する。

### アンケート調査

#### 1) 調査対象

被災地で活動するまちづくり協議会、TMO、および、まちづくり・被災者支援に関わるNPO 300団体

#### 2) 調査方法

郵送自記入・郵送回収方式

#### 3) 調査期間

アンケート調査期間：平成14年5月29日～6月12日

#### 4) 有効回答数

回答数：101 うち有効回答数：99(有効回答率：33%)

#### 5) 調査項目

- ・組織の概要や基本的な活動内容について
- ・活動しているまちの復興状況について
- ・まちのにぎわいのイメージについて
- ・まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等の内容について
- ・その他

## ケーススタディ調査

### 1) 調査地域・団体

復興市街地整備事業地区や商店街・業務地区等10地域を選定した。

(実施期間：平成14年7月～11月)

区 分	神 戸 市	神 戸 市 以 外
復興市街地整備事業地区 (まちづくり協議会)	(1) JR六甲道駅北地区 (灘区：六甲道駅北地区まちづくり連合協議会) (2) JR新長田駅北地区 (長田区：細田・神楽まちづくり協議会)	(3) 芦屋西部地区 (芦屋市：芦屋西部地区まち再興協議会) (4) 西宮北口駅北東地区 (西宮市：北口・高木まちづくり協議会) (5) 築地地区 (尼崎市：築地復興委員会)
商業・業務地区	(6) 御影本町地区 (東灘区：協同組合御影市場御影 <sup>しずいがん</sup> 水館) (7) 旧居留地地区 (中央区：旧居留地連絡協議会)	(8) 売布神社駅前地区 (宝塚市：ピピアめふ)
その他 (NPO・TMO)	(9) JR新長田駅南地区 (長田区：神戸ながたTMO)	<参考> 特定非営利活動法人シンフォニー(尼崎市)

### 2) 調査方法

調査対象10地域で活動している上記の団体から、直接ヒアリングを行った。

### 3) 調査内容

アンケート調査の内容をベースに、さらに詳細な内容を調査した。

- ・調査地域の概要

地区の概要(人口、面積、都市計画等)、震災前後および現在の状況

- ・まちのにぎわいづくりについて

行事、イベント、場、資金、システムなど

### 調査機関

「復興モニター2002」は、(財)阪神・淡路大震災記念協会に委託し、調査を行った。

## (2) 調査結果のポイント

### アンケート調査

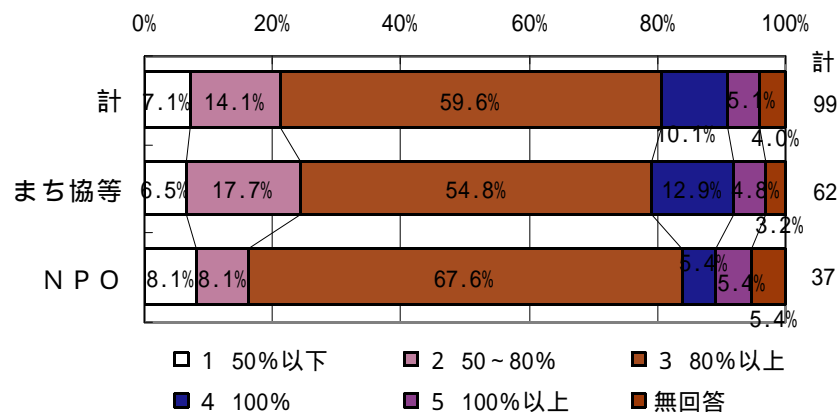
アンケート調査結果の主なポイントは、以下のとおりである。

#### 1) まちの復興状況について

(ハード面の復興感：約7割が「8割以上」)

ハード面の復興感については、「80%以上」が59.6%、「100%」が10.1%、「100%以上」が5.1%であり、全体の約7割が80%以上復興していると感じている。

#### <ハード面の復興感>



(住宅地の復興感に対して、商業地の復興感が低い)

商業地の復興感については、「震災前に戻っていない」が約60%である。

住宅地の復興感については、「震災前に戻った」が41.4%、「震災前よりにぎやかになった」が15.5%であり、6割弱が復興したと感じている。「震災前に戻っていない」は31.0%である。

#### 2) まちのにぎわいのイメージについて

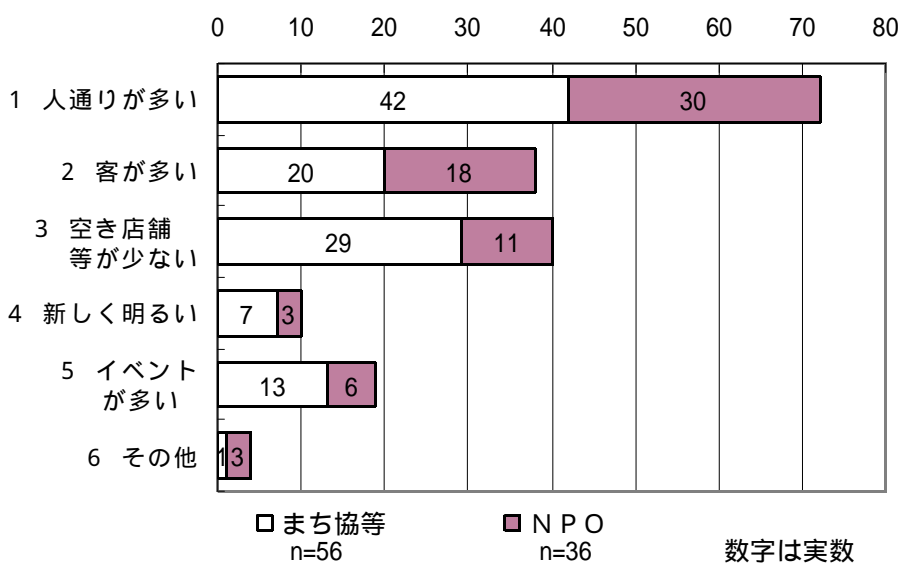
(にぎわいのイメージ：「買物・商業施設」、「行事・イベント」、「家族・子ども」が多い)

にぎわいのイメージとしては、「買い物・商業施設」、「伝統行事、集客イベント」、「家族連れ・子ども・遊び」が多くなっている。

(商業地のにぎわいのイメージは「人通りが多い」)

商業地のにぎわいのイメージとしては、「人通りが多い」、「空き店舗等が少ない」、「客が多い」が多くなっている。

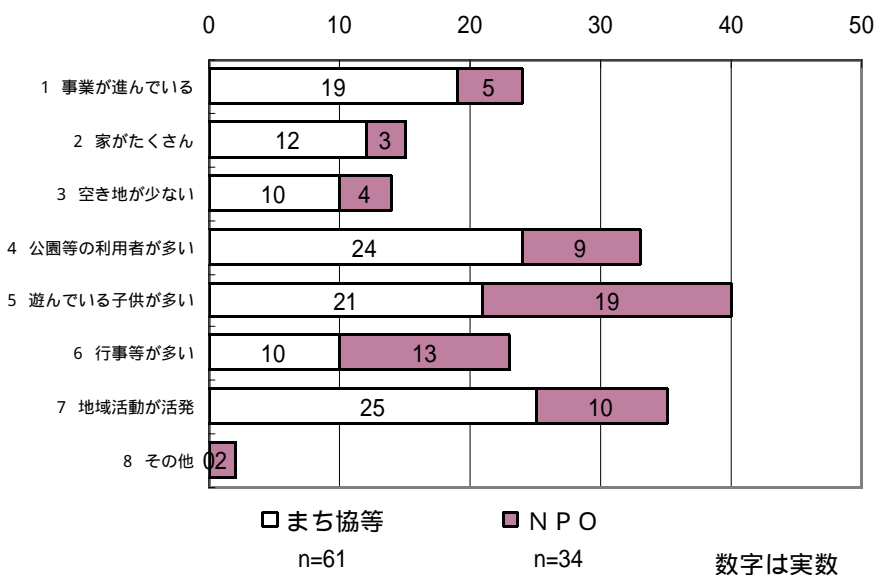
<商業地のにぎわいのイメージ>



注) 複数回答(2つまで選択可)

(住宅地のにぎわいのイメージは「遊んでいる子ども」、「公園の利用者」、「地域活動」)  
住宅地のにぎわいのイメージとしては、「遊んでいる子どもが多い」、「地域活動が活発」、「公園の利用者が多い」が多くなっている。

<住宅地のにぎわいのイメージ>



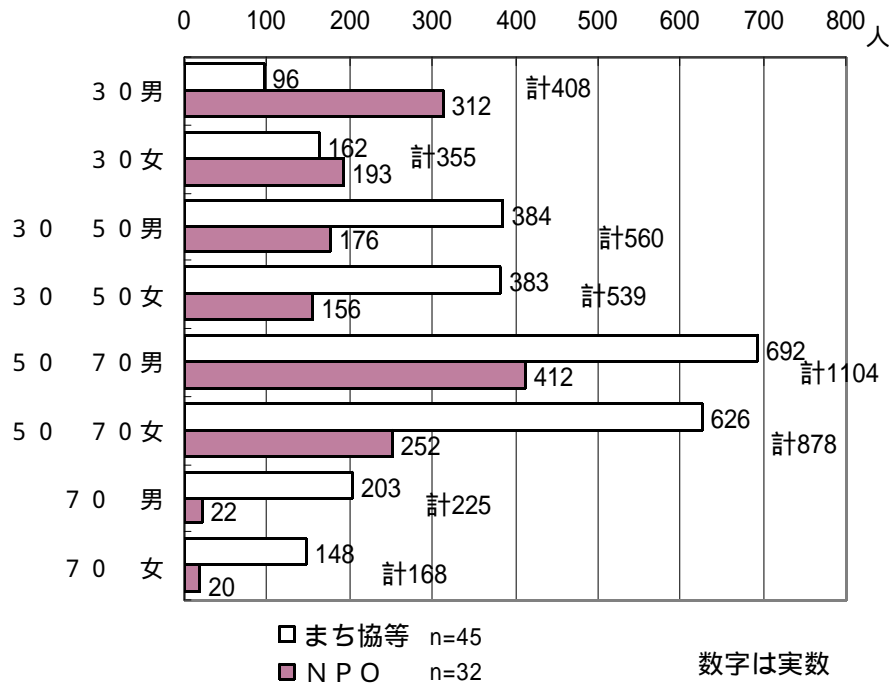
注) 複数回答(2つまで選択可)

3) にぎわいづくりの担い手について

(まちづくり協議会等：担い手の高齢化・特定化が課題)

まちづくり協議会等では、「50歳以上～70歳未満」が担い手の中心になっており、担い手の高齢化・特定化が課題となっている。

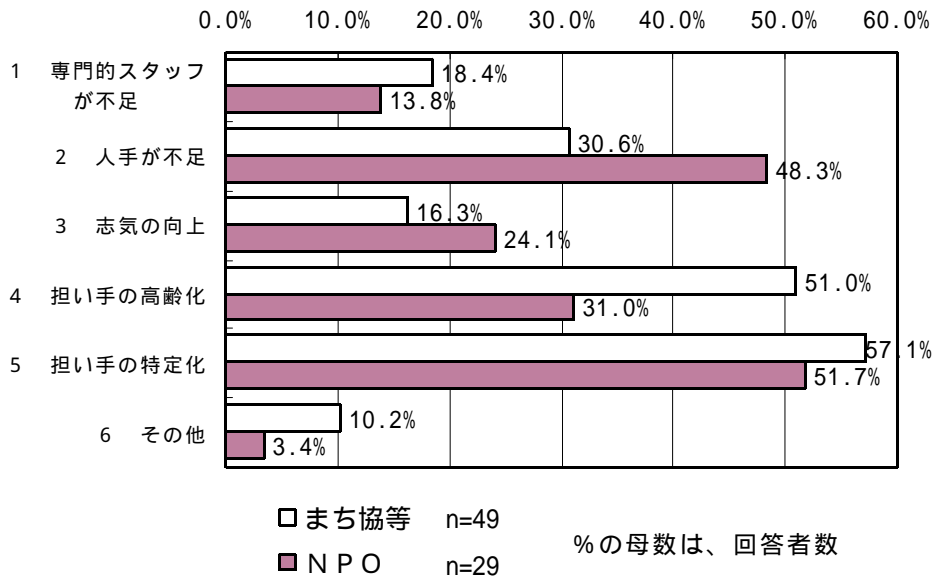
<担い手の年齢>



(NPO：若い担い手も多いが、担い手の特定化・人手不足が課題)

NPOでは、「50歳代以上～70歳未満」が最も多いが、30歳未満の担い手も多い。  
課題としては、「担い手の特定化」、「人手不足」が多い。

<担い手の問題点>



注) 複数回答(無制限)



#### 4) にぎわいづくりの費用・資金について

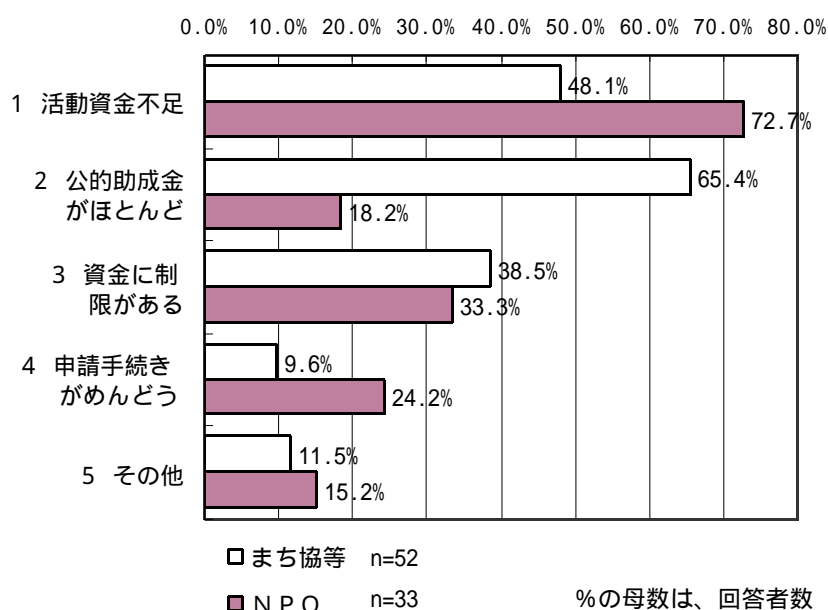
(まちづくり協議会等ではイベント経費・広報宣伝費、NPOでは人件費の割合が多い)

にぎわいづくりの費用については、まちづくり協議会等では、「イベント経費」・「広報宣伝費」の割合が多く、NPOでは「人件費」の割合が多い。

(活動資金不足・公的助成金への依存が課題)

にぎわいづくりの資金については、まちづくり協議会等では、「公的助成金がほとんど」・「活動資金不足」が多く、NPOでは、「活動資金不足」が多い。

##### <活動資金についての問題点>



注) 複数回答(無制限)

#### 5) 活動への支援について

(活動助成金制度、専門家等派遣制度の利用が多い)

これまでに利用した支援制度については、「活動助成金制度」・「専門家等派遣制度」が多い。

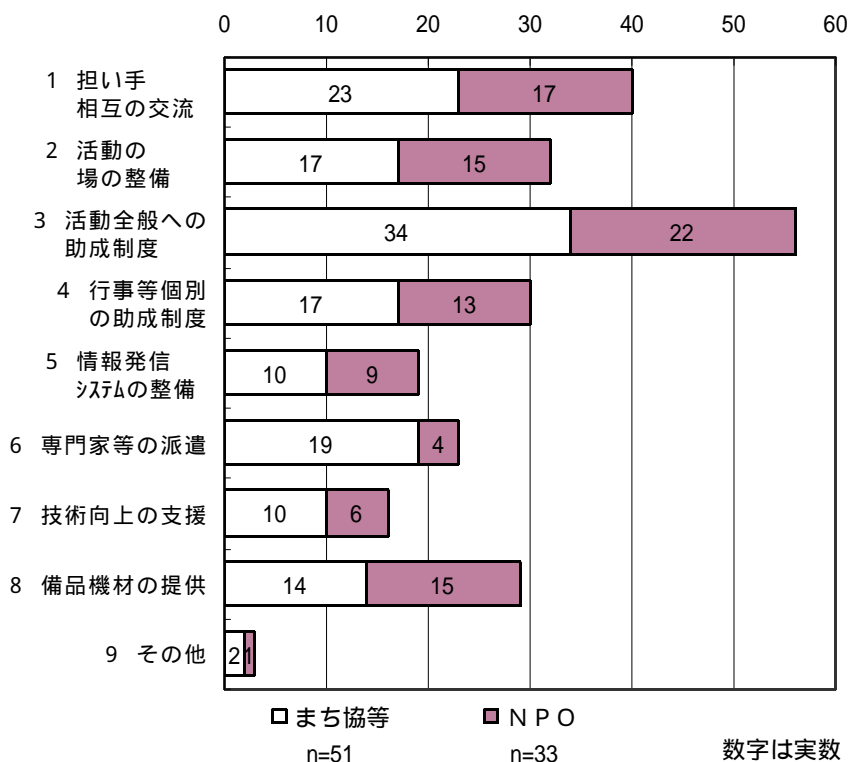
(問題点は、「制度が使いにくい」・「制度等を知らない」)

支援制度については、申請書類や手続きの簡素化がはかられているものの、まだ、「制度が使いにくい」・「申請手続きがめんどろ」が多い。また、「制度等を知らない」も多い。

(今後必要な支援は、「活動全般への助成制度」や「担い手相互の交流・情報交換への支援」)

今後、必要な支援については、個別の活動支援ではなく、「活動全般への助成制度」や「担い手相互の交流・情報交換への支援」が多い。その他、「活動の場の整備」や「備品機材の提供」・「行事等個別の助成制度」などが多い。

< 今後必要な支援 >

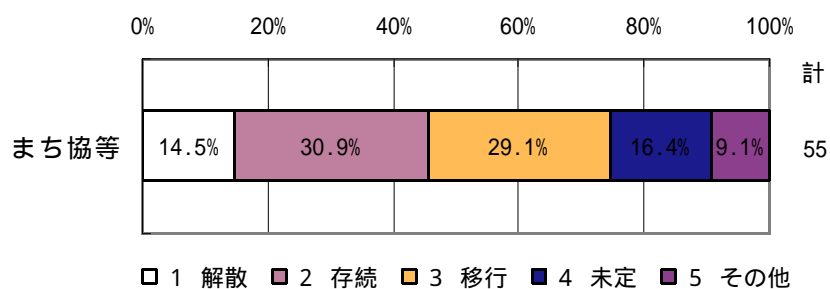


6) まちづくり事業完成後のまちづくり協議会等の方向性について

(6割が何らかの形で組織を存続する方向)

区画整理事業などによるまちづくり事業完成後のまちづくり協議会等の方向性については、組織を「存続する」が30.9%、自治会やNPOなど「他組織に移行する」が29.1%と6割が何らかの形で組織を存続する方向である。一方、組織を「解散する」は14.5%と少ない。

< 組織の存続 >



## ケーススタディ調査

ケーススタディ調査結果の主なポイントは、以下のとおりである。

### 1) 地域別の概況

区 分	概 況
JR六甲道駅北地区 (神戸市灘区) [六甲道駅北地区まちづくり 連合協議会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業も終盤になり、広場や幹線道路も一部完成し、家屋の移転・新築も進んでいる。</li> <li>・まちのにぎわいイベントも増加傾向である。</li> <li>・まちづくり連合協議会をまちの管理・運営組織、イベントを行う組織として存続させることを検討中である。</li> </ul>
JR新長田駅北地区 (神戸市長田区) [細田・神楽まちづくり協 議会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業は、平成16年度完成をめざして事業継続中である。</li> <li>・シューズプラザや神戸アジア交流プラザ、アジアギャザリー神戸が完成した。</li> <li>・民間のマンション建設も行われ、世帯数は震災前を上回っている。</li> <li>・まちづくり協議会については、土地区画整理事業終了後も、まちの管理・運営やまちづくりイベントの開催などを行う組織として存続する予定である。</li> </ul>
芦屋西部地区 (芦屋市) [芦屋西部地区まち再興協 議会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業は、平成16年度完成をめざして事業継続中である。</li> <li>・以前は盆踊りや夏祭りを実施していたが、震災後は滞りがちである。</li> <li>・公園や道路の整備内容をワークショップ方式で検討し、市や公団に提案した。</li> <li>・まちづくりの拠点となるコミュニティセンターの建設を検討している。</li> </ul>
西宮北口駅北東地区 (西宮市) [北口・高木まちづくり協 議会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業は、平成17年度完成をめざして事業継続中である。</li> <li>・平成8年から「高木秋まつり」を復活させ実施している。</li> <li>・高木公園の管理運営準備会を結成した。公園では、プレーパークの設置・運営や季節ごとに各種のイベントを行う予定である。</li> </ul>
築地地区 (尼崎市) [築地復興委員会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業は、平成16年度完成をめざして事業継続中である。</li> <li>・公園や広場の整備については、見学会を行ったり、復興委員会の部会で内容を検討している。</li> <li>・明治時代から続くだんじり巡行と山あわせを毎年実施している。(震災の年も住民を元気づけるために実施した。)</li> </ul>

区 分	概 況
御影本町地区 (神戸市東灘区) [協同組合御影市場旨水館]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不況等の影響で、売り上げは伸びていない。</li> <li>・歩行者の数も減っている。</li> <li>・市場の競争力強化のためのソフト事業や計画策定について、コンサルタントを交えて勉強会を実施している。</li> <li>・店主や自治会などがボランティアで出店する「沢の井夜市」を実施している(今年で14回目)。</li> </ul>
旧居留地地区 (神戸市中央区) [旧居留地連絡協議会]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災による被害で撤去された22棟のうち、20棟が再建された。ほとんどの建物は、1～2階に店舗を導入し、地区計画にのっとり建築された。</li> <li>・段差のないバリアフリーや歩行者優先道路、歩行者天国などを検討している。</li> <li>・行政と協議しながら、歩道の見直しや広告ガイドラインの策定など、まちの活性化に取り組んでいる。</li> </ul>
売布神社駅前地区 (宝塚市) [ピピアめふ]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地再開発事業によって、商業・公益複合施設「ピピアめふ1・2」が完成した(H.11.10)。</li> <li>・公益施設部門は、公設民営で独立採算をめざしているが、現在は、宝塚市から補助を受けている</li> </ul>
JR新長田駅南地区 (神戸市長田区) [神戸ながたTMO]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街の通行量は、震災前に比べて4割減少している。</li> <li>・商店街に修学旅行生の来訪が増加している。</li> <li>・「食のまちながた」事業を推進している。</li> <li>・ショップモビリティ(電動スクーターの貸出し)などの新たな取り組みも始まっている。</li> </ul>
NPO法人の取り組み (尼崎市) [特定非営利活動法人シンフォニー]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災直後に、仮設住宅でのコミュニティづくりなどのボランティアとして発足し、その後、仮設住宅から復興住宅への引越しボランティアなどを行った後、NPO法の施行に伴い、法人格を取得しNPO法人になった。</li> <li>・まちづくり、環境保全、社会教育、NPO及びボランティアの支援、GIS(地理情報システム)を活用したまちづくりなどの事業を行っている。</li> <li>・他のNPOとジョイントを組んでイベント等を実施している。</li> </ul>

## 2) 担い手について

(まちづくり協議会は担い手が高齢化し、後継者も不足)

まちづくり協議会の取り組みは、震災当時に40歳代後半から50歳代だった世代がこれまで担ってきたが、震災後7年以上が経過し、それらの担い手が高齢化しており、また、若い世代の後継者もあまり育っていない団体が多い。

(TMO・NPOの担い手は若いが入手不足)

タウンマネジメント機関(TMO)やNPOは、比較的若い世代の担い手が運営しているが、やりたい事業があるにもかかわらず、資金不足からスタッフを増やせないため、人手不足の状況にある。

## 3) 活動資金について

(ほとんどの団体が活動資金不足)

活動資金については、ほとんどの団体が不足している。

とくに、まちづくり協議会については、土地区画整理事業が終了し、行政からの助成金がなくなれば、活動を継続していくことが困難になるという団体が多い。

## 4) まちづくり協議会の今後の組織の方向性について

(今後の方向性に変化)

震災後、土地区画整理事業等の地元窓口などとして多くのまちづくり協議会が発足し、被災地のまちづくりを進めてきたが、事業が完了に向かっており、今後の組織の方向性に変化が現れつつある。

(ハード事業が終了しても、まちづくりの取り組みは必要)

土地区画整理事業などのハード事業が終わっても、まちの管理・運営や、公園、道路などまちの施設を活用したソフトなまちづくり事業を行う組織が今後とも必要であると認識している団体が多い。

(今後の方向を模索する動き)

従来のまちづくり協議会の組織を「まちの管理・運営組織」やにぎわいづくりの核としての組織として存続させる動き(六甲道駅北地区まちづくり連合協議会、細田・神楽まちづくり協議会)や、公園や広域的な集会所を管理・運営するための組織づくり(六甲道駅北地区まちづくり連合協議会、北口・高木まちづくり協議会)などの取り組みが始まっている。

## 5) 活動への支援について

(初動期への支援が必要)

まちづくりの活動が軌道に乗るまでの初動期の支援が必要であるとする団体が多い。

( 個別的な支援より包括的な支援が必要 )

団体の活動全般に対する包括的な助成や、事業目的などを細かく限定しないような助成の方が活用しやすいとする団体が多い。

( 弾力的で、やる気を喚起させる制度が必要 )

一律的・画一的な助成制度ではなく、事業内容や実績に応じた弾力的で、やる気を喚起させるような助成制度が必要であるとの意見もあった。

( 継続的な事業には継続的な支援が必要 )

複数年にわたって継続的に実施しているようなイベントなどについては、継続的な支援を行う必要があるとする団体が多い。

( 申請手続きは簡素化が必要 )

申請手続きについては、できるだけ簡素化し、活用しやすいものにする必要があるとする団体が多い。

## 課題と取り組み方策

アンケート調査結果やケーススタディ調査結果を踏まえた今後のまちのにぎわいづくりやまちづくりの課題等や取り組み方策などは、以下のとおりである。

### 1) まちづくり協議会等の取り組みへの支援の充実

#### < 課題等 >

- ・土地区画整理事業等の終了などに伴い、まちづくり協議会等の今後の組織の方向性に変化が現れつつあり(まちの管理・運営組織、にぎわいづくりの核としての組織など) まちづくり協議会等は、既存の団体などとともに、今後ともコミュニティの核として、まちづくり活動やにぎわいづくりなどを展開していくことが期待される。

#### < 今後求められる取り組み方策 >

- ・まちづくり活動の初動期への支援
- ・団体の活動全般に対する包括的な支援の検討 等

### 2) まちのにぎわいづくりのための組織の連携強化・ネットワークづくり

#### < 課題等 >

- ・他の組織と連携してイベントを実施している団体や、他の団体・NPOとの情報交換、交流の必要性をあげている団体が多く、まちのにぎわいには、広域的な取り組みや連携、ネットワークによる取り組みが求められている。

#### < 今後求められる取り組み方策 >

- ・地域の団体・NPOの連携の強化やネットワーク形成のための情報交換・交流の場づくり 等

### 3) まちづくり・にぎわいづくりに若い世代の参画を促すようなしくみづくり

#### < 課題等 >

- ・まちづくりやにぎわいづくりは、幅広い世代の参画によってなされることが望まれるが、現状としては、担い手の高齢化、特定化や若い世代の後継者が育っていない。

#### < 今後求められる取り組み方策 >

- ・まちづくり協議会とNPO等との連携
- ・若い人が魅力を感じるようなまちづくりなどの取り組みへの支援策や表彰制度の創設
- ・若い人のやる気を喚起させるような事業プランや実績に応じた弾力的な助成制度等

### 4) 子どもに着目したまちのにぎわいづくり

#### < 課題等 >

- ・子どもがまちで遊んでいることが、まちのにぎわいのイメージを構成する大きな要素になっているため、子どもに着目したまちのにぎわいづくりが有効である。

#### < 今後求められる取り組み方策 >

- ・子どもの遊び場づくりや子育て支援

- ・ピオトープづくりやプレーパークなどの体験活動への支援
- ・商店街の空き店舗等を活用した子どもとお年寄りの交流の場づくりの推進 等

#### 5) 復興施策から一般施策につないでいく取り組み

##### < 課題等 >

- ・被災地においては、まちづくり協議会等による住民主体のまちづくりや、団体・NPO等によるボランティア活動の展開など、成熟社会を先導する取り組みやしくみづくりが展開されてきた。そのような取り組みに対して、阪神・淡路大震災復興基金などを活用して、きめ細かな支援を行っている。
- ・復興施策としての取り組みを、復興計画終了後も一般施策として全県的に展開していけるようにつないでいかなければならない。

##### < 今後求められる取り組み方策 >

- ・復興施策の取り組みの成果の検証を踏まえ、復興施策から一般施策につないでいく取り組みの検討





## 2 . アンケート調査結果

- ( 1 ) 組織の概要や基本的な活動内容について
- ( 2 ) 活動しているまちの復興状況について
- ( 3 ) まちのにぎわいのイメージについて
- ( 4 ) まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等の内容について
- ( 5 ) その他

## 2. アンケート調査結果

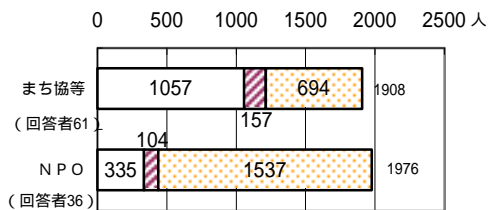
### (1) 組織の概要や基本的な活動内容について

#### 問1 団体の構成人員について

まちづくり協議会等は、NPOに比べて役員の占める割合が高い。

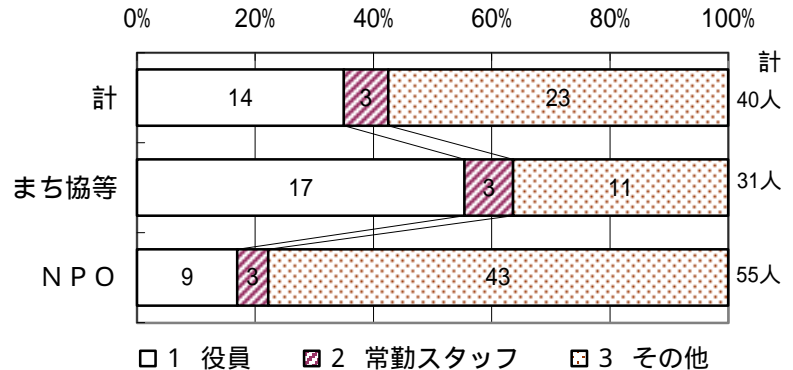
1団体あたりの平均人員は、まちづくり協議会は31人、NPOは、55

##### ・構成人員



□ 1 役員 □ 2 常勤スタッフ □ 3 その他

##### 1団体あたり人員



□ 1 役員 □ 2 常勤スタッフ □ 3 その他

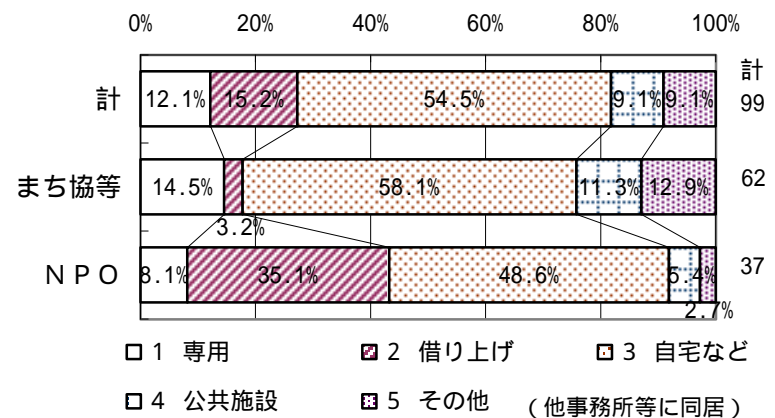
まちづくり協議会およびTMOを、「まち協等」と表示

#### 問2 団体の事務所について

全体として、専用の事務所を持つ団体は、約12%と少ない。

50%以上の団体が代表者や役員の自宅に事務所を置いている。

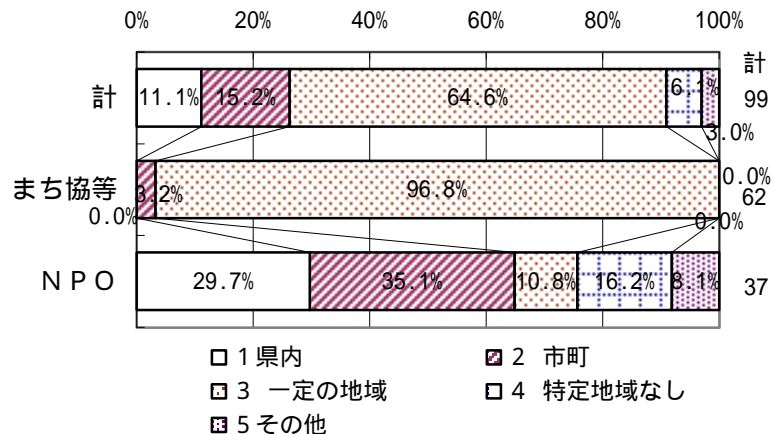
常設事務所の設置は、まちづくり協議会等が約18%であるのに対し、NPOは、借り上げも含めて約43%と



□ 1 専用 □ 2 借り上げ □ 3 自宅など  
□ 4 公共施設 □ 5 その他 (他事務所等に同居)

#### 問3 団体の活動対象地域について

まちづくり協議会等は、ほとんどが特定の比較的狭い地域を活動エリアとする団体は、約65%を占めるように活動エリアが広く、一定の地域を活動エリアとする団体は、約11%である。



□ 1 県内 □ 2 市町  
□ 3 一定の地域 □ 4 特定地域なし  
□ 5 その他

問3 - 活動対象地域の人口・世帯数・面積について（問3 3 限定質問）

まちづくり協議会等の活動地域の人口、世帯数は、1団体あたりの平均で約3,600人、1,300世帯（中央値は、2,000人、700世帯）である。

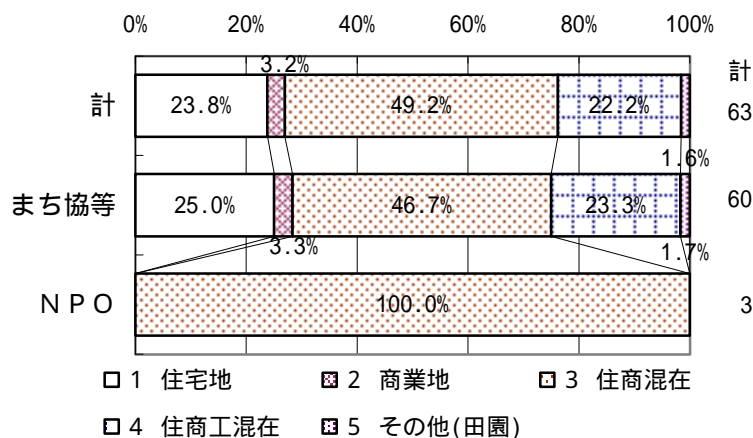
	人口	世帯数	面積(h)
計	189,753	85,746	1,533
1団体当たり	3,953	1,429	26
まち協等1団体当たり	3,625	1,271	26
NPO 1団体当たり	11,500	6,000	25
中央値	2,000	700	15

< 項目別回答者数 >

	人口	世帯数	面積(h)	問3-計
計	48	60	60	61
まち協等	46	58	58	59
NPO	2	2	2	2

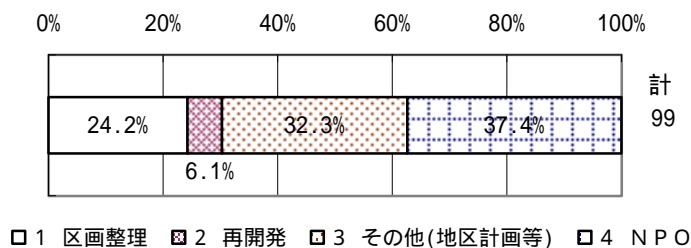
問3 - 活動対象地域の土地利用について（問3 3. 限定質問）

まちづくり協議会等の約半数は住商混在地域であり、残りを住宅地、住商工混在地域が2分している。



問4 団体の主な活動目的・分野について

市街地整備事業型のまちづくり協議会が約30%、地区計画、景観形成等を目的としたまちづくり協議会が約32% NPOが約37%であった。

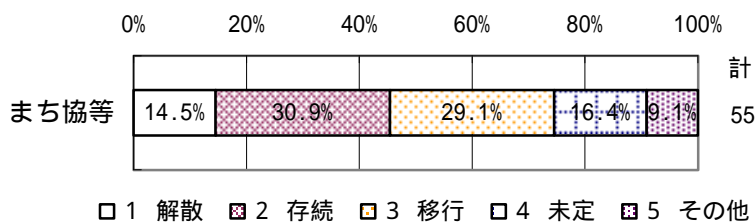


1,2,3は、まち協等（まちづくり協議会およびTMO）

問4 事業完成後の組織の存続について（問4 4.NPOを除く 限定質問）

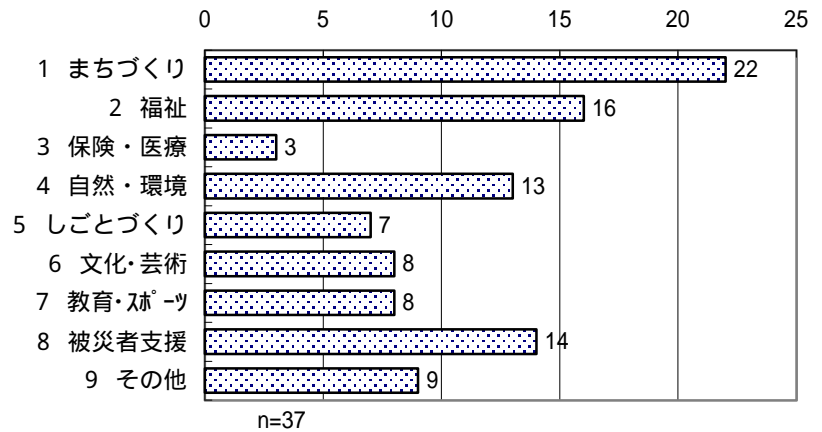
まちづくり事業完成後、まちづくり協議会等が組織を解散とした団体は、14.5%と少ない。

「存続」として答えたのは、約31%、自治会、NPO等「他組織に移行する」としたのは、約29%であり、あわせて60%が、何らかの形で組織



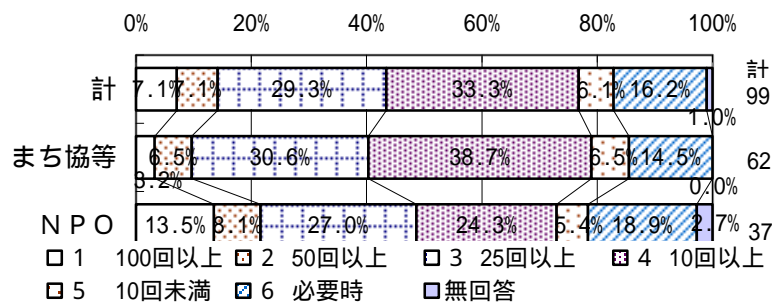
問4 - NPOの活動分野について(問4 4 限定質問 複数回答 無制限)

まちづくり、福祉、被災者支援、自然・環境を活動分野とするNPOが多い。



問5 定例的な活動の回数(平成13年度)

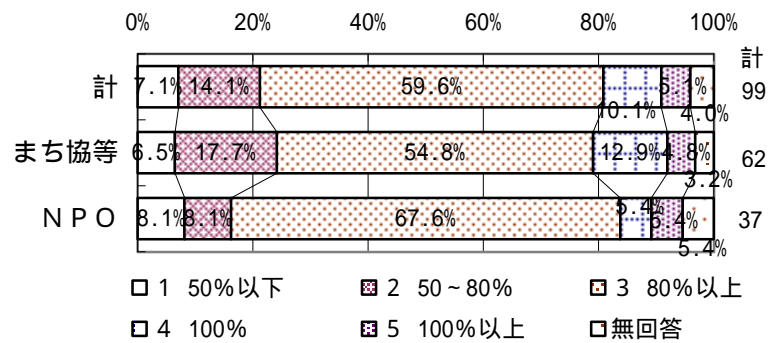
定例会議など定例的な活動回数は、年間10回以上~25回未満、25回以上~50回未満をあわせて、全体のNPOは、100回以上も多い反面、必要時のみの開催も多い。



(2) 活動しているまちの復興状況について

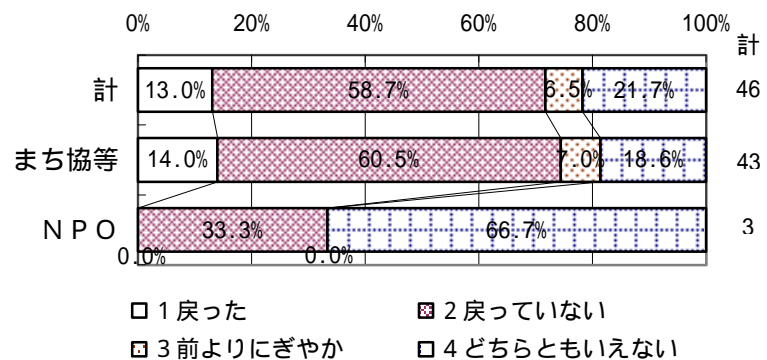
問6 活動地域のハード面の復興状況

全体の約60%が80%以上復興したと答えている。  
また、まちづくり協議会等の24.2%が8割未満と答えており、NPOに比べてハード面の復興感がやや低



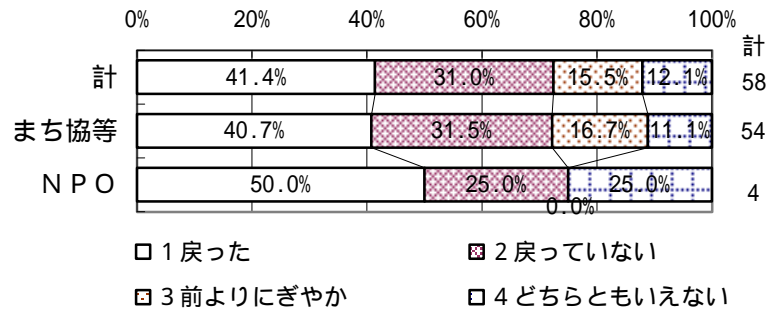
問7 商店街・市場の復興状況(活動地域が商業地、住商混在、住商工混在地域の団体対象)

商業地については、約60%が復興していないと感じている。



問8 住宅地の復興状況（活動地域が住宅地、住商混在、住商工混在地域の団体対象）

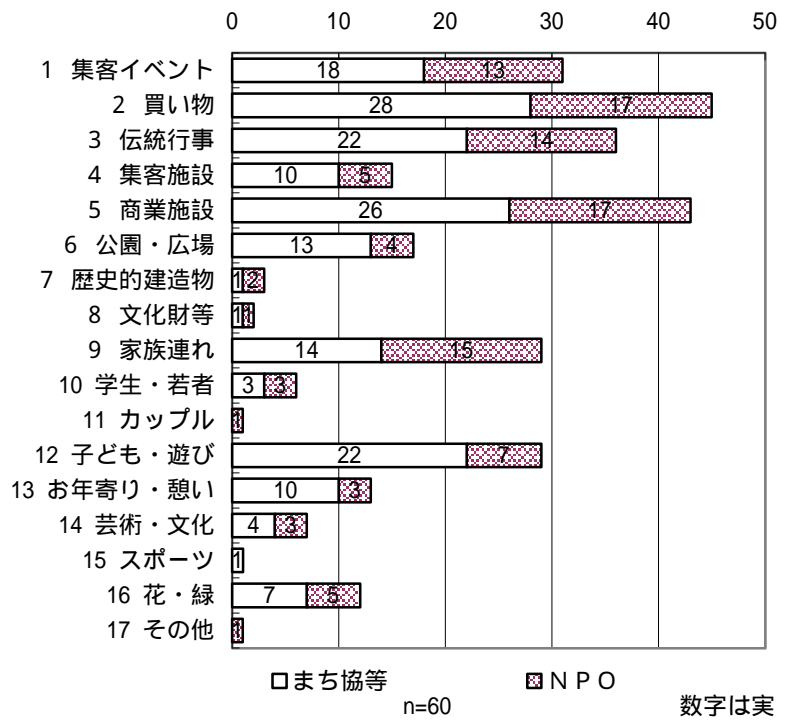
住宅地については、約40%が「震災前に戻った」、約16%が「前よりにぎやか」であり、6割弱が復興し商業地の復興感（震災前に戻った「前よりにぎやか」あわせて約20%）よりかなり多い。「戻っていない」



(3) まちのにぎわいのイメージについて

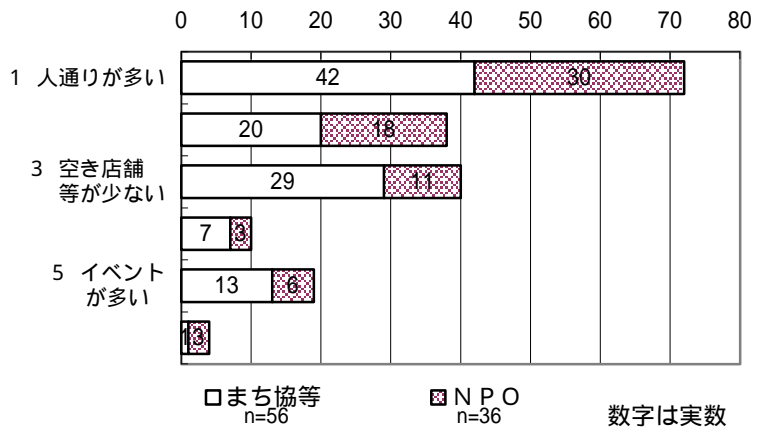
問9 まちの「にぎわい」のイメージ（複数回答 3つまで）

まちの「にぎわい」のイメージとしては、「買い物」、「商業施設」が多いが、「伝統的行事」、「集客イベント」、「家族連れ」、「子ども・遊び」も多い。



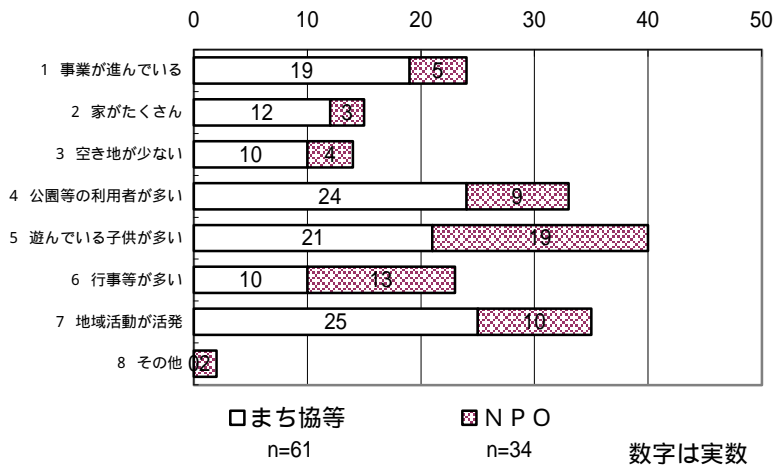
問10 「商業地のにぎわい」を感じるのは？（複数回答 2つまで）

「商業地のにぎわい」を感じるのは「人通りが多い」が多く、次に「空き店舗等が少ない」、「客が多



問11 「住宅地のにぎわい」を感じるのは？（複数回答 2つまで）

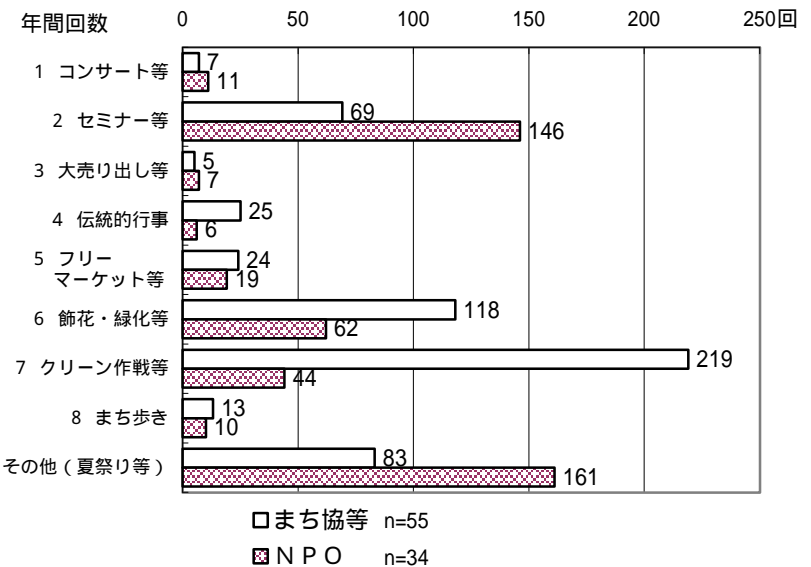
「住宅地のにぎわい」を感じるのは、「遊んでいる子供が多い」、「地域活動が活発」、「公園等の利



（４）まちのにぎわいづくりのための行事やイベントの内容等について

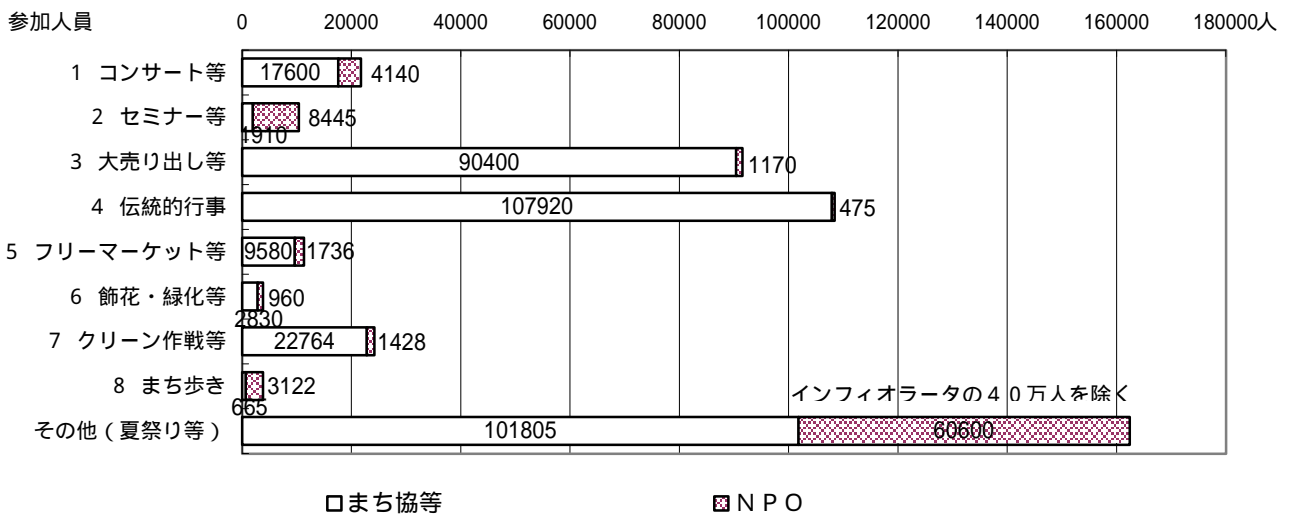
問12 平成13年度の行事・イベントについて

回数については、まちづくり協議会等では、クリーン作戦や飾花・緑化等が多い。NPOでは、夏祭りなどのイベントやセミナーが多い。  
参加人員については、夏祭り等、伝統的行事、大売り出し等が3大イ



1 団体当たり参加人員

	1 コンサート等	2 セミナー等	3 大売り出し等	4 伝統的行事	5 フリーマーケット	6 飾花・緑化等	7 クリーン作戦等	8 まち歩き	その他（夏祭り等）
計	21740	10355	91570	108395	11316	3790	24192	3787	162405
1 団体当たり	2174	273	18314	6775	870	180	834	316	5414
まち協等1団体当たり	4400	96	45200	8302	1064	189	949	67	5989
NPO 1 団体当たり	690	469	390	158	434	160	286	1561	4662
中央値	450	100	400	500	300	100	120	55	467.5

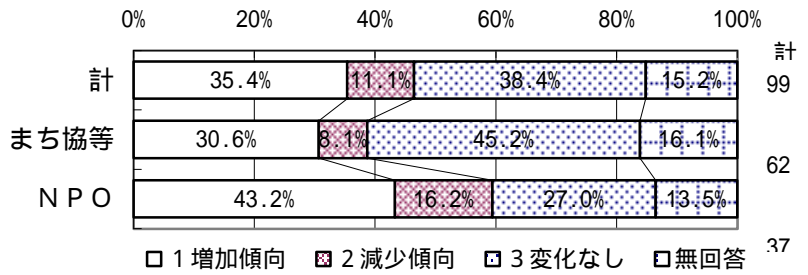


注) インフィオラータ：神戸の北野坂など道路にチューリップの花で絵を描く

問13 イベントの増減傾向

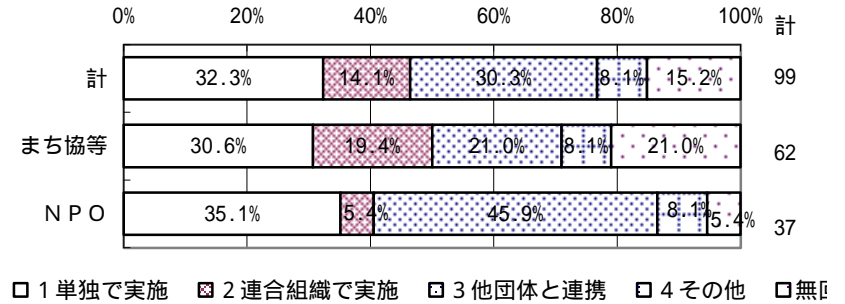
全体として、減少傾向にある団体は少ない。

まちづくり協議会等では、「変化なし」が約45%とNPOの27%よりNPOはまちづくり協議会等比べて増加傾向にある団体が多い一方、減少傾向にある団体も多く、二



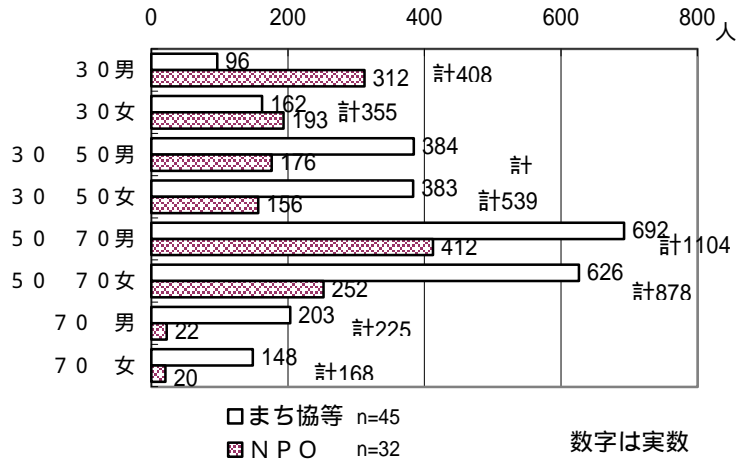
問14 イベントの実施体制

全体として、約32%が単独で実施、約30%が他団体と連携して実施してまちづくり協議会等は、単独あるいは連合組織での実施が多く、NPOは、他団体との連携が多い。



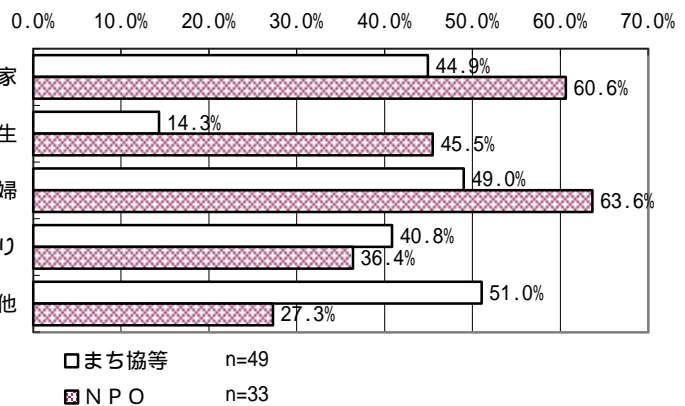
問14 行事・イベントにかかわった担い手の年齢

全体として、担い手の年齢層は、50歳から70歳の男女、特に男性まちづくり協議会等は、70歳以上の担い手も多く、高齢化している一方、NPOは、30歳未満の担い手も多く、担い手の年齢層は比較



問14 - 担い手の人材（複数回答 無制限）

全体として、専門家と専業主婦が多いが、NPOは学生も比較的多

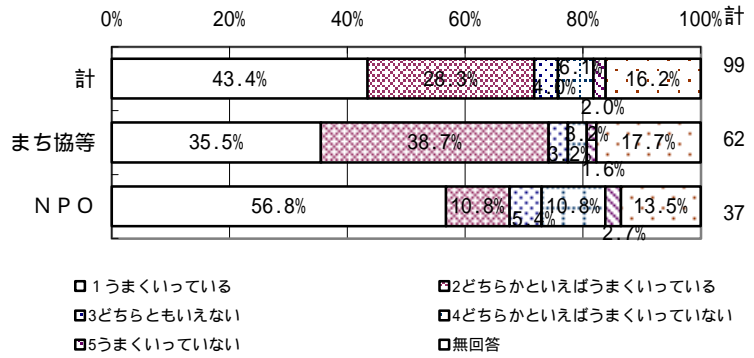




問14 - 担い手相互の連携

全体として約67%がほぼうまく  
 いている。

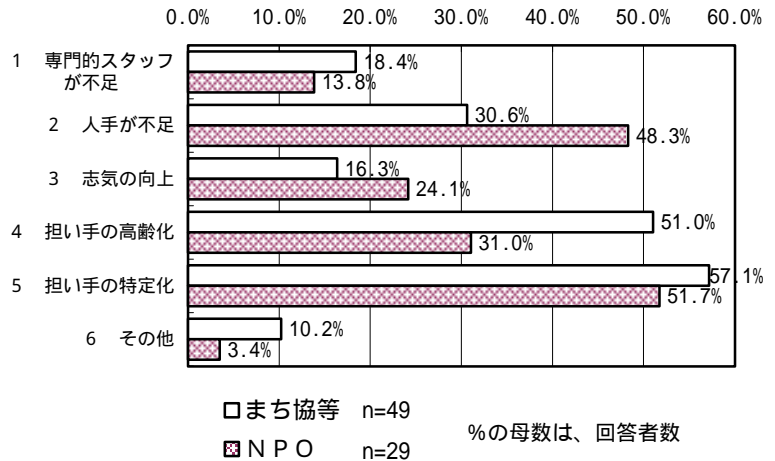
NPOはまちづくり協議会等に比  
 べ、うまくいている団体が多い  
 が、あまりうまくっていない団体



問15 にぎわいづくりの担い手の問題点 (複数回答 無制限)

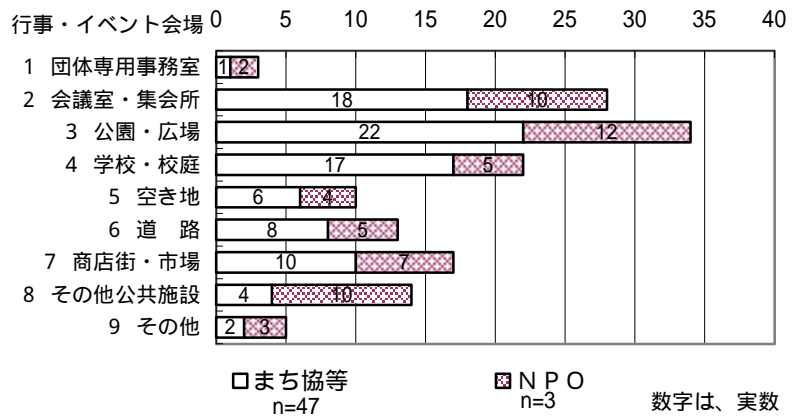
まちづくり協議会等では、担い手  
 が特定の人に限られる「担い手の特定  
 化」と、「高齢化」が多い。

NPOでは、「担い手の特定化」と、  
 「人手が不足」が多い。

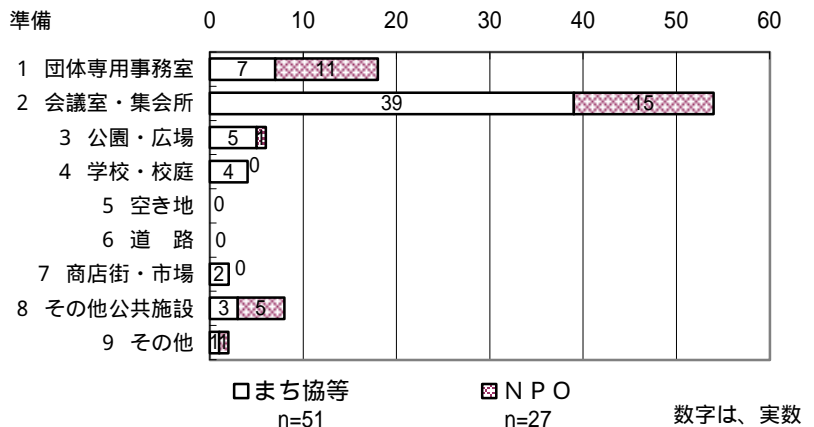


問16 行事・イベントを準備・実施する「場」について (複数回答 無制限)

行事・イベントの会場につい  
 ては、公園・広場が最も多く、会議  
 室・集会所、学校・校庭も多い。

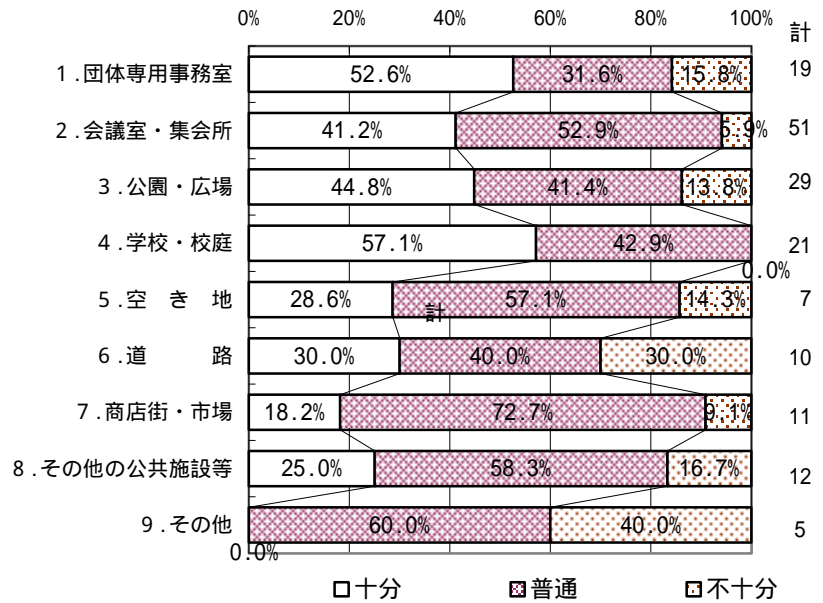


準備については、ほとんど会議  
 室・集会所、団体専用事務室であ  
 る。



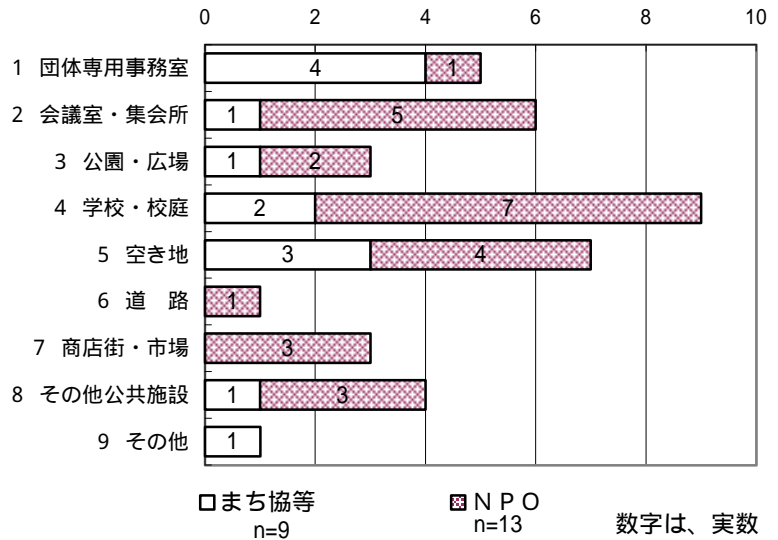
問16 「場」の満足度について

満足度は、学校・校庭が最も高く、公園・広場、会議室・集会所も道路については、満足度が低い。



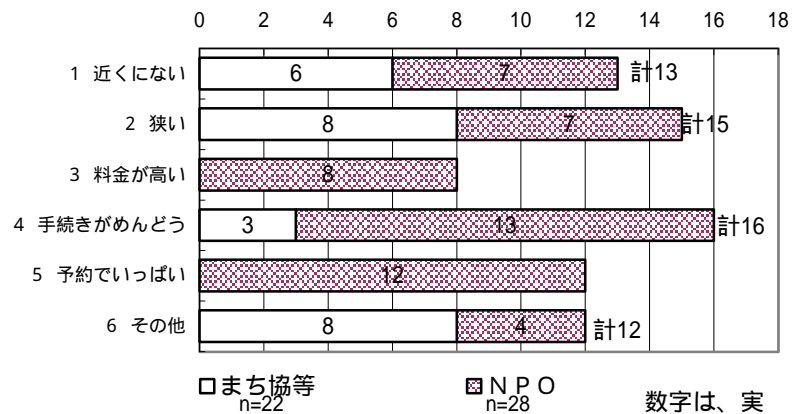
問16 今後の利用したい施設について (複数回答 無制限)

学校・校庭が最も多く、空き地、会議室・集会所も多い。



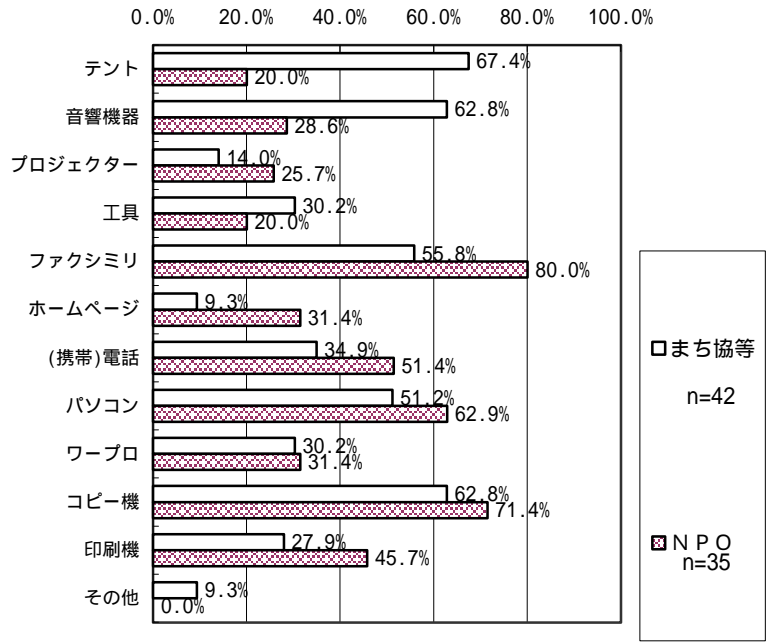
問17 にぎわいづくりの「場」についての問題点について (複数回答 無制限)

会場を借りる「手続きがめんどろ」が、最も多く、「狭い」、「近



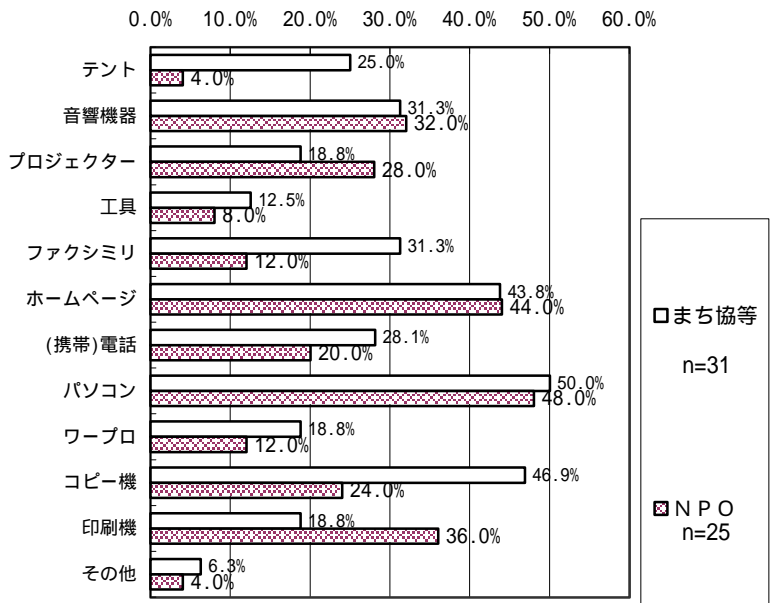
問18 所有・借用しているモノ・ツール（複数回答 無制限）

半数以上の団体が、ファクシミリ、パソコン、コピー機を所有またはまちづくり協議会等では、テント、音響機器の所有・借用率が高



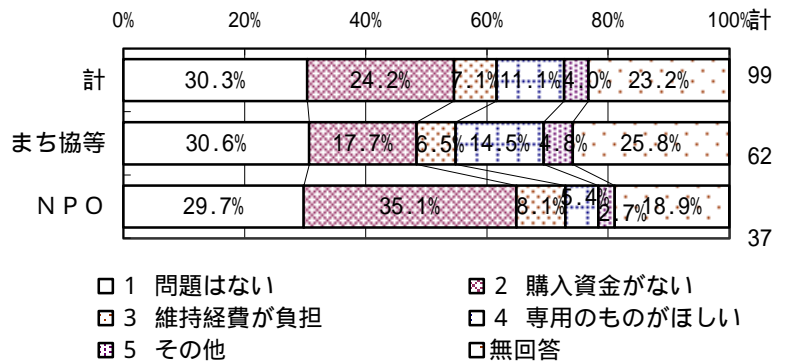
問18 将来充実したいモノ・ツールについて（複数回答 無制限）

今後、充実したいものとしては、パソコンが最も多く、ホームページ、音響機器なども多い。まちづくり協議会等は、特にファクシミリ、コピー機が多い。



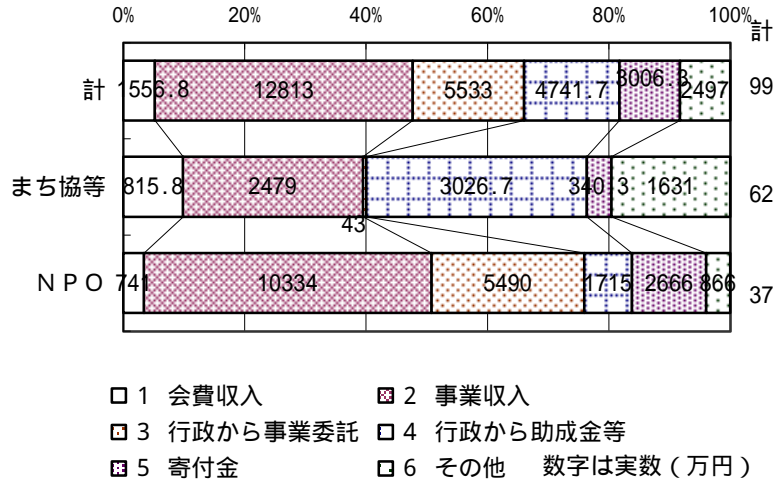
問19 モノやツールについての問題点

「問題なし」が全体の3割である。NPOでは、「購入資金がない



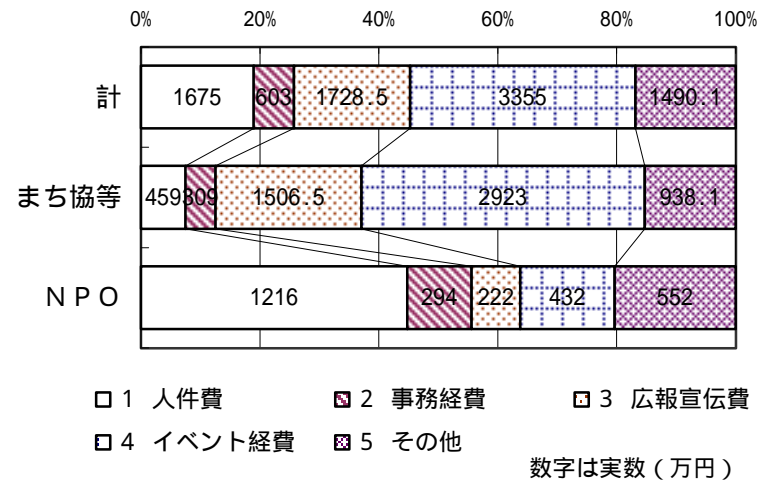
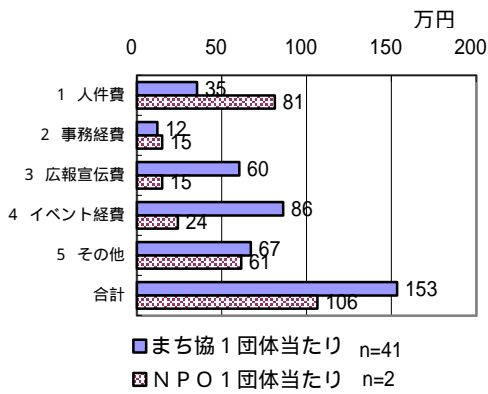
問20 平成13年度の総予算額について

1団体当たりの平均予算額は、まちづくり協議会等が225万円、NPOが644万円である。まちづくり協議会等は、行政からの助成金等が多いが、NPOは、事業収入のほか行政からの事業委託も多い。



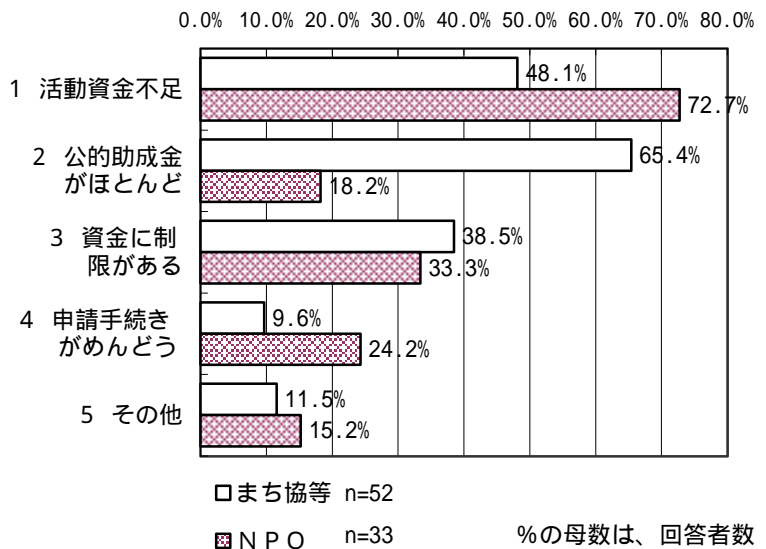
問21 にぎわいづくりの費用について

まちづくり協議会等ではイベント経費の占める割合が高く、NPOでは、人件費の占める割合が高くなっている。



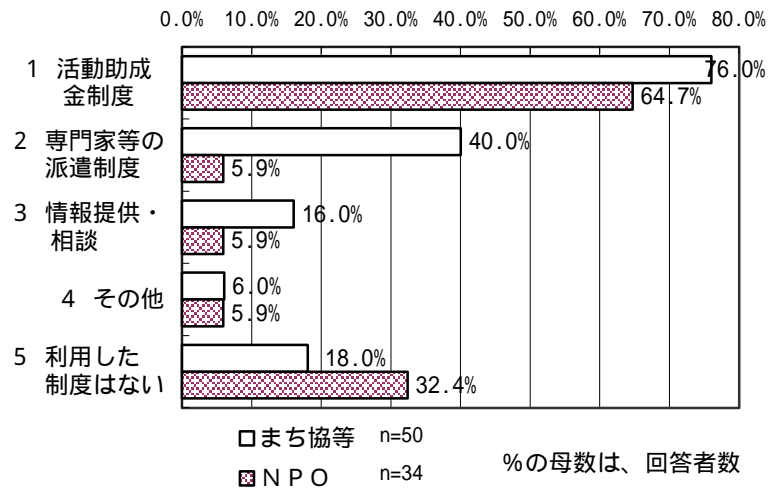
問22 活動資金についての問題点（複数回答 無制限）

全体として、「活動資金の不足」が多く、まちづくり協議会等では、「公的助成金がほとんど」が多い。



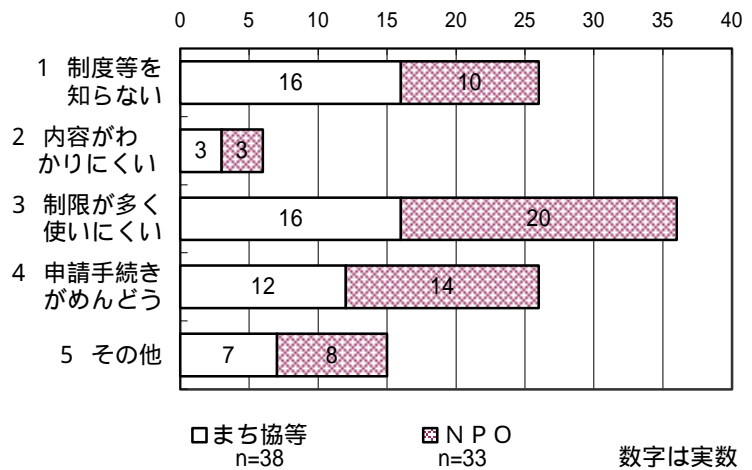
問23 利用した制度等（複数回答 無制限）

活動助成金制度を利用した団体が最も多く、専門家等の派遣制度も多い。NPOより、まちづくり協議会等のほうが既存の制度をよく利用し



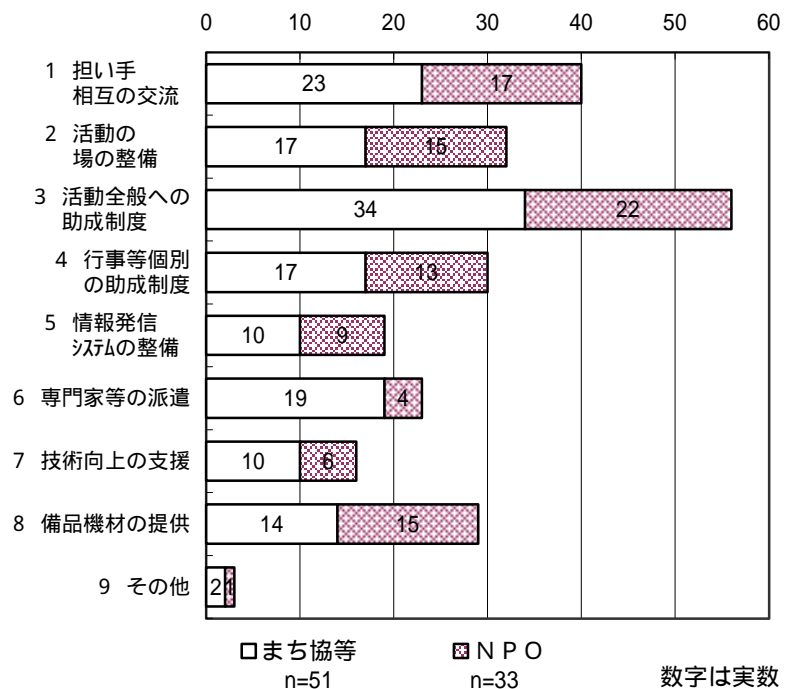
問24 制度、しくみなどの問題点（複数回答 無制限）

「制度が多く使いにくい」が多く、「申請手続きがめんどろ」、「制度等を知らない」も多い。



問25 必要な支援について（複数回答 無制限）

「活動全般への助成制度」最も多く、「担い手相互の交流・情報交換への支援」も多い。その他、「活動の場の整備」や「備品機材の提供」、「行事等個別の助成制度」なども多い。



## (5) その他

アンケート調査の自由意見欄、問26、27、28の主な意見等を整理した。(延べ104件)

- 問26 あなたの団体では、にぎわいづくりのための行事やイベントを実施するときに、独自のしくみ(組織体制やシステム)があれば、お聞かせください。
- 問27 まちのにぎわいづくりのために、今後の活動のあり方や組織・しくみのあり方、支援のあり方などについて、ご意見がありましたらお聞かせください。
- 問28 その他、まちづくりやNPO活動についてのご意見がありましたらなんでもお聞かせください。

### 組織について(9件)

- ・まちづくり協議会をまちの管理運営組織として再編したい。
- ・まちづくり協議会は存続し、新たにNPOを設立する予定である。
- ・まちづくり協議会をやや広域のまちづくり組織として存続させる。
- ・自治会を法人化するとともに、別途、まちづくりの有限会社を設立した。
- ・まちづくりの課題を解決していくための住民主導による連携型組織が必要である。
- ・まちを管理運営していくための事業収入のある組織が必要である。

### 担い手・人材について(3件)

- ・まちづくりについて指導するコンサルタントの存在が必要である。
- ・担い手の高齢化や若年層の取り組みへの不参加が大きな課題である。
- ・にぎわいづくりの取り組みには、女性のパワーが必要である。

### 連携・情報交換・交流について(12件)

- ・まちづくり会社と連携してイベントを実施した。
- ・地域の各種団体と連携してイベントを実施した。
- ・他の組織と実行委員会を結成してイベントを実施した。
- ・他の地区のまちづくり団体との情報交換の場が必要である。
- ・各種団体やNPOの交流の場を創設する必要がある。
- ・地域の団体の情報交換、交流の場として「地域会議」のような場が必要である。
- ・商業者、コンサルタント、行政による協働の取り組みが必要である。

### 活動・取り組みについて(7件)

- ・にぎわいづくりのためには、人が地域で過ごす時間を増やすような取り組みが重要である。
- ・地域の人々が明るくなるようなまちづくり構想づくりが必要である。
- ・草の根の市民活動による地域に密着した、きめ細かなまちづくり活動が肝要である。
- ・コミュニティワークの手法によるまちづくりが有効である。
- ・トライやるウィークなどの世代を超えた交流の取り組みは評価できる。

- ・ 中間支援組織などを活用して、まちづくりの支援システムをつくり、ニーズを発掘したうえで、NPO等に事業をまかせるような取り組みをすればよい。

#### 行政からの支援について（16件）

##### 1）活動資金助成

- ・ 行政からの助成金が切れれば、活動資金がなくなる。
- ・ 助成制度が減少しており、資金助成の充実が必要である。
- ・ まちづくりの個別事業を展開するための助成金が必要である。
- ・ やりたい取り組みはたくさんあるが、資金がないので実施できない。
- ・ 助成金に頼らずにに団体を運営していけるようなしくみづくりが必要である。
- ・ 特定のイベントや行事への助成だけでは、団体を継続的に維持していくのは困難である。

##### 2）その他の支援

- ・ 個人やグループのやる気を出させるような表彰制度や助成制度を考える必要がある。
- ・ もう少し自由度の高い内容の支援制度の方が活用しやすい。
- ・ NPOに新たな制度を考えさせるような試みも必要である。
- ・ 継続的な事業には継続的な支援を行う必要がある。
- ・ フェニックスプラザのような無料で使える施設が必要である。





### 3 . ケーススタディ 調査結果

- ( 1 ) J R 六甲道駅北地区 ( 神戸市灘区 )
  - ( 2 ) J R 新長田駅北地区 ( 神戸市長田区 )
  - ( 3 ) 芦屋西部地区 ( 芦屋市 )
  - ( 4 ) 西宮北口駅北東地区 ( 西宮市 )
  - ( 5 ) 築地地区 ( 尼崎市 )
  - ( 6 ) 御影本町地区 ( 神戸市東灘区 )
  - ( 7 ) 旧居留地地区 ( 神戸市中央区 )
  - ( 8 ) 売布神社駅前地区 ( 宝塚市 )
  - ( 9 ) J R 新長田駅南地区 ( 神戸市長田区 )
- < 参考 > N P O 法人の取り組み事例

### 3 . ケーススタディ調査結果

#### ( 1 ) J R 六甲道駅北地区 ( 神戸市灘区 )

#### 調 査 地 域 の 概 況

所 在 地	神戸市灘区森後町3丁目、六甲町1～5丁目、永手町5丁目、稗原町1～4丁目
地 区 の 概 要	<p>&lt; 活動地区の人口 &gt; 2,931人 &lt; 世帯数 &gt; 1,410世帯 ( H14.5 ) &lt; 面積 &gt; 16.1ha</p> <p>&lt; 土地利用状況 &gt; 80%が住宅地、20%が商業地</p> <p>&lt; 都市計画等 &gt; 六甲道駅北地区震災復興土地区画整理事業 ( 16.1ha ) ( 仮換地指定率96% ) 仮換地指定率は、H15.1.1現在 ( 以下同じ )</p>
震災前・震災後の状 況	<p>&lt; 震災前の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区東部に駅周辺の地域商業核 ( 六甲本通商店街、宮前商店街、宮前市場など約2ha ) が立地していた。</li> <li>・ 戦前の耕地整理による6m程度の道路が、東西100m・南北50m間隔で配置されていた。</li> <li>・ 50×100mの街区の内部は、戦前のホワイトカラー向け長屋の比較的多い閑静な住宅地であった。</li> <li>・ 人口は約4,200人、世帯数は約1,800世帯 ( H2 国勢調査 ) であった。</li> </ul> <p>&lt; 震災直後の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被災率 ( 全壊全焼半壊率 ) は全体として70%。六甲町1、2丁目では約1haが焼失した。</li> <li>・ 賃貸住宅層は、地区外へ転出、持家層も土地区画整理事業の都市計画決定 ( H7.3 ) により建築制限がかかり、再移転を覚悟で新築する世帯もあったが、地区外へ一時転出 ( 避難 ) する世帯も多く、急激に人口が減少した。</li> </ul> <p>&lt; 現在の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 換地移転で家屋の新築が進んでおり、まちかど広場や幹線道路も一部完成した。</li> <li>・ まちのハードの復興感は8割程度 ( 事業完了まであと2～3年 )</li> <li>・ 宮前市場の共同化が平成15年3月完成に向けて事業中である。</li> <li>・ まちのにぎわいイベントは増加傾向にある。</li> <li>・ 地区対象の集会所を近隣公園内に建設予定である。</li> <li>・ まちづくり協議会の活動を通じて、地域の知り合いが増え、まちは自分たちでつくっていくものという意識が芽生えている。</li> </ul> <p>&lt; 今後の予定 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地区が6つの自治会全域と大きな自治会の一部を含んでおり、復興事業でできた公園や道路・せせらぎ等の維持管理・利用のための組織、にぎわいづくりのための組織として、名称はともかく何らかの形で、まちづくり連合協議会を存続させたい。</li> </ul>

まちのにぎわいづくりについて

にぎわいづくりのための行事やイベント等	<p>&lt;行事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恒例の”秋のときめき祭”(参加人員約2,000人)を開催。</li> <li>・施設の開設に合わせたオープニングセレモニー(道路開きなど)</li> <li>・単位協議会、部会で随時ミニイベントを開催している。</li> <li>・地区内の公園を全て管理する六甲道駅北地区公園管理会を結成し、既存の稗原町公園、せせらぎの清掃などを毎日曜日に実施している。</li> </ul> <p>&lt;増減傾向&gt;・増加傾向にある。</p> <p>&lt;実施体制&gt;・秋のときめき祭、オープニングセレモニーは、8つの協議会と連合協議会で実行委員会を作って実施している。</p> <p>&lt;担い手&gt;・秋のときめき祭は、各協議会の役員のほか一般の住民も参画(約150人)している。</p> <p>&lt;連携&gt;・他地区の組織と連携してイベントをすることは無い。</p> <p>&lt;問題点&gt;・30~40歳代の若手の参画が少ない。</p>
にぎわいづくりのための「場」等	<p>&lt;場の種類&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用集会所(市から管理委託、ミニイベントを開催)</li> <li>・灘小学校の校庭(秋のときめき祭を開催)</li> <li>・まちづくり提案をしている大広場を持つ公園は、にぎわいづくりの拠点になる。(完成すれば、秋のときめき祭も開催する予定)</li> <li>・将来は、六甲町線のせせらぎや桜並木を使って、なにかイベントを考えたい。</li> </ul> <p>&lt;問題点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今は特に問題点はないが、市からの助成金がなくなれば、公園内にできる集会所の維持管理費に困る(ハードはできてあとの管理運営が大切)。</li> </ul> <p>&lt;モノ・ツール&gt;コピー、パソコン、電話(fax)は借用。</p> <p>&lt;モノ・ツールの問題点&gt;自前の設備がほしい。</p>
にぎわいづくりに必要な「活動資金」	<p>&lt;資金の用途&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント費用のみに使用(人手はすべてボランティア)。</li> <li>・一部は寄付金で運用している。</li> </ul> <p>&lt;問題点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のまちづくり助成であるため制限が多く、自由に使えない。</li> <li>・助成金は運営経費として前払いが必要(いつも後払い)。</li> </ul>
にぎわいづくりのための「システム」	<p>&lt;制度の利用状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市のまちづくり助成を8協議会(総額約320万円)が受け、協力金を連合に拠出している。</li> <li>・市のエコタウンの助成を受けている。</li> <li>・県の施設見学の補助を受けたことがある。</li> <li>・市の元気アップ花壇も実施した。</li> </ul> <p>&lt;問題点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな助成策も縦割りで目的別になっていない。</li> </ul> <p>&lt;必要な支援策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハコものよりもソフトに支援が必要である。</li> <li>・初動期の立ち上がりの”がんばり代”のような援助があるとよい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民は実際にまちに住んでおり、まちができた後も責任がある。</li> <li>・連合協議会としてのニュースを定例(月1回)で発行している。</li> <li>・週間でコミュニティニュース(A4両面)を発行し手配りしている。</li> </ul>

[ヒアリング実施団体]

団 体 名	六甲道駅北地区まちづくり連合協議会
団 体 の 概 要	<p>&lt;設立趣旨&gt; 震災後設立された8つのまちづくり協議会の連絡組織。市との協議の窓口として結成</p> <p>&lt;設立年月日&gt; 平成8年4月27日(8つの協議会:H7.8~11)</p> <p>&lt;構成人員&gt; 全地権者および居住者(役員:約100人)</p> <p>&lt;事務所&gt; なし(専用の集会所はあるが常駐の事務局員はいない)</p> <p>&lt;活動回数&gt; 定例勉強会15回/月</p>

( 2 ) J R 新長田駅北地区 ( 神戸市長田区 )

調 査 地 域 の 概 況

所在地	神戸市長田区細田町4～7丁目、神楽町3～6丁目
地区の概要	<p>&lt;地区の人口&gt; 1,158人 (H12国勢調査)</p> <p>&lt;世帯数&gt; 614世帯 (H12国勢調査)</p> <p>&lt;面積&gt; 活動地区: 10.8ha (新長田駅北地区全体59.6ha、東部: 28ha)</p> <p>&lt;土地利用状況&gt; 住・商・工混在地域</p> <p>&lt;都市計画等&gt; 新長田駅北地区震災復興土地地区画整理事業          新長田東地区地区計画、新長田駅北・西地区地区計画、新長田駅北・川西大道地区地区計画          新長田駅北地区東部景観形成市民協定・いえなみ基準          仮換地指定率: 78%</p>
震災前・震災後の状況	<p>&lt;震災前の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市基盤が脆弱で6m以上の道路は、条里地割りに沿って、108m間隔で通っており、公園も少なく公共用地率が低かった。</li> <li>・108mグリッドの道路沿いに商店が立地し、内層街区は、幅1.8m～2.7mの私道のはりめぐらされ、戦前長屋を主体とした老朽住宅が密集していた。長屋は、当初はほとんど賃貸であったが、土地家屋の切り売りが進み、1棟の長屋で賃貸と持ち家が混在するなど権利関係が輻輳していた。</li> <li>・また、ケミカルシューズの工場や工場アパートが立地する街区もあった。</li> <li>・人口は、1,282人、世帯数は、575世帯 (H2国勢調査) であった。 (新長田駅北地区全体で7,587人、世帯数は、3,267世帯)</li> </ul> <p>&lt;震災直後の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災率(全焼全壊半壊率)は、80%以上であり、地区の半分は焼失した。</li> <li>・平成7年3月17日、震災復興土地地区画整理事業を都市計画決定。</li> <li>・住宅市街地整備総合支援事業、まちなみ環境整備事業の指定</li> </ul> <p>&lt;現在の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も、事業は平成16年度完了を目指して継続中であり、シューズプラザ、神戸アジア交流プラザやアジアギャラリー神戸がすでに完成した。</li> <li>・まちづくり協議会の活動エリアをこえて新長田駅東部まちづくり協議会連合会としての活動もおこなっている。</li> <li>・共同化事業への参加者の土地を集合換地して共同建替建築物が1棟建設された。</li> <li>・民間のマンション建設も行われ、世帯数は、震災前を上回っている。</li> </ul>

まちのにぎわいづくりについて

<p>まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等</p>	<p>&lt; イベント &gt;          ・住商工の地域内純化のため飛び換地が多く、新たなコミュニティの形成が必要であるため、各種のイベントを開催している。          ・新長田駅北地区東部ふれあい祭り（3回目）の開催          ・フリーマーケットの開催（年1回）          ・一品持よりパーティ（住民の要望で随時開催）、クリスマスパーティ          ・そのほか市民花壇の整備、クリーン作戦など          ・近隣居住者の開催による地蔵盆          &lt; 増減傾向 &gt; ・増加の方向          &lt; 実施体制 &gt; ・ふれあい祭りは、9協議会からなる東部まちづくり協議会連合会で実行委員会を設置          ・その他は、地蔵盆以外、細田・神楽まちづくり協議会主催          &lt; 担い手 &gt; ・まちづくり協議会役員と地域住民          ・地蔵盆は、近隣10軒程度で守をしているが、減少している。          &lt; 連携 &gt; ・東部の9協議会が連携して、ふれあい祭りを実施している。          &lt; 問題点 &gt; ・イベント開催の資金集めが大変。          ・道路が公道になり、かつては私道上にあった地蔵尊を置く場</p>
<p>にぎわいづくりのための「場」等</p>	<p>&lt; 場の種類 &gt;          ・ふれあい祭りは、コミュニティ道路予定の旧道、空地などを十字に400m通行止めにして開催。          ・フリーマーケットは、事業用地などの空地で開催。          &lt; 場の問題点 &gt;          ・フリーマーケットの開催できる空地が減少。道路か公園に移さざるを得ない。          &lt; 利用希望施設 &gt;          ・水笠通公園（10,000㎡）内に集会所（交番併設）を要望している。          ・将来的にもコミュニティ道路を通行止めにし、ふれあい祭りを開催する。          &lt; モノ・ツール &gt;          ・テント、音響設備、ファクシミリ等を所有</p>
<p>にぎわいづくりに必要な「活動資金」</p>	<p>&lt; 資金の用途 &gt;          ・ふれあい祭の経費は140万円ほどかかったが、今年度は、六甲アイランド基金（50万円）の支援を受けた。残りは、まちづくり協議会の助成金の一部や地元商店、工場からの寄付金などに頼っている。</p>
<p>にぎわいづくりのための「システム」</p>	<p>&lt; 制度の利用状況 &gt;          ・まちづくり協議会は、市から年間30万円の助成を受けている。          ・14年度のコミュニティパワーアップ事業（神戸市）を受けている。          &lt; 問題点 &gt;          ・例えば国際交流に限定された助成の目的に合せて行事などを実施するのは難しい。          ・行政でできないことを実施できることもあるから、うまくまちづくり協議会を使ってほしい。          &lt; 必要な支援策 &gt;          ・まちづくり、コミュニティづくりに対し福祉と同様の助成をしてほしい。          ・イベント会場の借り上げ経費を助成してほしい。          ・まちの管理運営組織にも支援が必要である。</p>
<p>その他</p>	<p>・連合会で水笠通公園の整備内容を検討するワークショップを開催している。          ・今後、修理や引っ越し支援などまちに密着したNPOを立ち上げるべく研究会を開催している。          ・まちづくりが完成してもまちを管理運営し、イベントを開催できる組織が必要であり、まちづくり協議会を何らかの形で存続することになった。</p>

[ヒアリング実施団体]

<p>団 体 名</p>	<p>細田・神楽まちづくり協議会</p>
<p>団 体 の 概 要</p>	<p>&lt; 設立趣旨 &gt; 震災復興土地地区画整理事業の協議窓口として、4協議会合併          &lt; 設立年月日 &gt; 平成10年6月（細田町4丁目・5丁目、神楽町4丁目、神楽町4・5丁目まちづくり協議会、神楽復興協議会：平成7年6～10月設立）          &lt; 構成人員 &gt; 会員（住民700世帯および地主、家主）および役員（37名）          &lt; 事務所 &gt; 会長宅店舗内</p>

( 3 ) 芦屋西部地区 ( 芦屋市 )

調 査 地 域 の 概 況

所 在 地	芦屋市川西町、津知町、前田町、清水町の一部
地 区 の 概 要	<p>&lt; 地区の人口 &gt; 約3,200人 (H14)</p> <p>&lt; 世帯数 &gt; 約1,200世帯 (H14)</p> <p>&lt; 面積 &gt; 第一地区10.3ha 第二地区10.7ha 計21.0ha</p> <p>&lt; 土地利用状況 &gt; 国道2号沿は商業地域、国道以北および以南は住宅地域</p> <p>&lt; 都市計画等 &gt; 芦屋西部第一地区震災復興土地区画整理事業          仮換地指定率：98%          芦屋西部第二地区震災復興土地区画整理事業          仮換地指定率：94%</p>
震災前・震災後の状況	<p>&lt; 震災前の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道2号、川西線が通るほかは、6m以上の道路が比較的少なかった。</li> <li>・国道南部の津知町の一部は、かつては農村集落であった。</li> <li>・地区の北部は、生け垣で囲まれた閑静な住宅であった。</li> <li>・人口は、約3,220人、世帯数は、約1,430世帯 (H6) であった。</li> </ul> <p>&lt; 震災直後の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災率 (全壊半壊率) は、第一地区90.8%、第二地区92.4%と大きな被害を受けた。特に全壊率が、それぞれ82.8%、81.2%と被害は甚大であった。</li> <li>・平成7年3月17日、震災復興土地区画整理事業を都市計画決定。</li> <li>・住宅市街地総合整備事業の指定</li> </ul> <p>&lt; 現在の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も、事業は平成16年度完了を目指して継続中である。</li> <li>・かつての宅地にあった樹木を市の用地や公園予定地に保管し、完成した公園やまちかど広場に移植している。</li> <li>・全体で8公園のうち、津知公園など2公園が完成した。清水公園は2/3が完成している。</li> <li>・住宅市街地総合整備事業で受皿住宅が建設された。</li> </ul>



< 現状 戸建住宅 >



< 現状 清水公園のピオトープ >



< 芦屋西部地区事業計画図 >



< 現状 第5号公園 >

## まちのにぎわいづくりについて

まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等	<p>&lt; イベント &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち再興協議会は、まちのハードウェアの対応で精一杯であり、にぎわいづくりのイベントは、川西五町会（連絡協議会）で行っている。</li> <li>・盆踊りや夏祭りを実施していたが震災後、滞りがちである。</li> <li>・全ての公園、幹線道路、コミュニティ道路の整備内容をワークショップ方式で検討し、市、公団に提案した。</li> <li>・清水公園の公園開きイベントを実施した。子どもたちに大変喜ばれた。</li> </ul> <p>&lt; 増減傾向 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加の方向</li> </ul> <p>&lt; 実施体制 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわいづくりは、川西五町会で行う。</li> </ul> <p>&lt; 担い手 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の組織</li> </ul> <p>&lt; 連携 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業に専念しているので、他の組織とは連携していない。</li> </ul> <p>&lt; 問題点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や国道沿道の商店街との連携が課題。</li> </ul>
にぎわいづくりのための「場」等	<p>&lt; 場の種類 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盆踊りは、津知公園の広場を予定している。</li> </ul> <p>&lt; 利用希望施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内にまちづくりの拠点となる施設（震災復興記念コミュニティセンター（仮称））の建設を検討している。</li> </ul> <p>&lt; モノ・ツール &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にもっていない。</li> </ul>
にぎわいづくりに必要な「活動資金」	<p>&lt; 資金の用途 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・にぎわいづくりについては、自治会の自己資金で行っている。</li> </ul>
にぎわいづくりのための「システム」	<p>&lt; 制度の利用状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まち再興協議会は、市から年間300万円の助成を受けているが、ほとんどは通信費等に使っている。</li> </ul> <p>&lt; 問題点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードのまちづくりが終われば、公園、道路やまち全体の運営管理をする組織が必要。</li> </ul> <p>&lt; 必要な支援策 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりについての情報を知らせる「まち再興協議会だより」を3～4ヶ月に1回発行している。</li> <li>・現在、まちのルールづくりとして、地区計画に取り組んでいる。</li> </ul>

### [ヒアリング実施団体]

団 体 名	芦屋西部地区まち再興協議会
団 体 の 概 要	<p>&lt; 設立趣旨 &gt; 震災復興土地区画整理事業の協議窓口として、設立</p> <p>&lt; 設立年月日 &gt; 平成8年3月</p> <p>&lt; 構成人員 &gt; 会員（全世帯）および役員（26名）</p> <p>&lt; 事務所 &gt; 都市基盤整備公団のまちづくり相談所を借用</p>



( 4 ) 西宮北口駅北東地区 ( 西宮市 )

調 査 地 域 の 概 況

所 在 地	西宮市北口町、高木西町、高木東町、長田町、薬師町の各一部
地 区 の 概 要	<p>&lt; 地区の人口 &gt; 約3,000人 (H14.1)</p> <p>&lt; 世帯数 &gt; 約1,300世帯 (H14.1)</p> <p>&lt; 面積 &gt; 31.2ha</p> <p>&lt; 土地利用状況 &gt; 住宅地域</p> <p>&lt; 都市計画等 &gt; 西宮北口駅北東震災復興土地地区画整理事業 仮換地指定率：95%</p>
震災前・震災後の 状 況	<p>&lt; 震災前の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市基盤が脆弱で公園や6m以上の道路が少なかった。</li> <li>・地区の南部の阪急神戸線沿いは、昔からの旧集落であった。</li> <li>・地区の北部は、農地の残る比較的新しい市街地</li> <li>・人口は、約4,100人、世帯数は、約1,700世帯 (H6.9) であった。</li> </ul> <p>&lt; 震災直後の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災率(全壊半壊率)は、50%以上であったが、全壊は、33.7%、半壊は、16.6%であった。</li> <li>・平成7年3月17日、震災復興土地地区画整理事業を都市計画決定。</li> <li>・住宅市街地整備総合支援事業の指定。</li> </ul> <p>&lt; 現在の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も、事業は平成17年度完了を目指して継続中である。</li> <li>・まちづくり協議会の活動エリアを小学校区に広げて、地域の中心となる高木公園を管理運営できる組織を新たにつくろうとしている。</li> <li>・共同化事業への参加者の土地を集合換地して共同建替建築物が2棟建設された。</li> </ul>



< 現状 戸建住宅 >



< 現状 共同建替 >

## まちのにぎわいづくりについて

<p>まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等</p>	<p>&lt; イベント &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会が直接実施したものはないが、高木八幡神社のみこしを借りて、「高木まつり保存会」を結成して平成8年より「高木秋まつり」を復活させ、実施している。</li> <li>・まつりは、第1回から盛り上がった。</li> <li>・平成16年3月完成予定の高木公園を地域の中心として、まちづくり協議会の枠を超えて、小学校区を対象に管理組織の設立に向けて「管理運営準備会」を結成した。</li> <li>・公園では、プレーパーク の設置、運営や季節ごとに各種のイベントを行う予定。</li> </ul> <p>プレーパークとは、プレーリーダーを置き、子どもたちの好奇心や欲求を大切に、公園にあるような禁止事項を設けず、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーとした遊び場のこと。</p> <p>&lt; 増減傾向 &gt; ・増加の方向</p> <p>&lt; 実施体制 &gt; ・祭は、高木まつり保存会（地域の有志による） ・公園は、管理組織が行う予定。（イベントを検討中。）</p> <p>&lt; 担い手 &gt; ・地域のボランティア ・管理組織には、PTA、自治会、老人会など地域の各種団体が参加</p> <p>&lt; 連 携 &gt; ・公園の隣が小学校であり、連携を保っていきたい。 ・高木まつり保存会、公園管理準備会ともにまちづくり協議会の役員が代表を務めている</p> <p>&lt; 問題点 &gt; ・イベント開催の資金がない。 ・地域住民の参加・参画がまだまだ少ない。</p>
<p>にぎわいづくりのための「場」等</p>	<p>&lt; 場の種類 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高木秋まつりは、道路と神社境内を利用、今後は「高木公園」のイベント広場を活用する計画。</li> </ul> <p>&lt; 利用希望施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園内に拠点施設（集会所）ができる予定であり、公園の早期整備が望まれる。</li> </ul> <p>&lt; モノ・ツール &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にもっていない。</li> </ul>
<p>にぎわいづくりに必要な「活動資金」</p>	<p>&lt; 資金の用途 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高木秋まつりの経費は50万円ほどかかるが、地元商店や個人からのご祝儀に頼っている。</li> </ul>
<p>にぎわいづくりのための「システム」</p>	<p>&lt; 制度の利用状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会は、市から年間40万円の助成を受けているが、規定により来年度をもって助成が終了するため、延長申請を行う予定。</li> </ul> <p>&lt; 問題点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりは、ハードが完成すれば終わりではなくそこから始まる。（ソフトが大事）</li> </ul> <p>&lt; 必要な支援策 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成は全て平等である必要はなく、確実に活動している団体に助成し情報公開などで評価していけばよい。</li> <li>・イベントに自由に使える資金が、多額でなくてもよいので必要。</li> <li>・住民がはじめから主体的に動くのは難しい。行政が仕掛けていくなど、資金面以外のサポートも必要。</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりについての情報を知らせるニュース「すまい・まち」を年3回以上発行している。「すまい・まち」は、通算51号となっている。</li> <li>・今後、イベント開催などで西宮北口駅前の商業施設との連携が必要。</li> </ul>

### [ヒアリング実施団体]

<p>団 体 名</p>	<p>北口・高木まちづくり協議会</p>
<p>団 体 の 概 要</p>	<p>&lt; 設立趣旨 &gt; 震災復興土地画整理事業の協議窓口として設立</p> <p>&lt; 設立年月日 &gt; 平成7年11月</p> <p>&lt; 構成人員 &gt; 会員（約2000人）および役員（22名）</p> <p>&lt; 事務所 &gt; なし</p>

( 5 ) 築地地区 ( 尼崎市 )

調 査 地 域 の 概 況

所 在 地	尼崎市築地 1 丁目 ~ 4 丁目
地 区 の 概 要	<p>&lt; 地区の人口 &gt; 1,109人(H14.3.31) &lt; 世帯数 &gt; 541世帯(H14.3.31)</p> <p>&lt; 面積 &gt; 13.5ha</p> <p>&lt; 土地利用状況 &gt; 住商工の混在地域</p> <p>&lt; 都市計画等 &gt; 築地地区震災復興土地区画整理事業 (住宅地区改良事業合併施行)</p> <p>仮換地指定率：90%</p>
震災前・震災後の 状 況	<p>&lt; 震災前の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代からの町家や長屋が残り、歴史的な雰囲気があった。</li> <li>・昔から住んでいた人が多かったが、周辺企業に勤める人が流入してきた。</li> <li>・都市基盤が脆弱で公園や6m以上の道路が少なかった。</li> <li>・地区の北部は、本町通沿いに商店が立地していて家屋の規模は比較的大きかった。</li> <li>・地区の南部は、幅1.8m~2.7mの私道が多く老朽住宅が密集していた。</li> <li>・人口は、昭和40年頃がピークで4,500人強、震災前には、2,440人、世帯数は、1,040世帯で、小学校も一学年1~2クラスに減った。</li> </ul> <p>&lt; 震災直後の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災率(全壊半壊率)は50%以上で、全壊は比較的少なかったが、液状化現象により、地区内の建物の約8割が傾斜、沈下する等の大きな被害を受けた。</li> <li>・震災で大きな被害を受け、震災復興土地区画整理事業(第1次都市計画決定H7.8.8)と住宅地区改良事業(H7.9.14地区指定)の合併施行を決定。</li> </ul> <p>&lt; 現在の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も事業は、平成16年度完了をめざして継続中である。</li> <li>・築地公園、築地中公園、松嶋橋公園、まちかど広場の整備について、平成16年度末の完成に向けて、見学会などを行い復興委員会の部会で検討している。</li> <li>・市営住宅に見られるように、城下町のイメージで景観づくりを進めている。</li> <li>・人口減のため、店舗も減少している。</li> </ul>

まちのにぎわいづくりについて

<p>まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等</p>	<p>&lt; イベント &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・築地地区復興委員会が直接実施したものはないが、初島大神宮の祭礼の際のだんじり巡行と山あわせ（だんじり7基）が明治時代から引き続き行われている。</li> <li>・震災の年も住民を元気づけるために実施した。</li> <li>・福祉連絡協議会の名のもと、地区の運動会が平成9年まで行われていたが、公園が事業用仮設住宅用地になったため休止している。</li> <li>・震災前は、地蔵尊が13あり、地蔵盆も行われていた。震災後、一ヶ所になり、地蔵盆は実施していないが、復活させたい。</li> <li>・市営築地北住宅では、盆踊りを実施し、他の住宅などからも参加があり、にぎわった。</li> </ul> <p>&lt; 増減傾向 &gt; ・運動会は休止中。</p> <p>&lt; 実施体制 &gt; ・盆踊りは、市営築地北住宅の自治会が主催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんじりは、だんじり保存会が運営にあたっているが、地縁集団から同好会的な団体になっている。</li> </ul> <p>&lt; 担い手 &gt; ・町のいろいろな年齢層の有志がだんじりを支えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんじりのかき手などは、つてをたどって地区外からも若い人を呼んでいる。</li> </ul> <p>&lt; 連 携 &gt; ・町会（自治会をこう呼ぶ）は、築地東、築地中、築地西福祉協会があり、復興委員会と連携して、にぎわいづくりをやっていく必要がある。</p> <p>&lt; 問題点 &gt; ・だんじりが個人（任意団体）の運営になっており、なんらかの補助が必要。</p>
<p>にぎわいづくりのための「場」等</p>	<p>&lt; 場の種類 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園、道路、集会所を利用。</li> </ul> <p>&lt; 利用希望施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や新集会所の早期整備が望まれる。</li> </ul> <p>&lt; モノ・ツール &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特にもっていない。</li> </ul>
<p>にぎわいづくりに必要な「活動資金」</p>	<p>&lt; 資金の用途 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんじり巡行と山あわせの経費は、ご祝儀などの寄付（全体の3割）と会員の持ちだしに頼っている。</li> </ul>
<p>にぎわいづくりのための「システム」</p>	<p>&lt; 制度の利用状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・築地復興委員会は、平成7年度から市より年間30万円の活動助成を受けている。</li> <li>・平成13年度より、県のまちづくりセンターから活動資金（上限300万円、100万円×3ヵ年）の助成を受けている。</li> </ul> <p>&lt; 問題点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復興事業が終わっても、まちづくりは続ける必要があるので、助成を続けてほしい。</li> </ul> <p>&lt; 必要な支援策 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だんじりの維持に助成金がほしい。</li> <li>・復興記念誌を出す予定だが、資金援助をしてほしい。</li> </ul>
<p>そ の 他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築地らしい街並みづくりのため、地区計画決定をしている。</li> <li>・「築地らしいまち並みづくりパンフレット（保存版）」を作成、住民に配布した。</li> </ul>

[ヒアリング実施団体]

<p>団 体 名</p>	<p>築地地区復興委員会</p>
<p>団 体 の 概 要</p>	<p>&lt; 設立趣旨 &gt; 震災復興事業の協議窓口として、設立</p> <p>&lt; 設立年月日 &gt; 平成7年2月26日</p> <p>&lt; 構成人員 &gt; 会員および役員</p> <p>&lt; 事務所 &gt; なし</p>

( 6 ) 御影本町地区 ( 神戸市東灘区 )

調 査 地 域 の 概 況

所 在 地	神戸市東灘区御影
地 区 の 概 要	<p>阪神電鉄本線御影駅高架下の市場</p> <p>&lt;地区の概要&gt; 52店舗</p> <p>&lt;東灘区の人口&gt; 198,864人 &lt;区の世帯数&gt; 85,898世帯 (H14.9.1推計)</p> <p>&lt;土地利用状況&gt; 周辺は、東灘区南部の住商工混在、北部は住宅地、南部は住商工混在</p> <p>&lt;都市計画等&gt; 特になし</p>
震災前・震災後の状	<p>&lt;震災前の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かつて(昭和30~40年代)は、大変にぎわった市場だった。</li> <li>・近年、周辺の大規模商業施設の立地で売り上げは落ち込んでいた。</li> <li>・平成2年の東灘区の人口は、190,354人、世帯数は73,582世帯(H2.国調)であり、現在人口は、震災前に戻ったが世帯数が大幅に増加した。</li> </ul> <p>&lt;震災直後の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場の被害は比較的少なかったため、市の要請もあって2月4日から可能なところから再開した。</li> <li>・その後、2年くらいはにぎわったが、周辺の空地の増加や酒造業の停滞、大型店の出店によって、顧客が減少した。</li> </ul> <p>&lt;現在の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も、社会経済情勢が悪く、売り上げも伸びていない。</li> <li>・交通量調査によると、歩行者も激減している。</li> <li>・ポイントカードの会員住所は、東灘区西部の御影、住吉から渦が森までおよび、商圈はかなり広い。</li> <li>・県の商店街競争力強化基金助成事業を受け、市場の競争力強化のためのソフト事業、計画策定についてコンサルタントを交え勉強会を実施している。</li> </ul>



<現状1 東入口>



<現状2 内部>

まちのにぎわいづくりについて

まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等	< イベント > ・ 2ヶ月に1回、満点カードで抽選。チラシを大：月1、小：月3回出している。 ・ 他に中元時と年末に満点カードで抽選（景品）。 ・ 顧客を逃がさないためポイントカードを取り入れている。 ・ 販促で年賀状も出している。 ・ 年1回、沢の井夜店を周辺の自治会、婦人会、子ども会などの協賛を得て実施している。 < 増減傾向 > ・ 定常的 < 実施体制 > ・ 沢の井夜市：旨水館主催 商店主や自治会などがボランティアで出店（約50店）。今年で第14回目。平成14年7月20日（土）実施。 < 担い手 > ・ 売り出し：各店舗の参加 ・ 沢の井夜市：商店主、従業員、周辺自治会等のボランティア < 連 携 > ・ 空き家対策として、3店をNPO等に貸している。 < 問題点 > ・ 売上げが伸びない。 ・ 駐車場がない。（自動車に対応できていない）
にぎわいづくりのための「場」等	< 場の種類 > ・ 売り出しは市場内、夜市は、阪神電鉄高架の南側道路 < 利用希望施設 > ・ 特にない < モノ・ツール > ・ 専用事務所があり、カラーコピーをはじめ機器はそろっている。
にぎわいづくりに必要な「活動資金」	< 資金の用途 > ・ 会費により運営している。
にぎわいづくりのための「システム」	< 制度の利用状況 > ・ 今年度は、県の商店街競争力強化基金助成事業を受けている。 ・ 平成13年度に市のコミュニティビジネス形成支援事業を受けている。 < 問題点 > ・ 行政の助成は事業目的が限定されているため使いにくい。 ・ 申請の手続きや書類が非常に煩雑で、一般の人には利用しにくい。 < 必要な支援策 > ・ イベントなどに自由に使える助成金がほしい。 ・ ポイント制度を導入しているが、ポイント還元セールにも助成金がほしい。
そ の 他	・ ホームページを活用し、ネットでもちらしを出している。 神戸市小売市場連合会のHPもできた。

[ヒアリング実施団体]

団 体 名	協同組合 御影市場（御影旨水館）
団 体 の 概 要	< 設立趣旨 > 大正9年御影市場として設立、昭和10年阪神御影市場、平成4年御影旨水館と改称。 < 構成人員 > 会員（52店）および役員 < 事務所 > 専用事務所あり



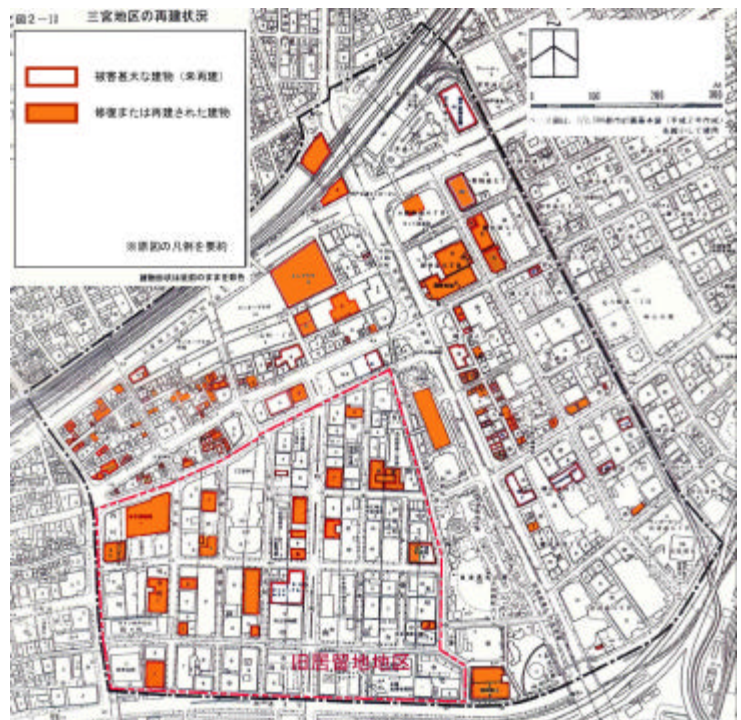
( 7 ) 旧居留地地区 ( 神戸市中央区 )

調 査 地 域 の 概 況

所 在 地	神戸市中央区旧居留地地区 ( 西町、前町、明石町、浪花町、播磨町、京町、江戸町、伊藤町、東町、加納町 6 丁目、及び海岸通の一部 )
地 区 の 概 要	<p>&lt; 活動地区の人口 &gt; 140人 &lt; 世帯数 &gt; 78世帯 ( H12国調 ) &lt; 面積 &gt; 約22ha</p> <p>&lt; 土地利用状況 &gt; ほとんどが商業業務地 ( 専用住宅はない )</p> <p>&lt; 都市計画等 &gt; 旧居留地地区地区計画 ( 22.1ha ) 都市景観形成地域</p>
震災前・震災後の状	<p>&lt; 震災前の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神戸の中心業務地であり、戦前の由緒ある近代建築が残っていた。</li> <li>明治時代に外国人居留地として整備。幅員10m以上の道路が、東西約50m、南北約100m間隔で配置されている。</li> </ul> <p>&lt; 震災直後の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区内の建築物106棟が何らかの被害を受け、うち22棟が甚大な被害を受け解体撤去された。そのなかには、旧居留地を代表する近代建築も数多くあった。(旧神戸居留地15番館、海岸ビル、大興ビル、明海ビルなど)</li> <li>郵船ビルは、平成5年に耐震補強がなされ倒壊を免れた。</li> </ul> <p>&lt; 現在の状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>震災で撤去された建物(22棟)のうち20棟が再建された。ほとんどの建物は、1～2階に店舗を導入した事務所ビルで、地区計画にのっとって建築された。上層階が住宅であるものも少しある。</li> <li>震災で全壊した建物を建て替えた時、ほとんど階数が増加しているため震災前より、事務所床は増加していると考えられる。</li> </ul> <p>&lt; 今後の予定 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後とも、旧居留地をよりよくするため街の変化に合わせた対応をとっていききたい。</li> <li>災害に強い街を目標に取り組んでいる。</li> <li>段差をなくすなどのバリアフリー、歩行者優先道路や歩行者天国などを検討中である。</li> </ul>



< 再建された建物 >



< 震災で甚大な被害を受けた建物の再建状況(H14) >  
資料：「街の復興カルテ 2001年度版」を一部修正

まちのにぎわいづくりについて

<p>にぎわいづくりのための行事やイベント等</p>	<p>&lt;行事&gt;          ・イベント委員会によるプロムナードコンサートの実施（プロムナードスクエアにて年3～4回クラシックやジャズのコンサートや高校などのクラブの発表などを行う。）          ・恒例化したルミナリエに協力          ・防災委員会による防災訓練、地域防災計画、防災マニュアルの作成          ・環境委員会によるクリーン作戦（春秋2回）、飾花活動          ・親睦委員会による研修会、見学会等          &lt;増減傾向&gt; ・増加傾向にある。          &lt;実施体制&gt; ・各委員会により企画実施している。          &lt;担い手&gt; ・会員である企業（総務担当者等）          &lt;連携&gt; ・ルミナリエ、神戸まつり等に協力          &lt;問題点&gt; ・特にない</p>
<p>にぎわいづくりのための「場」等</p>	<p>&lt;場の種類&gt;          ・地区内企業の敷地（旧居留地プロムナードスクエア）、道路上。          ・専用事務所（大丸カーポート内）はあるが常駐員はいない。          &lt;問題点&gt;          ・都市銀行が協賛していた旧居留地クリスマスコンサート（第九交響曲演奏会）がなくなったのは残念。（経費は、銀行が負担していた。）          ・そのほかは、特に問題はない。          &lt;モノ・ツール&gt;          ・備品・機材などについては特に問題はない。</p>
<p>にぎわいづくりに必要な「活動資金」</p>	<p>&lt;資金の用途&gt;          ・イベント費用のみ（人手はすべてボランティア）。          ・震災復興促進区域を対象とした神戸市のコンサルタント派遣制度を受けている。          &lt;問題点&gt;          ・特にない。</p>
<p>にぎわいづくりのための「システム」</p>	<p>&lt;制度の利用状況&gt;          ・神戸市の景観形成市民団体の指定を受けている。          &lt;問題点&gt; 特にない          &lt;必要な支援策&gt; 特にない</p>
<p>その他</p>	<p>・大企業も中小企業も同額の会費で発言力が同等である。          ・広報委員会による旧居留地の活動PR紙を定例（年2回）で発行し、各会員や全国の自治体に配布している。          ・都心（まち）づくり委員会では、「復興計画」に基づき、行政と協議しながら、歩道の見直し、広告ガイドラインの策定など、まちの活性化に取り組んでいる。          ・会員企業の担当者は、2～3年で転勤していくが、その間に何らかの神戸への思いを形に残していこうとしている。          ・女性に好かれるおとなの街をめざしている。          ・まちは5年くらいの周期で変化する。それを見据えてまちづくりを進める。</p>

[ヒアリング実施団体]

<p>団体名</p>	<p>旧居留地連絡協議会</p>
<p>団体の概要</p>	<p>&lt;設立趣旨&gt;          ・第2次大戦後設立された親睦団体「国際地区共助会」を母体に、都市景観形成地域指定を機に「旧居留地連絡協議会」と改称。          ・景観形成市民団体指定          &lt;会員等&gt; 会員は企業のみ、会費50,000円/年（一律）          &lt;構成人員&gt; 地区内の企業（約110社）          &lt;事務所&gt; あり（常駐の事務局員はいない）          &lt;活動回数&gt; 定例会議 防災委員会は毎月17日          環境、都心づくり、親睦、イベント、広報の各委員会は随時</p>



( 8 ) 売布神社駅前地区 ( 宝塚市 )

調 査 地 域 の 概 況

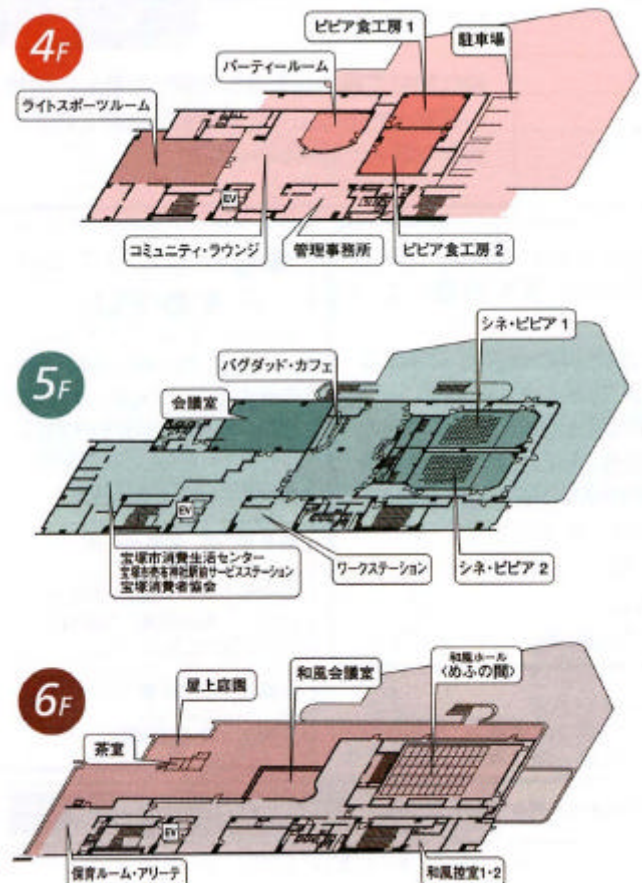
所 在 地	兵庫県宝塚市売布2丁目 ピピアめふ1 4F～6F
地 区 の 概 要	<p>阪急電鉄宝塚線売布神社駅前          &lt;施設の概要&gt; 売布神社駅前地区第2種市街地再開発事業 公益施設の管理運営</p> <p>&lt;宝塚市の人口&gt; 216,660人 (H14.9.1推計)          &lt;宝塚市の世帯数&gt; 82,844世帯 (H14.9.1推計)          &lt;土地利用状況&gt; 周辺は、郊外住宅地          &lt;都市計画等&gt; 売布神社駅前地区第二種市街地再開発事業 施行区域1.6ha          ピピアめふ1: 延床16,700㎡ 地下1階地上6階          ピピアめふ2: 延床10,900㎡ 地下1階地上11階</p>
震災前・震災後の状況	<p>&lt;震災前の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かつては、大変にぎわった市場だった。</li> <li>・震災前から再開発の検討はしていた。</li> <li>・市の人口: 206,680人、世帯数: 73,075世帯 (H6.12.1推計)</li> </ul> <p>&lt;震災直後の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した市場はほぼ全壊し、再開発事業を早期着工。</li> <li>・住宅・都市整備公団施行の再開発事業。宝塚市が公益施設 (右下図参照) を設置。</li> </ul> <p>&lt;現在の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成11年10月完成</li> <li>・公益施設は、災害時の避難所として機能するよう設計</li> <li>・映画館の座席もネジをはずせばリクライニングでき、災害時にも利用可能</li> <li>・災害時の資材の倉庫も設置</li> <li>・公益施設部門は、民営管理</li> </ul>



< 現状 ピピアめふ1 概観 >



< 現状 ピピアめふ シネ・ピピア2 >



まちのにぎわいづくりについて

<p>まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等</p>	<p>&lt; イベント &gt;          ・秋のフェスティバル（3周年記念、めふ乃寄席、お茶の講習会、その他各種展示会、講習会）の実施          ・毎月何らかのイベント実施          ・各種の文化教室がおこなわれている。          ・宝塚映画祭が10月末に行われる。（今年で3回目）          ・民間ボランティア団体（すみれ座）を仮設店舗（コミュニティ・ラボ・めふ）のときから育成          &lt; 増減傾向 &gt; 定常的          &lt; 実施体制 &gt;          ・公益施設の管理運営について、独立採算の公設民営を基本方針とした。          &lt; 担い手 &gt;          ・ピピアめふ催事実行委員会（管理会社+シネピピア+ボランティア+市）が運営。          ・ピピアめふ：(株)関西都市居住サービス（都市基盤整備公団の子会社）+シネ・ピピア          ・シネ・ピピア：2つの映画館を宝塚市が設置、(有)宝塚シネマが運営          シネ・ピピア1は東宝、シネ・ピピア2は、(有)宝塚シネマが作品選定          &lt; 連携 &gt;          ・公益施設部分は、関西都市居住サービス、シネ・ピピアの連携。          ・シネ・ピピアには、市民、行政からなる企画委員会が設置され、年2回程度、作品選定や運営について協議している。          ・関西都市居住サービスは、建物すべての管理も行っている。          &lt; 問題点 &gt;          ・採算性が重視される傾向にあり、市民にとっての必要性との葛藤がある。          ・今後の施設の老朽化に伴うメンテナンスが問題          ・イベント開催など1F～2Fの商業施設との連携が必要。</p>
<p>にぎわいづくりのための「場」等</p>	<p>&lt; 場の種類 &gt;          ・映画館（シネ・ピピア1, 2）、和風ホール、会議室、和風会議室、厨房（ピピア食工房1, 2）、パーティールーム、ライトスポーツルーム、茶室など          &lt; 利用希望施設 &gt;          ・特になし          &lt; モノ・ツール &gt;          ・機器はそろっている。</p>
<p>にぎわいづくりに必要な「活動資金」</p>	<p>&lt; 資金の用途 &gt;          ・公設民営で、独立採算制をめざしているが、現在は、宝塚市からの補助を受けている。</p>
<p>にぎわいづくりのための「システム」</p>	<p>&lt; 制度の利用状況 &gt;          ・特になし          &lt; 問題点 &gt;          ・特になし          &lt; 必要な支援策 &gt;          ・特になし</p>
<p>その他</p>	<p>・シネ・ピピアは、顧客獲得のため快適な座席と日本有数の音響設備をもつ。          ・pipiめる（イベント情報誌）を隔月で発行。</p>

[ヒアリング実施団体]

<p>団 体 名</p>	<p>シネ・ピピア &lt; (有)宝塚シネマ &gt;</p>
<p>団 体 の 概 要</p>	<p>&lt; 設立趣旨 &gt; 再開発事業への導入施設を検討する際、映画館を市が建設し、公設民営管理が最適との結果を受けて映画館の運営組織として設立。          &lt; 事務所 &gt; 専用事務所あり          &lt; スタッフ &gt; シネ・ピピアは、専任2名とパート数名</p>

( 9 ) J R 新長田駅南地区 ( 神戸市長田区 )

調 査 地 域 の 概 況

所 在 地	神戸市長田区中央幹線以南
地 区 の 概 要	<p>&lt;長田区の人口&gt; 104,707人(H14.6) &lt;世帯数&gt; 46,723世帯 &lt;面積&gt; 113.4ha</p> <p>&lt;土地利用状況&gt; 住商工の混在地域</p> <p>&lt;都市計画等&gt; J R 以南、新長田駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業 (21.1ha)</p> <p>[管理処分計画決定率(H15.1.1)]</p> <p>第一地区69%、第2地区64%、第2-B地区24%</p> <p>第2-C地区58%、第3地区39%、大橋4地区100%</p> <p>( J R 以北は、震災復興土地区画整理事業 )</p>
震災前・震災後の状況	<p>&lt;震災前の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市基盤が脆弱で6m以上の道路は、条里地割りに沿って、108m間隔で通っており、公園も少なく公共用地率が低かった。</li> <li>・108mグリッドの道路沿いに商店が立地し、内層街区は、幅1.8m~2.7mの私道のはりめぐらされ、戦前長屋を主体とした老朽住宅が密集していた(長屋住宅割合20%)。長屋は、当初はほとんど賃貸であったが、土地家屋の切り売りが進み、1棟の長屋で賃貸と持ち家が混在するなど権利関係が複雑していた。</li> <li>・J R 以北は、住宅と工場街区が混在していた。</li> <li>・J R 以南の108mグリッドの道路沿いは商店街を形成していたが、駐車場整備など車社会への対応が遅れていた。</li> <li>・人口は129,978人、世帯数は53,247世帯(H7.1)であった。</li> </ul> <p>&lt;震災直後の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災率は80%以上であった。</li> <li>・震災で大きな被害を受け、復興市街地再開発事業の実施を決定。</li> <li>・市場・商店街も大きな被害を受け、後継者不足から再建せず撤退した店舗も多い。</li> </ul> <p>&lt;現在の状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も再開発事業は継続中であるが、権利関係が複雑していることもあり、他の地区に比べて進捗が遅れている。</li> <li>・まちの復興感やビルの建設が進むにしたがって増してきている。</li> <li>・震災前に比べ商店街の通行量が4割減少している。</li> <li>・まちのにぎわいイベントは増加傾向にある。</li> <li>・商店街に修学旅行生の来訪が増加している。</li> <li>・“震災のまち”から“食のまち”へ、イメージチェンジをはかっている。</li> </ul>



< 現状 アスタくにづか 1 番館 >



< 現状 ほっかけの プレート >



< 現状 西神戸センター街ゲート >

まちのにぎわいづくりについて

まちのにぎわいづくりのための行事やイベント等	<p>&lt; イベント &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1ヶ月に1回くらいイベントを実施、商店街組織が集まって開催するイベントをコーディネートしている。</li> <li>・ 商店街間を客が回遊するようにしたい。</li> <li>・ 六間道では毎月フリーマーケットを商店街の道の中央で実施。(売るものが違うので競合しない)</li> <li>・ イベントの参加人員は、1回当たり1万人程度。</li> </ul> <p>&lt; 増減傾向 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 増加傾向にある。</li> </ul> <p>&lt; 実施体制 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ほとんどスタッフがいない。</li> </ul> <p>&lt; 担い手 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街の人が担っているが若い人がだんだんと増えてきている。</li> <li>・ イベントの企画や運営を担い手づくりのきっかけとしていく。</li> <li>・ 区役所、商工会議所の参加。</li> <li>・ 現在は、雇用促進事業でスタッフ2人確保(毎日ではない)</li> </ul> <p>&lt; 連携 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大学のゼミやNPOとも連携を強めていきたい。</li> </ul> <p>&lt; 問題点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任スタッフの不足、継続性のある収益事業の確立。</li> </ul>
にぎわいづくりのための「場」等	<p>&lt; 場の種類 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街で実施</li> </ul> <p>&lt; 利用希望施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今まであった200人収容の多目的ホールが是非とも必要である。(修学旅行の受け入れ、集会などのため)</li> </ul>
にぎわいづくりに必要な「活動資金」	<p>&lt; 資金の用途 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント経費やソフト事業における推進経費</li> </ul>
にぎわいづくりのための「システム」	<p>&lt; 制度の利用状況 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政の助成制度は、ほとんどが制限が多くて使いにくい。</li> </ul> <p>&lt; 問題点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使える制度が少ない。</li> <li>・ 助成事業を始めるに当たり、着手金が必要になる。</li> <li>・ 申請の手続きや書類が非常に煩雑で、商業者には処理しにくい。</li> </ul> <p>&lt; 必要な支援策 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別事業への助成よりも活動全般への助成が必要(専任職員の人件費等)</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学旅行を商店街で受け入れるのは、収益を上げるため。半日コースではだめで、ここで昼食を食べていってもらうため、商人体験などのメニューを用意している。ただ、受け入れ側の負担を考えると、受け入れには限度がある。</li> <li>・ TMOの講義や研究会より、TMO同士の情報交換の場が必要。</li> <li>・ 将来は、収益事業で一人立ちできるようにしたい。</li> <li>・ 成功しているのは、だいたい自前のイベントである。</li> <li>・ カレーやショップモビリティ(電動スクーター貸し出し)など、企業とも連携して事業を行っているが、商店街と企業の双方にメリットがあって初めてうまくいくと思う。</li> </ul>

[ヒアリング実施団体]

団 体 名	株式会社 神戸ながたティ・エム・オー
団 体 の 概 要	<p>&lt; 設立趣旨 &gt; 中心市街地活性化法に基づき、新長田周辺地域の活性化、地域の商業振興を目的に設立</p> <p>&lt; 構成人員 &gt; 役員・顧問9名、スタッフ</p> <p>&lt; 事務所 &gt; 神戸市長田区腕塚町5丁目5-1-206(アスタくにづか1番館2F)</p>



<参考> 特定非営利活動法人 シンフォニー（尼崎市）

[ヒアリング実施団体]

団 体 名	特定非営利活動法人 シンフォニー
事務所所在地	尼崎市北城内88-4-2-106
団 体 の 概 要	<p>&lt;設立趣旨&gt; 震災後のボランティア活動団体を基盤にNPO法人として設立</p> <p>&lt;構成人員&gt; 専任職員：6名、アルバイト：2名、会員：54名、賛助会員、ボランティア：約30名、講師登録：19名、専門アドバイザー登録：15名</p> <p>&lt;事務所&gt; 専用事務所あり</p>

主 な 活 動 状 況

活 動 地 区	<p>&lt;活動対象地区&gt; 尼崎市、西宮市、宝塚市、伊丹市、川西市</p> <p>&lt;人口&gt; 約148万人（H.14.9.1推計）&lt;世帯数&gt; 約59万世帯（H.14.9.1推計）</p> <p>&lt;面積&gt; 約329km<sup>2</sup>（人口、世帯数、面積は、上記5市の合計）</p>
主 な 活 動 状 況	<p>&lt;震災直後の活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災直後に尼崎市内の仮設住宅でのコミュニティづくりなどの震災ボランティアとして発足。</li> <li>・仮設住宅から災害復興住宅への引っ越しボランティアも終わり撤退しようとしていた時期に、NPO法が施行され、種々検討の結果、法人格を取得し、NPO法人となった。</li> </ul> <p>&lt;現在の活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンフォニー（本体・事務局）は、まちづくり、環境保全、社会教育、NPOおよびボランティアの支援、GIS（地理情報システム）によるまちづくり支援などの事業を行っている。</li> <li>・市民ITサポートセンター（自主運営）では、地域ITリーダー育成・活用事業を実施している。そのほかコミュニティビジネス研究会などに取り組んでいる。</li> <li>・デジタルクリエイティブ工房（兵庫県・尼崎市産業振興協会設置、NPO法人シンフォニー運営、尼崎リサーチ・インキュベーションセンター内に、DTP、マルチメディア、ネットワーク技術の開発などに関する最新機器を設置したマルチメディア関連産業で新しいビジネスチャンスを求める個人や企業の共同利用施設）</li> <li>・SOHOサポートセンター尼崎（県、中小企業振興公社が設置し、NPO法人シンフォニーが運営、講座・セミナーの開催、経営相談、地域資源とのマッチング、情報提供を行う。）</li> <li>・生きがいしごとサポートセンター阪神サテライト（宝塚NPOセンターとの協働、コミュニティビジネスなど仕事相談など）</li> <li>・専任職員5名には、SOHOサポートセンター尼崎等の職員を除く。</li> </ul>

<活動事例>



<まちづくり講座 1>



<まちづくり講座 2>



<環境保全講座 1>



<環境保全講座 2>



<ITマネー実験イベント>



<コミュニティビジネス講座>

## にぎわいづくりの活動について

<p>にぎわいづくりのための行事やイベント等</p>	<p>&lt; イベント &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコマネー実験イベント（2001.8.31）開催</li> <li>・歴史文化交流事業（+ワインパーティ）（1999～2001）開催</li> <li>・GIS まちづくりマップ制作講座開催 （集めた地理情報を共有し、新たな視点からの地図制作による地域分析を可能にする市民によるマップづくり講座）</li> <li>・県民局の委託で「阪神ふれあい芸術文化祭」を実施した。</li> <li>・他の団体のサポートで各種イベントを実施している。</li> <li>・GISによるまちづくりとして、12月に立ち上げた実験サーバを活用し、「まちの再発見」事業を行う。（カメラ付き携帯で歴史、ごみ、危険箇所など分野別に情報をサーバに送ってもらいGISで整理する。）</li> </ul> <p>&lt; 増減傾向 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加の方向にある。</li> </ul> <p>&lt; 実施体制 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤1～3名＋興味のある会員（ボランティア）でプロジェクトを組む。</li> </ul> <p>&lt; 担い手 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに興味を持つ会員（ボランティア）</li> <li>・IT技術など専門分野の知識・経験を有する公務員（会員ではない人も含む）の個人的技術援助が大きい。</li> </ul> <p>&lt; 連携 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のNPOとジョイントを組んでイベント等を実施している。</li> <li>・周辺の高校と「単位取得のためのボランティア活動システム」づくりで協働している。</li> <li>・老人会、婦人会と連携し、高齢者むけパソコン教室を実施している。</li> <li>・デジタルクリエイティブ工房、SOHOサポートセンターを拠点に、「テクノサポートシステムを支える技術支援協力機関」として商工会議所等経済団体との連携による地域活性化事業に取り組んでいる。</li> <li>・尼崎市の職員研修に協力している。</li> <li>・尼崎市のテレトピア5カ年計画（電子自治体作り）に推進法人として参加している。</li> </ul> <p>&lt; 問題点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト型の事業が多いため、行政、企業との協働を継続しにくい。</li> <li>・イベントに継続性がないため組織として経験、ノウハウが蓄積されにくい。</li> <li>・NPOに対する地域の理解がまだ少ない。</li> </ul>
<p>にぎわいづくりのための「場」等</p>	<p>&lt; 場の種類 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントごとに適切な会場を借り上げる。</li> </ul> <p>&lt; 利用希望施設 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神尼崎駅前の中央公園の年間利用契約（地域の商店街と連携して、土日専用の「ふれあいマーケット」を開催するため）</li> <li>・廃校など空きになっている地域施設の利用（各種プロジェクトでの活用）</li> </ul> <p>&lt; モノ・ツール &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトごとに必要なツールを借り上げ。</li> <li>・パソコン、簡易印刷機、プロジェクター、ビデオ機器、ファクシミリ、コピー機等を保有している。</li> </ul>
<p>にぎわいづくりに必要な「活動資金」</p>	<p>&lt; 資金の用途 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトごとに資金作りを行っているが、事業数が多い割りに規模が小さいため、資金繰りに苦労している。</li> </ul>
<p>にぎわいづくりのための「システム」</p>	<p>&lt; 問題点 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用されていない地域資源（例えば空き部屋、未利用の建物）がかなりあるが、制約が多すぎて有効利用できない。</li> <li>・NPOのまちづくりについての支援が少ない。（NPOが実施した方がロスが少なく、効果が高いと思われる分野に手を出しすぎている）</li> <li>・申請書類づくりなど他のNPOの支援が増加傾向にあるが、尼崎ではサポート事業に対する支援がない。（無償で行っているが量の増加に伴い限界を感じている。）</li> </ul> <p>&lt; 必要な支援策 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源（行政所有の空き部屋等）の有効活用調査とNPOへの提供</li> <li>・GISやデータベースづくり事業などの事業委託</li> <li>・NPO・ボランティアサポート事業に対する支援</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機関誌：SYMPHONY（隔月）を発行している。</li> <li>・HP、メールマガジンで情報発信している。</li> <li>・阪神NPO連絡協議会（阪神地域のNPO法人のネットワーク）を組織している。</li> <li>・今後は、GIS（地理情報システム）の活用によるまちづくり（上記、「まちの再発見」事業参照）に取り組む。</li> <li>・NPOの組織・事業に対する評価システムを作成中。</li> <li>・中高大学生むけに「地域ボランティア情報」の提供事業を準備中。</li> <li>・尼崎市からの大きな受託事業は、平成14年度はない。（平成13年度は「インターネット技能講習」を受託）</li> </ul>



## 4 . 課題と取り組み方策



#### 4. 課題と取り組み方策

アンケート調査結果やケーススタディ調査結果を踏まえ、今後のまちのにぎわいづくりやまちづくりの課題と取り組み方策について、以下のとおりまとめた。

##### 1) まちづくり協議会等の取り組みへの支援の充実

震災後の復興まちづくりの中心的な担い手としての役割を果たしてきたまちづくり協議会については、土地区画整理事業等の終了などに伴い、今後のまちづくり組織の方向性に変化が現れつつある。

アンケート調査によると、土地区画整理事業等の終了後においても、6割が何らかの形で組織を存続する方向を示している。また、ケーススタディ調査によると、まちの管理・運営組織やにぎわいづくりの核としての組織、公園・集会所等の管理・運営組織への移行など、具体的な方向性を検討している団体も出てきている。こうした状況からみると、まちづくり協議会等は、今後ともコミュニティづくりの核として、まちづくり活動やにぎわいづくりなどを展開していくことが期待される。

このようなことから、今後のまちづくり協議会等の動向等を注意深く把握するとともに、これまでの復興施策としての支援の成果等も検証しながら、まちづくり活動の初動期への支援や団体の活動全般に対する包括的な支援の検討など、まちづくり協議会等が今後の成熟社会におけるまちづくりを担っていけるよう取り組みへの支援の充実を図っていく必要がある。

##### 2) まちのにぎわいづくりのための組織の連携強化・ネットワークづくり

まちのにぎわいを創り出すという取り組みは、ひとつの団体やグループで行うよりも、連携やネットワークにより広域的に行う方が効果的である。

アンケート調査によると、にぎわいづくりのイベントを他の組織と連携して実施した団体も多くあり、また、他の地区の団体やNPOなどとの情報交換や交流の必要性をあげている団体も多い。

このようなことから、団体間の知識・経験の情報交換・共有などを図るため、まちづくり協議会、まちづくり支援NPOと関連機関との協議会組織の設立などにより連携の強化やネットワーク形成を行っていく必要がある。

##### 3) まちづくり・にぎわいづくりに若い世代の参画を促すようなしくみづくり

まちづくりやにぎわいづくりは、子どもから若者、中高年、お年寄りなど幅広い世代の参画によってなされることが望まれる。

アンケート調査によると、特にまちづくり協議会等では、50歳から70歳の中高年世代が活動の担い手の中心になっており、担い手の高齢化・特定化が課題となっている。また、ケーススタディ調査でも、担い手の高齢化や若い世代の後継者が育っていない現状が明らかになっている。

このようなことから、まちづくり協議会等と比較的若い世代の担い手が運営しているNPOなどとの連携を図っていくとともに、若い人が魅力を感じるようなまちづくりやにぎわいづくりの取り組みへの充実した支援策や表彰制度の創設、公開審査によ

る支援事業の採択など、若い人のやる気を喚起させるような事業プランや実績に応じた弾力的な助成制度などを検討していく必要がある。

#### 4) 子どもに着目したまちのにぎわいづくり

アンケート調査によると、子どもがまちで遊んでいることが、まちのにぎわいのイメージを構成する大きな要素となっており、また、トライやるウィークなどの世代を超えた交流の取り組みを評価する意見がある。

このようなことから、まちのにぎわいづくりを検討するにあたって、「子ども」に着目することは、一つの有効な手法として考えられるため、子どもの遊び場づくりや子育て支援事業、ピオトープづくりやプレーパークなどの体験活動、商店街の空き店舗等を活用した子どもとお年寄りの交流の場づくりなど、子どもの活気をまちのにぎわいにつなげていくような取り組みを支援していく必要がある。

#### 5) 復興施策から一般施策につないでいく取り組み

震災を契機に、被災地に広がってきたまちづくり協議会等による住民主体のまちづくりや、団体・NPO等によるボランティア活動の展開、地域における自主防災組織づくりなど、被災地においては、21世紀の成熟社会を先導する先駆的な取り組みや新しいしくみづくりの動きが展開されてきた。また、そのような取り組みに対して、阪神・淡路大震災復興基金などを活用して、きめ細かな支援を行ってきている。

このような復興施策としての取り組みについては、これまでの取り組みの成果等を検証しながら、今後の成熟社会を支えていくしくみとして、復興計画終了後も一般施策につないでいく取り組みを進める必要がある。

## 5 . 資 料

( 1 ) 単純集計表

( 2 ) アンケート調査票

5.資料

(1)単純集計表

単純集計表1(まちづくり協議会等、NPO別集計)

1.組織の概要や基本的な活動内容について

問1 団体の構成人員について

	問1(数)			
	1 役員	2 常勤 スタッ フ	3 その 他	合計

問1	1 役 員	2 常 勤ス タッフ	3 其 他	合計	回答 者
1団体当 たり(人)	14	3	23	40	97
中央値	12	3	20	21	

計	1392	261	2231	3874
%	35.9%	6.7%	57.6%	100.0%
まち協等	1057	157	694	1908
%	55.4%	8.2%	36.4%	100.0%
NPO	335	104	1537	1976
%	17.0%	5.3%	77.8%	100.0%

無印：単一回答 (M)：複数回答 (数)：数値回答

問2 団体の事務所について(ひとつ)

	問2					
	1 専用 専用	2 借り 上げ	3 自宅 など	4 公共 施設	5 その 他	計

計	12	15	54	9	9	99
%	12.1%	15.2%	54.5%	9.1%	9.1%	100.0%
まち協等	9	2	36	7	8	62
%	14.5%	3.2%	58.1%	11.3%	12.9%	100.0%
NPO	3	13	18	2	1	37
%	8.1%	35.1%	48.6%	5.4%	2.7%	100.0%

問3 団体の活動対象地域について(ひとつ)

	問3															
							3-①(数)				3-②					
							人口	世帯数	面積 (ha)	回答 者数	1 住宅 地	2 商業 地	3 住 商混 在	4 住 商混 在	5 その 他	計

計	11	15	64	6	3	99	189753	85746	1532.9	61	15	2	31	14	1	63
%	11.1%	15.2%	64.6%	6.1%	3.0%	100.0%					23.8%	3.2%	49.2%	22.2%	1.6%	100.0%
まち協等	0	2	60	0	0	62	166753	73746	1482.9	59	15	2	28	14	1	60
%	0.0%	3.2%	96.8%	0.0%	0.0%	100.0%					25.0%	3.3%	46.7%	23.3%	1.7%	100.0%
NPO	11	13	4	6	3	37	23000	12000	50	2	0	0	3	0	0	3
%	29.7%	35.1%	10.8%	16.2%	8.1%	100.0%					0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

	人口	世帯数	面積 (ha)
計	189753	85746	1533
1団体当たり	3953	1429	26
まち協等	166753	73746	1483
まち協等 1団体当たり	3625	1271	26
NPO	23000	12000	50
NPO 1団体当たり	11500	6000	25
中央値	2000	700	15.15

	人口	世帯数	面積 (ha)	問3 -① 計
計	48	60	60	61
まち協等	46	58	58	59
NPO	2	2	2	2

問4 活動の主な目的・分野について(ひとつ)

	問4																						
	4-①組織の存続について(限定)					4-②NPOの活動分野(限定)													4-③(限定)				
	1 区画 整理	2 再開 発	3 その 他	4 NP O	計	1 解散	2 存続	3 移行	4 未定	5 その 他	計	1 まち づくり	2 福祉	3 保 険・ 医療	4 自 然・ 環境	5 しご とづ くり	6 文 化・ 芸術	7 教 育・ ホッ プ	8 被災 者支 援	9 その 他	計	1 中間 支援	2 中間 支援 では ない
計	24	6	32	37	99	8	17	16	9	5	55	22	16	3	13	7	8	8	14	9	100	6	31
%	24.2%	6.1%	32.3%	37.4%	100.0%	14.5%	30.9%	29.1%	16.4%	9.1%	100.0%	22.0%	16.0%	3.0%	13.0%	7.0%	8.0%	8.0%	14.0%	9.0%	100.0%		
まち協等	24	6	32	0	62	8	17	16	9	5	55												
%	38.7%	9.7%	51.6%	0.0%	100.0%	14.5%	30.9%	29.1%	16.4%	9.1%	100.0%												
NPO	0	0	0	37	37							22	16	3	13	7	8	8	14	9		6	31
%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%							59.5%	43.2%	8.1%	35.1%	18.9%	21.6%	21.6%	37.8%	24.3%		16.2%	83.8%

※%の母数は、NPO数

問5 平成13年度の定例的な活動回数について(ひとつ)

	問5									
	1 100 回以 上	2 50回 以上	3 25回 以上	4 10回 以上	5 10回 未満	6 必要 時	無回 答	計	13年 度	
計	7	7	29	33	6	16	1	99	134	
%	7.1%	7.1%	29.3%	33.3%	6.1%	16.2%	1.0%	100.0%		
まち協等	2	4	19	24	4	9	0	62	36	
%	3.2%	6.5%	30.6%	38.7%	6.5%	14.5%	0.0%	100.0%		
NPO	5	3	10	9	2	7	1	37	98	
%	13.5%	8.1%	27.0%	24.3%	5.4%	18.9%	2.7%	100.0%		

2. 活動しているまちの復興状況について

問6 活動地域のハード面の復興状況(ひとつ)

	問6						
	1 50% 以下	2 50~ 80%	3 80% 以上	4 100 %	5 100 %以上	無回 答	計
計	7	14	59	10	5	4	99
%	7.1%	14.1%	59.6%	10.1%	5.1%	4.0%	100.0%
まち協等	4	11	34	8	3	2	62
%	6.5%	17.7%	54.8%	12.9%	4.8%	3.2%	100.0%
NPO	3	3	25	2	2	2	37
%	8.1%	8.1%	67.6%	5.4%	5.4%	5.4%	100.0%

問7 活動地域の商店街・市場が震災前に戻ったか(ひとつ)

	問7(問3:2,3,4限定)				
	1 戻っ た	2 戻っ てい ない	3前 より にぎ やか	4ど ちら とも いえ ない	計
計	6	27	3	10	46
%	13.0%	58.7%	6.5%	21.7%	100.0%
まち協等	6	26	3	8	43
%	14.0%	60.5%	7.0%	18.6%	100.0%
NPO	0	1	0	2	3
%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	100.0%

問8 活動地域の住宅地区で震災前の状況に戻ったか(ひとつ)

	問8(問3:1,2,3限定)				
	1 戻っ た	2 戻っ てい ない	3前 より にぎ やか	4ど ちら とも いえ ない	計
計	24	18	9	7	58
%	41.4%	31.0%	15.5%	12.1%	100.0%
まち協等	22	17	9	6	54
%	40.7%	31.5%	16.7%	11.1%	100.0%
NPO	2	1	0	1	4
%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	100.0%

### 3. まちのにぎわいのイメージについて

#### 問9 「まちのにぎわい」のイメージについて ( 3つ )

	問9(M:3)																	回答者	無回答
	1 集客 イベント	2 買い物	3 伝統 行事	4 集客 施設	5 商業 施設	6 公園・ 広場	7 歴史 的建 造物	8 文化 財等	9 家族 連れ	10 学 生・ 若者	11 カッ プル	12 子ど も・ 遊び	13 お年 寄り・ 憩い	14 芸 術・ 文化	15 ス ポー ツ	16 花・ 緑	17 その 他		
計	31	45	36	15	43	17	3	2	29	6	1	29	13	7	1	12	1	97	2
%	32.0%	46.4%	37.1%	15.5%	44.3%	17.5%	3.1%	2.1%	29.9%	6.2%	1.0%	29.9%	13.4%	7.2%	1.0%	12.4%	1.0%		
まち協等	18	28	22	10	26	13	1	1	14	3	0	22	10	4	1	7	0	60	2
%	30.0%	46.7%	36.7%	16.7%	43.3%	21.7%	1.7%	1.7%	23.3%	5.0%	0.0%	36.7%	16.7%	6.7%	1.7%	11.7%	0.0%		
NPO	13	17	14	5	17	4	2	1	15	3	1	7	3	3	0	5	1	37	0
%	35.1%	45.9%	37.8%	13.5%	45.9%	10.8%	5.4%	2.7%	40.5%	8.1%	2.7%	18.9%	8.1%	8.1%	0.0%	13.5%	2.7%		

※%の母数は、回答者数

#### 問10 「商業地のにぎわい」を感じるのは ( 2つ )

	問10(M:2)						回答者	無回答
	1 人通 りが多い	2 客が 多い	3 空き 店舗 等が 少ない	4 新し く明 るい	5 イベ ント が多い	6 その 他		
計	72	38	40	10	19	4	92	7
%	78.3%	41.3%	43.5%	10.9%	20.7%	4.3%		
まち協等	42	20	29	7	13	1	56	6
%	75.0%	35.7%	51.8%	12.5%	23.2%	1.8%		
NPO	30	18	11	3	6	3	36	1
%	83.3%	50.0%	30.6%	8.3%	16.7%	8.3%		

※%の母数は、回答者数

#### 問11 「住宅地のにぎわい」を感じるのは ( 2つ )

	問11(M:2)								回答者	無回答	計
	1 事業 が進 んで いる	2 家が たく さん	3 空き 地が 少な い	4 公園 等の 利用 者が 多い	5 遊ん でい る子 供が 多い	6 行事 等が 多い	7 地域 活動 が活 発	8 その 他			
計	24	15	14	33	40	23	35	2	95	4	99
%	25.3%	15.8%	14.7%	34.7%	42.1%	24.2%	36.8%	2.1%			
まち協等	19	12	10	24	21	10	25	0	61	1	62
%	31.1%	19.7%	16.4%	39.3%	34.4%	16.4%	41.0%	0.0%			
NPO	5	3	4	9	19	13	10	2	34	3	37
%	14.7%	8.8%	11.8%	26.5%	55.9%	38.2%	29.4%	5.9%			

※%の母数は、回答者数

4. まちのにぎわいづくりのための行事やイベントの内容等について

問12 行事イベントの回数、参加人員(平成13年度)について

	問12(回数・年M)										問12(参加人員M)																	
	1 コン サート 等	2 セミ ナー 等	3 大 売 り 出 し 等	4 伝 統 的 行 事	5 フ リ ー マ ー ケ ッ ト 等	6 飾 花 ・ 緑 化 等	7 ク リ ン 作 戦 等	8 ま ち 歩 き	9+10+ 11 そ の 他 (夏 祭 り 等)	9	10	11	無 回 答	計	1 コン サート 等	2 セミ ナー 等	3 大 売 り 出 し 等	4 伝 統 的 行 事	5 フ リ ー マ ー ケ ッ ト 等	6 飾 花 ・ 緑 化 等	7 ク リ ン 作 戦 等	8 ま ち 歩 き	9+10+11 そ の 他 (夏 祭 り 等)	9	10	11	無 回 答	計
計	18	215	12	31	43	180	263	23	244	129	101	14	10	1029	21740	10355	91570	108395	11316	3790	24192	3787	162405	150535	9150	2720	21	437550
%	1.7%	20.9%	1.2%	3.0%	4.2%	17.5%	25.6%	2.2%	23.7%				100.0%	5.0%	2.4%	20.9%	24.8%	2.6%	0.9%	5.5%	0.9%	37.1%						100.0%
まち協等	7	69	5	25	24	118	219	13	83	36	33	14	7	563	17600	1910	90400	107920	9580	2830	22764	665	101805	93735	5350	2720	15	355474
%	1.2%	12.3%	0.9%	4.4%	4.3%	21.0%	38.9%	2.3%	14.7%				100.0%	5.0%	0.5%	25.4%	30.4%	2.7%	0.8%	6.4%	0.2%	28.6%						100.0%
NPO	11	146	7	6	19	62	44	10	161	93	68	0	3	466	4140	8445	1170	475	1736	960	1428	3122	60600	56800	3800	0	6	82076
%	2.4%	31.3%	1.5%	1.3%	4.1%	13.3%	9.4%	2.1%	34.5%				100.0%	5.0%	10.3%	1.4%	0.6%	2.1%	1.2%	1.7%	3.8%	73.8%						100.0%

	1 コン サート 等	2 セミ ナー 等	3 大 売 り 出 し 等	4 伝 統 的 行 事	5 フ リ ー マ ー ケ ッ ト 等	6 飾 花 ・ 緑 化 等	7 ク リ ン 作 戦 等	8 ま ち 歩 き	9+10+ 11 そ の 他	9	10	11	無 回 答	計	1 コン サート 等	2 セミ ナー 等	3 大 売 り 出 し 等	4 伝 統 的 行 事	5 フ リ ー マ ー ケ ッ ト 等	6 飾 花 ・ 緑 化 等	7 ク リ ン 作 戦 等	8 ま ち 歩 き	9+10+11 そ の 他	9	10	11	無 回 答	計
計	18	215	12	31	43	180	263	23	244	129	101	14	10	1029	21740	10355	91570	108395	11316	3790	24192	3787	162405	150535	9150	2720	21	437550
1団体当たり	2	5	2	1	3	7	8	2	6	3	0	3		234		273	18314	6775	870	180	834	316	5414	5191	654	907		
まち協等	7	69	5	25	24	118	219	13	83	36	33	14	7	563	17600	1910	90400	107920	9580	2830	22764	665	101805	93735	5350	2720	15	355474
まち協等1団体当たり	2	0	6	1	13	12	1	8	2					298		96	45200	8302	1064	189	949	67	5989					4740
NPO	11	146	7	6	19	62	44	10	161	93	68	0	3	466	4140	8445	1170	475	1736	960	1428	3122	60600				6	82076
NPO1団体当たり	24	0	2	5	16	6	2	54	6					122		469	390	158	434	160	286	1561	4662					41038
中央値	2	2	1	2	3	3	1	1	1	1	1	1			450	100	400	500	300	100	120	55	467.5				1	

項目別回答者数	1 コン サート 等	2 セミ ナー 等	3 大 売 り 出 し 等	4 伝 統 的 行 事	5 フ リ ー マ ー ケ ッ ト 等	6 飾 花 ・ 緑 化 等	7 ク リ ン 作 戦 等	8 ま ち 歩 き	9+10+ 11 そ の 他	9	10	11	無 回 答	計	1 コン サート 等	2 セミ ナー 等	3 大 売 り 出 し 等	4 伝 統 的 行 事	5 フ リ ー マ ー ケ ッ ト 等	6 飾 花 ・ 緑 化 等	7 ク リ ン 作 戦 等	8 ま ち 歩 き	9+10+11 そ の 他	9	10	11	無 回 答	計
回答者	10	44	7	22	13	26	31	13	40	40	40	3	10	93	10	38	5	16	13	21	29	12	30	29	14	3	21	77
まち協等	4	27	4	18	9	19	25	10	24	24			7	59	4	20	2	13	9	15	24	10	17				19	75
NPO	6	17	3	4	4	7	6	3	16	16			3	34	6	18	3	3	4	6	5	2	13				2	2

問13 行事、イベントの増加傾向(ひとつ)

問13					
	1 増 加 傾 向	2 減 少 傾 向	3 変 化 な し	無 回 答	計
計	35	11	38	15	99
%	35.4%	11.1%	38.4%	15.2%	100.0%
まち協等	19	5	28	10	62
%	30.6%	8.1%	45.2%	16.1%	100.0%
NPO	16	6	10	5	37
%	43.2%	16.2%	27.0%	13.5%	100.0%



問14 - 行事・イベントの実施体制

	問14					
	①					
	1単 独で 実施	2連 合組 織で 実施	3他 団体 と連 携	4そ の他	無回 答	計
計	32	14	30	8	15	99
%	32.3%	14.1%	30.3%	8.1%	15.2%	100.0%
まち協等	19	12	13	5	13	62
%	30.6%	19.4%	21.0%	8.1%	21.0%	100.0%
NPO	13	2	17	3	2	37
%	35.1%	5.4%	45.9%	8.1%	5.4%	100.0%

問14 - 男女別・年齢別の担い手について 担い手の人材について

	問14																													
	② (30歳未満・男)					② (30歳未満・女)					② (30-50・男)					② (30-50・女)					② (50-70・男)					② (50-70・女)				
	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	30- 男	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	30- 女	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	30- 男	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	30- 女	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	50- 男	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	50- 女
計	95	210	50	53	408	94	151	56	54	355	302	194	55	9	560	262	214	51	12	539	550	422	92	40	1104	449	387	37	5	878
%	23.3%	51.5%	12.3%	13.0%	100.0%	26.5%	42.5%	15.8%	15.2%	100.0%	53.9%	34.6%	9.8%	1.6%	100.0%	48.6%	39.7%	9.5%	2.2%	100.0%	49.8%	38.2%	8.3%	3.6%	100.0%	51.1%	44.1%	4.2%	0.6%	100.0%
まち協等	41	10	45	0	96	43	66	53	0	162	219	118	40	7	384	188	153	40	2	383	424	191	37	40	692	346	265	10	5	626
%	42.7%	10.4%	46.9%	0.0%	100.0%	26.5%	40.7%	32.7%	0.0%	100.0%	57.0%	30.7%	10.4%	1.8%	100.0%	49.1%	39.9%	10.4%	0.5%	100.0%	61.3%	27.6%	5.3%	5.8%	100.0%	55.3%	42.3%	1.6%	0.8%	100.0%
NPO	54	200	5	53	312	51	85	3	54	193	83	76	15	2	176	74	61	11	10	156	126	231	55	0	412	103	122	27	0	252
%	17.3%	64.1%	1.6%	17.0%	100.0%	26.4%	44.0%	1.6%	28.0%	100.0%	47.2%	43.2%	8.5%	1.1%	100.0%	47.4%	39.1%	7.1%	6.4%	100.0%	30.6%	56.1%	13.3%	0.0%	100.0%	40.9%	48.4%	10.7%	0.0%	100.0%

	問14																						
	② (70-・男)					② (70-・女)					② (合計)					③ (M)							
	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	70- 男	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	70- 女	役員 ラン ティア ア	地域 内ボ ラン ラン ティア ア	地域 外ボ ラン ラン ティア ア	その他	計	無回 答	1専 門家	2学 生	3専 業主 婦	4お 年寄 り	5そ の他	無回 答	計
計	146	76	0	3	225	107	59	0	2	168	2232	2013	1041	240	5526	22	42	22	45	32	34	17	192
%	64.9%	33.8%	0.0%	1.3%	100.0%	63.7%	35.1%	0.0%	1.2%	100.0%	40.4%	36.4%	18.8%	4.3%	100.0%		51.2%	26.8%	54.9%	39.0%	41.5%		
まち協等	127	73	0	3	203	88	58	0	2	148	1703	1234	925	101	3963	17	22	7	24	20	25	13	111
%	62.6%	36.0%	0.0%	1.5%	100.0%	59.5%	39.2%	0.0%	1.4%	100.0%	43.0%	31.1%	23.3%	2.5%	100.0%		44.9%	14.3%	49.0%	40.8%	51.0%		
NPO	19	3	0	0	22	19	1	0	0	20	529	779	116	139	1563	5	20	15	21	12	9	4	81
%	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%	100.0%	95.0%	5.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.8%	49.8%	7.4%	8.9%	100.0%		60.6%	45.5%	63.6%	36.4%	27.3%		

※%の母数は、回答者数

問14 - 担い手相互の連携について(ひとつ)

問14							
④担い手相互の連携							
	1 うまく いつ ている	2 どちら らか とい えば うまく いつ	3 どちら らと もい えな い	4 どちら らか とい えば うまく いつ	5 うまく いつ てい ない	無回 答	計
計	43	28	4	6	2	16	99
%	43.4%	28.3%	4.0%	6.1%	2.0%	16.2%	100.0%
まち協等	22	24	2	2	1	11	62
%	35.5%	38.7%	3.2%	3.2%	1.6%	17.7%	100.0%
NPO	21	4	2	4	1	5	37
%	56.8%	10.8%	5.4%	10.8%	2.7%	13.5%	100.0%

問15 担い手の問題点について(いくつでも)

問15(M)								
	1 専門 的ス タッフ が不 足	2 人手 が不 足	3 志気 の向 上	4 担い 手の 高齢 化	5 担い 手の 特定 化	その 他	無回 答	計
計	13	29	15	34	43	6	21	161
%	16.7%	37.2%	19.2%	43.6%	55.1%	7.7%		
まち協等	9	15	8	25	28	5	13	103
%	18.4%	30.6%	16.3%	51.0%	57.1%	10.2%		
NPO	4	14	7	9	15	1	8	58
%	13.8%	48.3%	24.1%	31.0%	51.7%	3.4%		

※%の母数は、回答者数

問16 イベント、行事の「場」について(いくつでも)

問16																						
会場(M)											準備(M)											
	1 団 体専 用事 務室	2 会 議 室・ 集 会 所	3 公 園・ 広 場	4 学 校・ 校 庭	5 空 き 地	6 道 路	7 商 店 街・ 市 場	8 そ の 他 公 共 施 設	9 そ の 他	無回 答	回 答 者	1 団 体 専 用 事 務 室	2 会 議 室・ 集 会 所	3 公 園・ 広 場	4 学 校・ 校 庭	5 空 き 地	6 道 路	7 商 店 街・ 市 場	8 そ の 他 公 共 施 設	9 そ の 他	無回 答	回 答 者
計	3	28	34	22	10	13	17	14	5	19	80	18	54	6	4	0	0	2	8	2	21	78
%	3.8%	35.0%	42.5%	27.5%	12.5%	16.3%	21.3%	17.5%	6.3%			23.1%	69.2%	7.7%	5.1%	0.0%	0.0%	2.6%	10.3%	2.6%		
まち協等	1	18	22	17	6	8	10	4	2	15	47	7	39	5	4	0	0	2	3	1	11	51
%	1.6%	29.0%	35.5%	27.4%	9.7%	12.9%	16.1%	6.5%	3.2%			13.7%	76.5%	9.8%	7.8%	0.0%	0.0%	3.9%	5.9%	2.0%		
NPO	2	10	12	5	4	5	7	10	3	4	33	11	15	1	0	0	0	0	5	1	10	27
%	5.4%	27.0%	32.4%	13.5%	10.8%	13.5%	18.9%	27.0%	8.1%			40.7%	55.6%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	18.5%	3.7%			

※母数は、回答者数

※母数は、回答者数

問16 「場」施設の満足度

	計				まち協等				NPO			
	十分	普通	不十分	計	十分	普通	不十分	計	十分	普通	不十分	計
1. 団体専用事務室	10	6	3	19	4	2	0	6	6	4	3	13
2. 会議室・集会所	21	27	3	51	17	18	0	35	4	9	3	16
3. 公園・広場	13	12	4	29	10	9	1	20	3	3	3	9
4. 学校・校庭	12	9	0	21	12	6	0	18	0	3	0	3
5. 空き地	2	4	1	7	1	3	1	5	1	1	0	2
6. 道路	3	4	3	10	1	3	2	6	2	1	1	4
7. 商店街・市場	2	8	1	11	1	5	1	7	1	3	0	4
8. その他の公共施設等	3	7	2	12	1	2	1	4	2	5	1	8
9. その他	0	3	2	5	0	1	1	2	0	2	1	3

	計				まち協等				NPO			
	十分	普通	不十分	計	十分	普通	不十分	計	十分	普通	不十分	計
1. 団体専用事務室	52.6%	31.6%	15.8%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	46.2%	30.8%	23.1%	100.0%
2. 会議室・集会所	41.2%	52.9%	5.9%	100.0%	48.6%	51.4%	0.0%	100.0%	25.0%	56.3%	18.8%	100.0%
3. 公園・広場	44.8%	41.4%	13.8%	100.0%	50.0%	45.0%	5.0%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%
4. 学校・校庭	57.1%	42.9%	0.0%	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
5. 空き地	28.6%	57.1%	14.3%	100.0%	20.0%	60.0%	20.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
6. 道路	30.0%	40.0%	30.0%	100.0%	16.7%	50.0%	33.3%	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	100.0%
7. 商店街・市場	18.2%	72.7%	9.1%	100.0%	14.3%	71.4%	14.3%	100.0%	25.0%	75.0%	0.0%	100.0%
8. その他の公共施設等	25.0%	58.3%	16.7%	100.0%	25.0%	50.0%	25.0%	100.0%	25.0%	62.5%	12.5%	100.0%
9. その他	0.0%	60.0%	40.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%

問16 今後利用したい施設について(いくつでも)

	問16									
	希望施設									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	団体専用事務室	会議室・集会所	公園・広場	学校・校庭	空き地	道路	商店街・市場	その他公共施設	その他	
計	5	6	3	9	7	1	3	4	1	
%										
まち協等	4	1	1	2	3	0	0	1	1	
%										
NPO	1	5	2	7	4	1	3	3	0	
%										

問17 場の問題点(いくつでも)

	問17 (M)							無回答	回答者
	1	2	3	4	5	6			
	近く	狭い	料金が高い	手続きがめんどう	予約がいっぱい	その他			
計	13	15	8	16	12	12	49	50	
%	26.0%	30.0%	16.0%	32.0%	24.0%	24.0%	100.0%		
まち協等	6	8	0	3	0	8	40	22	
%	27.3%	36.4%	0.0%	13.6%	0.0%	36.4%	100.0%		
NPO	7	7	8	13	12	4	9	28	
%	25.0%	25.0%	28.6%	46.4%	42.9%	14.3%	100.0%		

※母数は、回答者数

問18 にぎわいづくりについての「モノ・ツール」の状況について（該当するものに ）

	問18																						無回答				
	所有・借用											今後充実															
	①テ ント	②音 響機 器	③プ ロ ジェ ク ター	④工 具	⑤ ファ クシ ミ	⑥ ホー ム ペー ジ	⑦( ) 携 帯 電 話	⑧パ ソ ン	⑨ ワー プロ	⑩コ ピー 機	⑪印 刷機	⑫そ の 他	回答者	①テ ント	②音 響機 器	③プ ロ ジェ ク ター	④工 具	⑤ ファ クシ ミ	⑥ ホー ム ペー ジ	⑦( ) 携 帯 電 話	⑧パ ソ ン	⑨ ワー プロ		⑩コ ピー 機	⑪印 刷機	⑫そ の 他	回答者
計	36	37	15	20	52	15	33	44	24	52	28	4	78	9	18	13	6	13	25	14	28	9	21	15	3	57	5
%	46.2%	47.4%	19.2%	25.6%	66.7%	19.2%	42.3%	56.4%	30.8%	66.7%	35.9%	5.1%	100.0%	15.8%	31.6%	22.8%	10.5%	22.8%	43.9%	24.6%	49.1%	15.8%	36.8%	26.3%	5.3%	100.0%	
まち協等	29	27	6	13	24	4	15	22	13	27	12	4	43	8	10	6	4	10	14	9	16	6	15	6	2	32	5
%	67.4%	62.8%	14.0%	30.2%	55.8%	9.3%	34.9%	51.2%	30.2%	62.8%	27.9%	9.3%	100.0%	25.0%	31.3%	18.8%	12.5%	31.3%	43.8%	28.1%	50.0%	18.8%	46.9%	18.8%	6.3%	100.0%	
NPO	7	10	9	7	28	11	18	22	11	25	16	0	35	1	8	7	2	3	11	5	12	3	6	9	1	25	0
%	20.0%	28.6%	25.7%	20.0%	80.0%	31.4%	51.4%	62.9%	31.4%	71.4%	45.7%	0.0%	100.0%	4.0%	32.0%	28.0%	8.0%	12.0%	44.0%	20.0%	48.0%	12.0%	24.0%	36.0%	4.0%	100.0%	

問19 モノ・ツールについての問題点（ひとつ）

	問19						
	1 問題 はない	2 購入 資金 がない	3 維持 経費 が負担	4 専用 のものが ほしい	5 その他	無回答	計
計	30	24	7	11	4	23	99
%	30.3%	24.2%	7.1%	11.1%	4.0%	23.2%	100.0%
まち協等	19	11	4	9	3	16	62
%	30.6%	17.7%	6.5%	14.5%	4.8%	25.8%	100.0%
NPO	11	13	3	2	1	7	37
%	29.7%	35.1%	8.1%	5.4%	2.7%	18.9%	100.0%

問20 平成13年度の総予算について

	問20（数）								
	総予算 （万円）	内訳						無回答	回答者
		1 会費 収入	2 事業 収入	3 行政 から事業 委託	4 行政 から助成 金等	5 寄付 金	6 その他		
計	32257.2	1556.8	12813	5533	4741.7	3006.3	2497	19	80
まち協等	10349.2	815.8	2479	43	3026.7	340.3	1631	16	46
NPO	21908	741	10334	5490	1715	2666	866	3	34

※内訳について回答しなかった団体もあったため、内訳の合計が総予算と一致しない。

問2 1 にぎわいづくりに資する活動の費用について

	問2 1 (数)							
	内訳						無回答	回答者
	1 人件費	2 事務経費	3 広報宣伝費	4 イベント経費	5 その他	合計		
計	1675	603	1728.5	3355	1490.1	8886.6	32	67
まち協等	60	13	43	65	65	135		
	459	309	1506.5	2923	938.1	6125.6	21	41
NPO	35	12	60	86	67	153		
	1216	294	222	432	552	2761	11	26
	81	15	15	24	61	106		

※下段数字は、回答1団体当たり(万円)

問2 2 活動資金についての問題点(いくつでも)

	問2 2 (M)						
	1 活動資金不足	2 公的助成金がほとんど	3 資金に制限がある	4 申請手続きがめんどろ	5 その他	無回答	回答者
計	49	40	31	13	11	14	85
%	57.6%	47.1%	36.5%	15.3%	12.9%		
まち協等	25	34	20	5	6	10	52
%	48.1%	65.4%	38.5%	9.6%	11.5%		
NPO	24	6	11	8	5	4	33
%	72.7%	18.2%	33.3%	24.2%	15.2%		

※母数は、回答者数

問2 3 利用した制度について(いくつでも)

	問2 3 (M)						
	1 活動助成金制度	2 専門家等の派遣制度	3 情報提供・相談	4 その他	5 利用した制度はない	無回答	回答者
計	60	22	10	5	20	15	84
%	71.4%	26.2%	11.9%	6.0%	23.8%		
まち協等	38	20	8	3	9	12	50
%	76.0%	40.0%	16.0%	6.0%	18.0%		
NPO	22	2	2	2	11	3	34
%	64.7%	5.9%	5.9%	5.9%	32.4%		

※母数は、回答者数

問24 制度、しくみの問題点について(いくつでも)

	問24(M)						
	1 制度 等を 知ら ない	2 内容 がわ かり にく い	3 制限 が多 く使 いに くい	4 申請 手続 きが めん どう	5 その 他	無回 答	回答 者
計	26	6	36	26	15	29	70
%	37.1%	8.6%	51.4%	37.1%	21.4%		
まち協等	16	3	16	12	7	24	38
%	42.1%	7.9%	42.1%	31.6%	18.4%		
NPO	10	3	20	14	8	5	32
%	31.3%	9.4%	62.5%	43.8%	25.0%		

※母数は、回答者数

問25 まちのにぎわいを盛り上げていくための支援について(いくつでも)

	問25(M)										
	1 担い 手相 互の 交流	2 活動 の場 の整 備	3 活動 全般 への 助成 制度	4 行事 等個 別の 助成 制度	5 情報 発信 の整 備	6 専門 家等 の派 遣	7 技術 向上 の支 援	8 備品 機材 の提 供	9 その 他	無回 答	回答 者
計	40	32	56	30	19	23	16	29	3	15	84
%	47.6%	38.1%	66.7%	35.7%	22.6%	27.4%	19.0%	34.5%	3.6%		
まち協等	23	17	34	17	10	19	10	14	2	11	51
%	45.1%	33.3%	66.7%	33.3%	19.6%	37.3%	19.6%	27.5%	3.9%		
NPO	17	15	22	13	9	4	6	15	1	4	33
%	51.5%	45.5%	66.7%	39.4%	27.3%	12.1%	18.2%	45.5%	3.0%		

※母数は、回答者数

単純集計表2（住宅地・商業地別集計は、NPOを除く）

1. 組織の概要や基本的な活動内容について

問1 団体の構成員について

	問1(数)			
	1 役員	2 常勤 スタッフ	3 その他	合計
計	1392	261	2231	3874
%	35.9%	6.7%	57.6%	100.0%
住宅地	210	0	86	296
%	70.9%	0.0%	29.1%	100.0%
商業地	847	157	608	1602
%	52.9%	9.8%	38.0%	100.0%

問2 団体の事務所について（ひとつ）

	問2					
	1 専用	2 借り 上げ	3 自宅 など	4 公共 施設	5 その他	計
計	12	15	54	9	9	99
%	12.1%	15.2%	54.5%	9.1%	9.1%	100.0%
住宅地	3	0	10	2	0	15
%	20.0%	0.0%	66.7%	13.3%	0.0%	100.0%
商業地	6	2	26	5	8	47
%	12.8%	4.3%	55.3%	10.6%	17.0%	100.0%

問3 団体の活動対象地域について（ひとつ）

	問3															
							3-①				3-②					計
	1 区内	2 市町	3 定の 地域	4 特定 地域 なし	5 その他	計	人口	世帯数	面積 (ha)	回答 者数	1 住宅地	2 商業 地	3 住商 混在	4 住商 工混 在	5 その他	
計	11	15	64	6	3	99	189753	85746	1532.9	61	15	2	31	14	1	63
%	11.1%	15.2%	64.6%	6.1%	3.0%	100.0%					23.8%	3.2%	49.2%	22.2%	1.6%	100.0%
住宅地	0	0	15	0	0	15	17160	8348	216.4	15	15	0	0	0	0	15
%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%						100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
商業地	0	2	45	0	0	47	149593	65398	1266.5	44	0	2	28	14	1	45
%	0.0%	4.3%	95.7%	0.0%	0.0%						0.0%	4.4%	62.2%	31.1%	2.2%	100.0%

問4 活動の主な目的・分野について（ひとつ）

	問4																									
							4-①組織の存続について（限定）									4-②NPOの活動分野（限定）									4-③（限定）	
	1 区画 整理	2 再開 発	3 その他	4 NPO	計		1 解散	2 存続	3 移行	4 未定	5 その他	計	1 まち づくり	2 福祉	3 保 険・ 医療	4 自 然・ 環境	5 しごと づくり	6 文 化・ 芸術	7 教 育・ ボ-ツ	8 被災 者支 援	9 その他	計	1 中間 支援	2 中間 支援 ではない		
計	24	6	32	37	99	8	17	16	9	5	55	22	16	3	13	7	8	8	14	9	100	6	31			
%	24.2%	6.1%	32.3%	37.4%	100.0%	14.5%	30.9%	29.1%	16.4%	9.1%	100.0%	22.0%	16.0%	3.0%	13.0%	7.0%	8.0%	8.0%	14.0%	9.0%	100.0%	0	0			
住宅地	7	0	8	0	15	0	3	6	5	1	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
%	46.7%	0.0%	53.3%	0.0%	100.0%	0.0%	20.0%	40.0%	33.3%	6.7%	100.0%															
商業地	17	6	24	0	47	8	14	10	4	4	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
%	36.2%	12.8%	51.1%	0.0%	100.0%	20.0%	35.0%	25.0%	10.0%	10.0%	100.0%															

問5 平成13年度の定例的な活動回数について(ひとつ)

		問5								
		1 100 回以上	2 50回 以上	3 25回 以上	4 10回 以上	5 10回 未満	6 必要 時	無回 答	計	13年 度
計		7	7	29	33	6	16	1	99	134
%		7.1%	7.1%	29.3%	33.3%	6.1%	16.2%	1.0%	100.0%	
住宅地		0	0	3	10	1	1	0	15	0
%		0.0%	0.0%	20.0%	66.7%	6.7%	6.7%	0.0%	100.0%	
商業地		2	4	16	14	3	8	0	47	36
%		5.6%	11.1%	44.4%	38.9%	8.3%	22.2%	0.0%	130.6%	

2. 活動しているまちの復興状況について

問6 活動地域のハード面の復興状況(ひとつ)

		問6						
		1 50% 以下	2 50~ 80%	3 80% 以上	4 100 %	5 100 %以上	無回 答	計
計		7	14	59	10	5	4	99
%		7.1%	14.1%	59.6%	10.1%	5.1%	4.0%	100.0%
住宅地		0	2	10	1	1	1	15
%		0.0%	13.3%	66.7%	6.7%	6.7%	6.7%	100.0%
商業地		4	9	24	7	2	1	47
%		8.5%	19.1%	51.1%	14.9%	4.3%	2.1%	100.0%

問7 活動地域の商店街・市場が震災前に戻ったか(ひとつ)

		問7 (問3:2,3,4限定)				
		1 戻っ た	2 戻っ てい ない	3前 より にぎ やか	4ど ちら とも いえ ない	計
計		6	27	3	10	46
%		13.0%	58.7%	6.5%	21.7%	100.0%
住宅地		0	0	0	0	0
%						
商業地		6	26	3	8	43
%		14.0%	60.5%	7.0%	18.6%	100.0%



問8 活動地域の住宅地区で震災前の状況に戻ったか(ひとつ)

問8(問3:1,2,3限定)					
	1 戻った	2 戻っていない	3前 よりに ぎやか	4ど ちらとも いえ ない	計
計	24	18	9	7	58
%	41.4%	31.0%	15.5%	12.1%	100.0%
住宅地	4	4	4	1	13
%	30.8%	30.8%	30.8%	7.7%	100.0%
商業地	18	13	5	5	41
%	43.9%	31.7%	12.2%	12.2%	100.0%

3. まちのにぎわいのイメージについて

問9 「まちのにぎわい」のイメージについて(3つ)

問9(M:3)																			
	1 集客 イベント	2 買い 物	3 伝統 行事	4 集客 施設	5 商業 施設	6 公 園・ 広場	7 歴史 的建 造物	8 文化 財等	9 家族 連れ	10 学 生・ 若者	11 カッ プル	12 子ど も・ 遊び	13 お年 寄 り・ 憩い	14 芸 術・ 文化	15 ス ポーツ	16 花・ 緑	17 その他	回答者	無回答
計	31	45	36	15	43	17	3	2	29	6	1	29	13	7	1	12	1	97	2
%	32.0%	46.4%	37.1%	15.5%	44.3%	17.5%	3.1%	2.1%	29.9%	6.2%	1.0%	29.9%	13.4%	7.2%	1.0%	12.4%	1.0%		
住宅地	2	7	8	1	3	4	1	1	4	0	0	7	1	2	0	4	0	15	0
%	13.3%	46.7%	53.3%	6.7%	20.0%	26.7%	6.7%	6.7%	26.7%	0.0%	0.0%	46.7%	6.7%	13.3%	0.0%	26.7%	0.0%		
商業地	16	21	14	9	23	9	0	0	10	3	0	15	9	2	1	3	0	42	2
%	35.6%	46.7%	31.1%	20.0%	51.1%	20.0%	0.0%	0.0%	22.2%	6.7%	0.0%	33.3%	20.0%	4.4%	2.2%	6.7%	0.0%		

※%の母数は、回答者数

問10 「商業地のにぎわい」を感じるのは(2つ)

問10(M:2)								
	1 人通 りが多い	2 客が 多い	3 空き 店舗 等が 少ない	4 新し く明 るい	5 イベ ント が多い	6 その他	回答者	無回答
計	72	38	40	10	19	4	92	7
%	78.3%	41.3%	43.5%	10.9%	20.7%	4.3%		
住宅地	8	4	5	2	3	0	11	4
%	72.7%	36.4%	45.5%	18.2%	27.3%	0.0%		
商業地	34	16	24	5	10	1	42	2
%	81.0%	38.1%	57.1%	11.9%	23.8%	2.4%		

※%の母数は、回答者数

問 1 1 「住宅地のにぎわい」を感じるのは( 2つ)

	問 1 1 (M:2)								回答者	無回答	計
	1 事業 が進 んで いる	2 家が たく さん	3 空き 地が 少な い	4 公園 等の 利用 者が 多い	5 遊ん でい る子 供が 多い	6 行事 等が 多い	7 地域 活動 が活 発	8 その 他			
計	24	15	14	33	40	23	35	2	95	4	99
%	25.3%	15.8%	14.7%	34.7%	42.1%	24.2%	36.8%	2.1%			
住宅地	4	4	2	6	5	2	7	0	15	0	15
%	26.7%	26.7%	13.3%	40.0%	33.3%	13.3%	46.7%	0.0%			
商業地	15	8	8	18	16	8	18	0	43	1	44
%	34.9%	18.6%	18.6%	41.9%	37.2%	18.6%	41.9%	0.0%			

※%の母数は、回答者数

4. まちのにぎわいづくりのための行事やイベントの内容等について

問 1 2 行事イベントの回数、参加人員(平成13年度)について

	問12(回数・年M)											問12(参加人員M)																
	1 コン サート 等	2 セミ ナー 等	3 大売 り等	4 伝統 的行事	5 フ リー マーケット 等	6 飾 り 花 等	7 ク リー ン作 業等	8 まち 歩き	9 10+ 11 その他 (夏祭 り等)	10	11	無回 答	計	インフォオラータ 40万人を除く														
計	18	215	12	31	43	180	263	23	244	129	101	14	10	1029	21740	10355	91570	108395	11316	3790	24192	3787	162405	150535	9150	2720	21	437550
%	1.7%	20.9%	1.2%	3.0%	4.2%	17.5%	25.6%	2.2%	23.7%				100.0%	5.0%	2.4%	20.9%	24.8%	2.6%	0.9%	5.5%	0.9%	37.1%						100.0%
住宅地	2	16	0	7	3	10	72	2	7	5	2	0	0	119	500	280	0	1900	750	260	1030	15	200	200	0	0	2	4935
%	1.7%	13.4%	0.0%	5.9%	2.5%	8.4%	60.5%	1.7%	5.9%				100.0%	10.1%	5.7%	0.0%	38.5%	15.2%	5.3%	20.9%	0.3%	4.1%					100.0%	
商業地	5	53	5	18	21	108	147	11	76	31	31	14	7	444	17100	1630	90400	106020	8830	2570	21734	650	101605	93535	5350	2720	13	350539
%	1.1%	11.9%	1.1%	4.1%	4.7%	24.3%	33.1%	2.5%	17.1%				100.0%	4.9%	0.5%	25.8%	30.2%	2.5%	0.7%	6.2%	0.2%	29.0%					100.0%	

問 1 3 行事、イベントの増加傾向(ひとつ)

	問 1 3				
	1 増 加傾 向	2 減 少傾 向	3 変 化な し	無回 答	計
計	35	11	38	15	99
%	35.4%	11.1%	38.4%	15.2%	100.0%
住宅地	4	0	9	2	15
%	26.7%	0.0%	60.0%	13.3%	100.0%
商業地	15	5	19	8	47
%	31.9%	10.6%	40.4%	17.0%	100.0%

問14 - 行事・イベントの実施体制

問14						
①						
	1単 独で 実施	2連 合組 織で 実施	3他 団体 と連 携	4そ の他	無回 答	計
計	32	14	30	8	15	99
%	32.3%	14.1%	30.3%	8.1%	15.2%	100.0%
住宅地	6	4	1	1	3	15
%	40.0%	26.7%	6.7%	6.7%	20.0%	100.0%
商業地	13	8	12	4	10	47
%	27.7%	17.0%	25.5%	8.5%	21.3%	100.0%

問14 - 男女別・年齢別の担い手について 担い手の人材について

問14																														
② (30歳未満・男)					② (30歳未満・女)					② (30-50・男)					② (30-50・女)					② (50-70・男)					② (50-70・女)					
役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	30 男	役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	30 女	役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	30- 50男	役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	30- 50女	役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	50- 70男	役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	50- 70女	
計	95	210	50	53	408	94	151	56	54	355	302	194	55	9	560	262	214	51	12	539	550	422	92	40	1104	449	387	37	5	878
%	23.3%	51.5%	12.3%	13.0%	100.0%	26.5%	42.5%	15.8%	15.2%	100.0%	53.9%	34.6%	9.8%	1.6%	100.0%	48.6%	39.7%	9.5%	2.2%	100.0%	49.8%	38.2%	8.3%	3.6%	100.0%	51.1%	44.1%	4.2%	0.6%	100.0%
住宅地	10	0	3	0	13	0	10	20	0	30	22	13	1	0	36	23	32	0	0	55	77	12	3	0	92	53	34	0	0	87
%	76.9%	0.0%	23.1%	0.0%	100.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	100.0%	61.1%	36.1%	2.8%	0.0%	100.0%	41.8%	58.2%	0.0%	0.0%	100.0%	83.7%	13.0%	3.3%	0.0%	100.0%	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	100.0%
商業地	31	10	42	0	83	43	56	33	0	132	197	105	39	7	348	165	121	40	2	328	347	179	34	40	600	293	231	10	5	539
%	37.3%	12.0%	50.6%	0.0%	100.0%	32.6%	42.4%	25.0%	0.0%	100.0%	56.6%	30.2%	11.2%	2.0%	100.0%	50.3%	36.9%	12.2%	0.6%	100.0%	57.8%	29.8%	5.7%	6.7%	100.0%	54.4%	42.9%	1.9%	0.9%	100.0%

問14																							
② (70-・男)					② (70-・女)					② (合計)					③ (M)								
役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	70- 男	役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	70- 女	役員	地域 内ボ ラン ティ ア	地域 外ボ ラン ティ ア	その他	計	無回 答	1専 門家	2学 生	3専 業主 婦	4お 年寄 り	5そ の他	無回 答	計	
計	146	76	0	3	225	107	59	0	2	168	2232	2013	1041	240	5526	22	42	22	45	32	34	17	192
%	64.9%	33.8%	0.0%	1.3%	100.0%	63.7%	35.1%	0.0%	1.2%	100.0%	40.4%	36.4%	18.8%	4.3%	100.0%	51.2%	26.8%	54.9%	39.0%	41.5%	0.0%		
住宅地	9	5	0	0	14	14	13	0	0	27	195	119	27	0	341	4	4	1	6	4	6	4	25
%	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	100.0%	51.9%	48.1%	0.0%	0.0%	100.0%	57.2%	34.9%	7.9%	0.0%	100.0%	36.4%	9.1%	54.5%	36.4%	54.5%			
商業地	118	68	0	3	189	74	45	0	2	121	1508	1115	898	101	3622	13	18	6	18	16	19	9	86
%	62.4%	36.0%	0.0%	1.6%	100.0%	61.2%	37.2%	0.0%	1.7%	100.0%	41.6%	30.8%	24.8%	2.8%	100.0%	47.4%	15.8%	47.4%	42.1%	50.0%			

%の母数は、回答者数

問14 - 担い手相互の連携について(ひとつ)

	問14						
	④担い手相互の連携						
	1 うまく いつ いて る	2 ど ち ら か と い え ば つ ま く い つ	3 ど ち ら と も い え な い	4 ど ち ら か と い え ば つ ま く い つ	5 う ま く い つ て い な い	無 回 答	計
計	43	28	4	6	2	16	99
%	43.4%	28.3%	4.0%	6.1%	2.0%	16.2%	100.0%
住宅地	4	6	0	1	0	4	15
%	26.7%	40.0%	0.0%	6.7%	0.0%	26.7%	100.0%
商業地	18	18	2	1	1	7	47
%	38.3%	38.3%	4.3%	2.1%	2.1%	14.9%	100.0%

問15 担い手の問題点について(いくつでも)

	問15(M)							無 回 答	計
	1 専 門 的 ス タ ッフ が 不 足	2 人 手 が 不 足	3 志 気 の 向 上	4 担 い 手 の 高 齢 化	5 担 い 手 の 特 定 化	そ の 他			
計	13	29	15	34	43	6	21	161	
%	16.7%	37.2%	19.2%	43.6%	55.1%	7.7%			
住宅地	3	4	3	5	7	1	4	27	
%	27.3%	36.4%	27.3%	45.5%	63.6%	9.1%			
商業地	6	11	5	20	21	4	9	76	
%	15.8%	28.9%	13.2%	52.6%	55.3%	10.5%			

%の母数は、回答者数

問16 イベント、行事の「場」について(いくつでも)

	問16																					
	会場(M)										準備(M)											
	1 団 体 専 用 事 務 室	2 会 議 室 ・ 集 会 所	3 公 園 ・ 広 場	4 学 校 ・ 校 庭	5 空 き 地	6 道 路	7 商 店 街 ・ 市 場	8 そ の 他 公 共 施 設	9 そ の 他	無 回 答	回 答 者	1 団 体 専 用 事 務 室	2 会 議 室 ・ 集 会 所	3 公 園 ・ 広 場	4 学 校 ・ 校 庭	5 空 き 地	6 道 路	7 商 店 街 ・ 市 場	8 そ の 他 公 共 施 設	9 そ の 他	無 回 答	回 答 者
計	3	28	34	22	10	13	17	14	5	19	80	18	54	6	4	0	0	2	8	2	21	78
%	3.8%	35.0%	42.5%	27.5%	12.5%	16.3%	21.3%	17.5%	6.3%			23.1%	69.2%	7.7%	5.1%	0.0%	0.0%	2.6%	10.3%	2.6%		
住宅地	0	4	5	5	0	1	0	1	2	5	10	1	9	2	0	0	0	0	1	1	3	12
%	0.0%	40.0%	50.0%	50.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%			8.3%	75.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%		
商業地	1	14	17	12	6	7	10	3	0	10	37	6	30	3	4	0	0	2	2	0	8	39
%	2.7%	37.8%	45.9%	32.4%	16.2%	18.9%	27.0%	8.1%	0.0%			15.4%	76.9%	7.7%	10.3%	0.0%	0.0%	5.1%	5.1%	0.0%		

※母数は、回答者数

※母数は、回答者数

問16 「場」施設の満足度

	まち協等				住宅地				商業地			
	十分	普通	不十分	計	十分	普通	不十分	計	十分	普通	不十分	計
1.団体専用事務室	10	6	3	19	1	0	0	1	9	6	3	18
2.会議室・集会所	21	27	3	51	7	1	0	8	14	26	3	43
3.公園・広場	13	12	4	29	3	2	0	5	10	10	4	24
4.学校・校庭	12	9	0	21	4	1	0	5	8	8	0	16
5.空き地	2	4	1	7	0	0	0	0	2	4	1	7
6.道路	3	4	3	10	0	1	0	1	3	3	3	9
7.商店街・市場	2	8	1	11	0	0	0	0	2	8	1	11
8.その他の公共施設等	3	7	2	12	0	1	1	2	3	6	1	10
9.その他	0	3	2	5	0	1	1	2	0	2	1	3

	まち協等				住宅地				商業地			
	十分	普通	不十分	計	十分	普通	不十分	計	十分	普通	不十分	計
1.団体専用事務室	52.6%	31.6%	15.8%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%
2.会議室・集会所	41.2%	52.9%	5.9%	100.0%	87.5%	12.5%	0.0%	100.0%	32.6%	60.5%	7.0%	100.0%
3.公園・広場	44.8%	41.4%	13.8%	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%	100.0%	41.7%	41.7%	16.7%	100.0%
4.学校・校庭	57.1%	42.9%	0.0%	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%
5.空き地	28.6%	57.1%	14.3%	100.0%					28.6%	57.1%	14.3%	100.0%
6.道路	30.0%	40.0%	30.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	100.0%
7.商店街・市場	18.2%	72.7%	9.1%	100.0%					18.2%	72.7%	9.1%	100.0%
8.その他の公共施設等	25.0%	58.3%	16.7%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	30.0%	60.0%	10.0%	100.0%
9.その他	0.0%	60.0%	40.0%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	100.0%

問16 今後利用したい施設について(いくつでも)

	問16										回答者
	希望施設										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
	団体専用事務室	会議室・集会所	公園・広場	学校・校庭	空き地	道路	商店街・市場	その他公共施設	その他		
計	5	6	3	9	7	1	3	4	1	16	
%											
住宅地%	3	1	1	0	2	0	0	0	0	5	
商業地%	1	0	0	2	1	0	0	1	1	2	

問17 場の問題点(いくつでも)

	問17 (M)							
	1	2	3	4	5	6	無回答	回答者
	近くになり	狭い	料金が高い	手続きがめんどう	予約でいっぱい	その他		
計	13	15	8	16	12	12	49	50
%	26.0%	30.0%	16.0%	32.0%	24.0%	24.0%	0.0%	100.0%
住宅地%	0	0	0	1	0	1	13	2
商業地%	6	8	0	2	0	7	27	20
%	30.0%	40.0%	0.0%	10.0%	0.0%	35.0%		100.0%

※母数は、回答者数

問18 にぎわいづくりについての「モノ・ツール」の状況について（該当するものに ）

	問18																				無回答						
	所有・借用										今後充実																
	①テ ント	②音 響機 器	③プ ロ ジェ ク ター	④工 具	⑤ ファ クシ ミリ ジ	⑥ ホー ム ペー ジ	⑦(携 帯)電 話	⑧パ ソ ン	⑨ワ ー プロ 機	⑩コ ピー 機	⑪印 刷機	⑫そ の他	回答者	①テ ント	②音 響機 器	③プ ロ ジェ ク ター	④工 具	⑤ ファ クシ ミリ ジ	⑥ ホー ム ペー ジ	⑦(携 帯)電 話		⑧パ ソ ン	⑨ワ ー プロ 機	⑩コ ピー 機	⑪印 刷機	⑫そ の他	回答者
計	36	37	15	20	52	15	33	44	24	52	28	4	78	9	18	13	6	13	25	14	28	9	21	15	3	57	5
%	46.2%	47.4%	19.2%	25.6%	66.7%	19.2%	42.3%	56.4%	30.8%	66.7%	35.9%	5.1%	100.0%	15.8%	31.6%	22.8%	10.5%	22.8%	43.9%	24.6%	49.1%	15.8%	36.8%	26.3%	5.3%	100.0%	0.0%
住宅地	5	3	1	2	2	0	4	3	1	6	0	0	8	2	4	1	3	3	4	2	5	2	3	2	0	7	2
%	62.5%	37.5%	12.5%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	37.5%	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%	100.0%	28.6%	57.1%	14.3%	42.9%	42.9%	57.1%	28.6%	71.4%	28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	100.0%	0.0%
商業地	24	24	5	11	22	4	11	19	12	21	12	4	35	6	6	5	1	7	10	7	11	4	12	4	2	25	3
%	68.6%	68.6%	14.3%	31.4%	62.9%	11.4%	31.4%	54.3%	34.3%	60.0%	34.3%	11.4%	100.0%	24.0%	24.0%	20.0%	4.0%	28.0%	40.0%	28.0%	44.0%	16.0%	48.0%	16.0%	8.0%	100.0%	0.0%

問19 モノ・ツールについての問題点（ひとつ）

	問19						
	1 問題 はない	2 購入 資金 がない	3 維持 経費 が負 担	4 専用 の ものが ほしい	5 その 他	無回 答	計
計	30	24	7	11	4	23	99
%	30.3%	24.2%	7.1%	11.1%	4.0%	23.2%	100.0%
住宅地	5	2	1	1	1	5	15
%	33.3%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	33.3%	100.0%
商業地	14	9	3	8	2	11	47
%	29.8%	19.1%	6.4%	17.0%	4.3%	23.4%	100.0%

問20 平成13年度の総予算について（単位：万円）

	問20（数）									
	総予算(万 円)	内訳						無回 答	回答 者	
		1 会費 収入	2 事業 収入	3 行政 から事業 委託	4 行政 から助成 金等	5 寄付 金	6 その 他			
計	32257.2	1556.8	12813	5533	4741.7	3006.3	2497	19	80	
住宅地		576	112.6	17	5	375	50	16	4	11
商業地		9773.2	703.2	2462	38	2651.7	290.3	1615	12	35

※内訳について回答しなかった団体もあったため、内訳の合計が総予算と一致しない。

問2 1 にぎわいづくりに資する活動の費用について (単位:万円)

	問2 1(数)							無回答	回答者
	内訳								
	1 人件費	2 事務経費	3 広報宣伝費	4 イベント経費	5 その他	合計			
計	1675	603	1728.5	3355	1490.1	8886.6	32	67	
住宅地	60	13	43	65	65	135	4	11	
商業地	25	48	14.5	122	37.6	247.1	4	11	
商業地	434	261	1492	2801	900.5	5878.5	17	30	

問2 2 活動資金についての問題点(いくつでも)

	問2 2(M)						無回答	回答者
	1 活動資金不足	2 公的助成金がほとんど	3 資金に制限がある	4 申請手続きがめんどろ	5 その他			
計	49	40	31	13	11	14	85	
%	57.6%	47.1%	36.5%	15.3%	12.9%			
住宅地	4	7	7	1	1	2	13	
%	30.8%	53.8%	53.8%	7.7%	7.7%			
商業地	21	27	13	4	5	8	39	
%	53.8%	69.2%	33.3%	10.3%	12.8%			

※母数は、回答者数

問2 3 利用した制度について(いくつでも)

	問2 3(M)						無回答	回答者
	1 活動助成金制度	2 専門家等の派遣制度	3 情報提供・相談	4 その他	5 利用した制度はない			
計	60	22	10	5	20	15	84	
%	71.4%	26.2%	11.9%	6.0%	23.8%			
住宅地	6	3	2	1	5	3	12	
%	50.0%	25.0%	16.7%	8.3%	41.7%			
商業地	32	17	6	2	4	9	38	
%	84.2%	44.7%	15.8%	5.3%	10.5%			

※母数は、回答者数

問24 制度、しくみの問題点について(いくつでも)

	問24(M)						
	1 制度 等を 知ら ない	2 内容 がわ かり にく い	3 制限 が多 く使 いに くい	4 申請 手続 きが めん どう	5 その 他	無回 答	回答 者
計	26	6	36	26	15	29	70
%	37.1%	8.6%	51.4%	37.1%	21.4%		
住宅地	4	1	4	4	0	5	10
%	40.0%	10.0%	40.0%	40.0%	0.0%		
商業地	12	2	12	8	7	19	28
%	42.9%	7.1%	42.9%	28.6%	25.0%		

※母数は、回答者数

問25 まちのにぎわいを盛り上げていくための支援について(いくつでも)

	問25(M)										
	1 担い 手相 互の 交流	2 活動 の場 の整 備	3 活動 全般 への 助成 制度	4 行事 等個 別の 助成 制度	5 情報 発信 汎用 の整 備	6 専門 家等 の派 遣	7 技術 向上 の支 援	8 備品 機材 の提 供	9 その 他	無回 答	回答 者
計	40	32	56	30	19	23	16	29	3	15	84
%	47.6%	38.1%	66.7%	35.7%	22.6%	27.4%	19.0%	34.5%	3.6%		
住宅地	8	5	11	3	3	7	4	3	0	3	12
%	66.7%	41.7%	91.7%	25.0%	25.0%	58.3%	33.3%	25.0%	0.0%		
商業地	15	12	23	14	7	12	6	11	2	8	39
%	38.5%	30.8%	59.0%	35.9%	17.9%	30.8%	15.4%	28.2%	5.1%		

※母数は、回答者数





## 復興モニター調査 2002

### アンケート調査へのご協力をお願い

阪神・淡路大震災から7年あまりが経過し、被災地では、震災からの創造的復興をめざして、生活や産業の復興、災害に強いまちづくりなどの取り組みが進められています。

さて、今年度、(財)阪神・淡路大震災記念協会( )では、兵庫県阪神・淡路大震災復興本部総括部から委託を受け、被災地の創造的復興の課題となっている「まちのにぎわいづくり」の実態を把握し、今後の復興まちづくり施策に反映させるため、「復興モニター調査2002」を実施します。

その一環として、このたび、まちづくり協議会やまちづくり活動団体・NPO等が行っているまちのにぎわいづくりについての活動状況や課題などを把握するため、まちづくり株式会社コー・プランの協力を得ながら、アンケート調査を実施することとなりました。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきましたアンケート調査結果につきましては、調査目的以外に利用することは決してありません。

( ) 阪神・淡路大震災記念協会は、兵庫県と神戸市をはじめ被災10市10町により設立された財団法人です。震災の教訓を踏まえた総合的な調査研究を行い、それらを広く発信しています。

平成14年5月吉日

(財) 阪神・淡路大震災記念協会

調査についてのお問い合わせは下記まで  
(財) 阪神淡路大震災記念協会 山田・吉田  
Tel.(078)361-5115  
(株) コー・プラン 細野  
Tel.(078)842-2311

ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒にて、  
6月12日(水)までに投函していただきますようお願い致します。

団体の名称と所在地をご記入下さい。代表者氏名については、差し支えなければご記入下さい。

名 称	
所 在 地	
代表者氏名	

アンケートのご回答について、不明な点をご確認させていただくため、差し支えなければ、ご担当者の方の氏名と連絡先をご記入下さい。

ご記入いただいた氏名と連絡先は決して外部に漏らすことはありません。

担当者氏名		
連 絡 先	電話：	ファクシミリ：

1. はじめに、組織の概要や基本的な活動内容について、おうかがいします。

問1 団体の構成人員について、ご記入下さい。

1. 役員	人
2. 常勤スタッフ（アルバイト等含む）	人
3. その他	人
合計	人

問2 団体の事務所について、該当する番号に1つ 印をつけて下さい。

- 1. 団体専用事務所（所有）
- 2. 団体専用事務所（借り上げ）
- 3. メンバーの自宅や勤務先
- 4. 公民館等の公共施設内
- 5. その他（ ）

問3 団体の活動対象地域について、該当する番号に1つ 印をつけて下さい。

- 1. 県内
- 2. 市町（具体的な市町名をご記入下さい） 市・町
- 3. 市町の一定の範囲の地域（具体的な地域をご記入下さい）

市 区 町 丁目

4. 地域を特定していない

5. その他（ ）

→ 活動対象地域のおよその人口・世帯数・面積がわかればご記入下さい。

人 口	人
世 帯 数	世 帯
面 積	ha

→ 活動対象地域の土地利用について、該当する番号に1つ 印をつけてください。

- 1. 住宅地
- 2. 商業地
- 3. 住商混在地区
- 4. 住商工混在地区
- 5. その他（具体的に： ）

問4 あなたの団体の活動の主な目的・分野について、該当する番号に1つ 印をつけてください。

- 1. 土地区画整理事業によるまちづくり（ ）
- 2. 再開発事業によるまちづくり（ ）
- 3. その他のまちづくり（景観形成、建築協定、まちづくり協定など）（ ）
- 4. NPO活動（ ）

→ あなたの団体は、まちづくり事業が完成したら、どのように対応されますか。該当する番号に1つ 印をつけて下さい。

- 1. 完成したら解散する
- 2. 存続していく
- 3. 他の組織に移行する（自治会など）
- 4. 未定
- 5. その他（具体的に： ）

→ 活動分野について、該当する番号すべてに 印をつけてください。

- 1. まちづくり
- 2. 福祉
- 3. 保健・医療
- 4. 自然・環境
- 5. しごとづくり
- 6. 文化・芸術
- 7. 教育・スポーツ
- 8. 被災者支援
- 9. その他（具体的に： ）

→ あなたの団体は、中間支援組織（他のNPOの活動を支援する組織）ですか。

- 1. 中間支援組織である
- 2. 中間支援組織ではない

問5 あなたの団体の平成13年度の定例的な活動（定例会議など）の回数について、該当する番号に1つ 印をつけてください。

- |                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 年間100回以上（週2回程度）                | 2. 年間50回以上（週1回程度） |
| 3. 年間25回以上（月2回程度）                 | 4. 年間10回以上（月1回程度） |
| 5. 年間10回未満                        |                   |
| 6. 定例的な活動はなく必要な時に集まるだけ（平成13年度は 日） |                   |

**2. あなたの団体が活動しているまちの復興状況についておうかがいします。**

（活動地域を特定していない団体は、現在、中心的な活動をしている地域について記入して下さい。）

問6 活動地域の住宅・ビルなどの建物、商店街・市場、公園、その他の施設などハード面から見た復興状況について、どのように感じていらっしゃいますか。該当する番号に1つ 印をつけてください。

- |                          |   |   |
|--------------------------|---|---|
| 1. ほとんど復興が進んでいない（50%以下）  | → | （1、2を選んだ方はその理由をご記入<br>下さい）  |
| 2. それほど復興していない（概ね50～80%） |   |   |
| 3. かなり復興した（概ね80%以上）      |   | （理由）<br><div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> |
| 4. 完全に復興した（概ね100%）       |   |   |
| 5. 震災前よりよくなった（100%以上）    |   |   |

問7 問3で、活動対象地域が「2. 商業地、3. 住商混在地区、4. 住商工混在地区」とお答えになった方におうかがいします。

活動地域の商店街・市場は、総合的に見てにぎわいが震災前に戻ったでしょうか。該当する番号に1つ 印をつけてください。

- |                  |   |   |
|------------------|---|---|
| 1. 震災前に戻った       | → | （理由）<br><div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> |
| 2. 戻っていない        |   |   |
| 3. 震災前よりにぎやかになった |   |   |
| 4. どちらともいえない     |   |   |

問8 問3で、活動対象地域が「1. 住宅地、2. 住商混在地区、3. 住商工混在地区」とお答えになった方におうかがいします。

活動地域の住宅地区では、自治会活動や地域活動が復活するなど総合的にみて、震災前のまちの状況に戻ったでしょうか。該当する番号に1つ 印をつけてください。

- |               |   |   |
|---------------|---|---|
| 1. 震災前に戻った    | → | （理由）<br><div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> |
| 2. 戻っていない     |   |   |
| 3. 震災前より活気がある |   |   |
| 4. どちらともいえない  |   |   |

**3. まちのにぎわいのイメージについて、おうかがいします。**

問9 「まちのにぎわい」といえば、どのようなイメージをお持ちですか。

次の中から3つ選んで 印をつけて下さい。

- |                                |                    |                        |            |
|--------------------------------|--------------------|------------------------|------------|
| 1. 集客イベント（ライブ・コンサート・ショー・展覧会など） |                    |                        |            |
| 2. 買い物・ショッピング                  |                    | 3. 伝統行事（お祭りなど）         |            |
| 4. 集客施設（レジャー施設、ホール、映画館など）      |                    | 5. 商業施設（商店街・市場、スーパーなど） |            |
| 6. 公園・広場                       | 7. 歴史的建造物（神社・お寺など） | 8. 文化財・記念碑・シンボル（大木など）  |            |
| 9. 家族連れ・親子                     | 10. 学生・若者          | 11. カップル               | 12. 子ども・遊び |
| 13. お年寄り・憩い                    | 14. 芸術・文化          | 15. スポーツ               | 16. 花・緑    |
| 17. その他（                       |                    |                        | ）          |

問10 「商業地のにぎわい」を感じるの、どのようなことでしょうか。

次の中から2つ選んで 印をつけてください。

- |                              |                      |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 商店街・市場に人通りが多い             | 2. 客が多い（売り上げが多い）     |
| 3. 空き地・空き店舗が少ない              | 4. 店舗やアーケードなどが新しく明るい |
| 5. 大売り出し、セールなどのイベントが頻繁に実施される |                      |

6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 問11 「住宅地のにぎわい」を感じるの、どのようなことでしょうか。  
次のうちから2つ選んで 印をつけてください。
1. まちづくり事業が進んでいる    2. 家がたくさん建っている  
3. 空き地・未利用地が少ない    4. 公園・広場の利用者が多い  
5. 遊んでいる子供たちが多い    6. 地域の行事やイベント（祭りなど）がよく開催される  
7. 自治会活動などの地域活動が活発である  
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

4. まちのにぎわいづくりのための行事やイベントの内容等について、おうかがいします。

あなたの団体が主催する主な行事、イベントについてお答えください。

- 問12 平成13年度は、どのような行事・イベントが行われましたか。該当する欄にご記入ください。

行事・イベント	回数/年	参加人員
1. コンサート・ライブ・ショー等		
2. セミナー・講習会・研修会等		
3. 大売り出し・セール等		
4. 伝統的行事（祭り、神社の縁日等）		
5. フリーマーケット等		
6. 花づくり・飾花・緑化		
7. クリーン作戦、清掃活動等		
8. まち歩き（探検）		
その他（ _____ ）		
その他（ _____ ）		
その他（ _____ ）		

- 問13 これらの行事やイベントは、近年増えていますか。該当する番号に1つ 印をつけてください。

1. 増加傾向である                      2. 減少傾向である                      3. 変化はない

- 問14 あなたの団体が平成13年度中に実施した最も大規模な行事・イベントの担い手（主催者、スタッフ等。観客・一般参加者は含まず）について、おうかがいします。

行事・イベントを実施体制について、該当する番号に1つ 印をつけてください。

1. 団体単独で実施した  
2. 団体の属する連合組織（連合協議会など）で実施した  
3. いくつかの団体と連携して（実行委員会を結成するなどして）実施した  
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

行事・イベントにかかわった担い手（企画・準備等を含む）の人数について、表の該当する項目について、わかる範囲でご記入ください。

年 齢	性 別	役員・スタッフ等	ボランティアスタッフ等		その他
			地域内	地域外	
30歳未満	男 性	人	人	人	人
	女 性	人	人	人	人
30歳以上～50歳未満	男 性	人	人	人	人
	女 性	人	人	人	人
50歳以上～70歳未満	男 性	人	人	人	人
	女 性	人	人	人	人
70歳以上	男 性	人	人	人	人
	女 性	人	人	人	人
合 計		人	人	人	人

どのような人材が、担い手（スタッフ等）として参加されましたか。該当する番号すべてに 印をつけてください。

- 1．専門知識、技術を持った人（アドバイザー・コンサルタント等）
- 2．学生
- 3．専業主婦
- 4．お年寄り
- 5．その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

担い手相互の連携（団体とボランティアあるいは団体相互間の協力関係・役割分担など）はうまくいっていますか。該当する番号に1つ 印をつけてください。

- 1．うまくいっている
- 2．どちらかといえば、うまくいっている
- 3．どちらともいえない
- 4．どちらかといえば、うまくいっていない
- 5．うまくいっていない

問15 にぎわいづくりの担い手について、問題点はありますか。該当する番号すべてに 印をつけてください。

- 1．専門的知識、技術を持った人材が不足している
- 2．スタッフなど人手が不足している
- 3．スタッフの志気の向上・維持
- 4．担い手が高齢化している
- 5．担い手が特定の人に限られており、拡がりがない
- 6．その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

にぎわいづくりのための「場」について、おうかがいします。

問16 行事、イベントの準備や実施する「場」としてどのような施設等を現在活用していますか。表の該当する項目に 印をご記入ください。

場	活用方法		満足度			利用できたらよいと思う施設等 ( 印をつけて下さい)
	行事・イベント会場	準備、打合せ	十分	ふつう	不十分	
団体専用事務室						
会議室・集会所						
公園・広場						
学校・校庭						
空き地						
道路						
商店街・市場						
その他の公共施設等 ( _____ )						
その他 ( _____ )						

問17 にぎわいづくりの場（行事・イベントを実施する場所や施設）について問題点はありますか。該当する番号すべてに 印をつけてください。

- 1．近くにない
- 2．狭い
- 3．利用料金が高い
- 4．申込みや使用条件などがめんどうである
- 5．いつも予約でいっぱいである
- 6．その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

にぎわいづくりに必要な「モノ・ツール」の状況について、おうかがいします。

問18 あなたの団体で所有または借用しているモノやツール（備品、機材など）について、該当する項目に をつけてください。

品 目	所有または借用しているものに をつけて下さい	今後充実させていきたいと思うものに をつけて下さい
1. イベント用具・機器		
テント		
音響機器（マイク、スピーカ等）		
プロジェクター		
工具		
2. 情報通信機器		
ファクシミリ		
ホームページ（携帯）電話		
3. 事務機器		
パソコン		
ワープロ		
コピー機		
印刷機		
4. その他		
( )		
( )		

連合組織などで、共同で持っているもの、借りているものもご記入ください。

問19 モノやツールについて、問題点はありますか。該当する番号に1つ 印をつけてください。

1. 今のところ問題はない
2. 購入したり借りたりする資金がない
3. ランニングコストが負担になる
4. 団体専用のものがほしい
5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

にぎわいづくりに必要な「活動資金」についておうかがいします。

問20 平成13年度の団体全体の総予算額はいくらぐらいでしたか。

（内 訳）

約	万円
---	----

資金の種類	資金額（万円）
1. 会 費 収 入	
2. 事 業 収 入	
3. 行政からの事業委託	
4. 行政からの補助金・助成金	
5. 寄 付 金	
6. その他（具体例）	

問21 そのうち、広い意味でまちのにぎわいづくりに資するような活動について、どのような用途にいくらぐらい使われましたか。

用 途	金 額（万円）
1. 人件費（謝金、謝礼、アルバイト料等）	
2. 事務経費（事務消耗品費等）	
3. 広報宣伝費（チラシ作成費、広告費等）	
4. イベント経費（当日のイベント費一式）	
5. その他（ _____ ）	
合 計	

- 問22 活動資金についての問題点について、該当する番号すべてに、印をつけてください。
1. いつも活動資金が不足している
  2. 資金のほとんどが公的な助成金である
  3. 資金の使途に制限があり自由に使えない
  4. 資金をもらうのに手続き等がめんどうである。
  5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**にぎわいづくりのための「システム」についておうかがいします。**

- 問23 これまで、どのような制度等を使ったことがありますか。
1. 活動助成金制度
  2. 専門家等の派遣制度
  3. 情報提供・相談
  4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
  5. 特に利用した制度はない

- 問24 制度、しくみなどの問題点について、該当する番号すべてに、印をつけてください。
1. どんな制度、しくみがあるのかわからない
  2. 制度の内容が難しくてわかりにくい
  3. 制限が多くて使いにくい
  4. 申請の手続き等がめんどうである
  5. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

- 問25 今後、まちのにぎわいを盛り上げていくために、どのような支援が必要でしょうか。該当する番号すべてに、印をつけてください。
1. 担い手相互の交流・情報交換
  2. 活動のための場（活動拠点施設等）の整備
  3. 団体の活動全般に対する助成金制度
  4. イベント等実施のための個別の助成制度
  5. 情報発信・提供システムの整備
  6. アドバイザー・専門家の派遣
  7. 担い手の技術向上の支援
  8. 必要な備品や機材の提供
  9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

- 問26 あなたの団体では、にぎわいづくりのための行事やイベントを実施するときに、独自のしくみ（組織体制やシステム）があれば、お聞かせください。



5. まちのにぎわいづくりへの取り組みについて、ご意見をお聞かせください。

問27 まちのにぎわいづくりのために、今後の活動のあり方や組織・しくみのあり方、支援のあり方などについて、ご意見がありましたら、お聞かせください。



問28 その他、まちづくりやNPO活動についてのご意見がありましたら何でもお聞かせください。



アンケート調査に、ご協力くださいまして、ありがとうございました。